

令和 5 年度

# 市政世論調査概要

第 7 7 集

令和6年3月

和 歌 山 市

## はじめに

市民の皆さまのお考えやご意見などを把握するため、和歌山市の取組や市政等について、市内にお住いの満 18 歳以上の方の中から無作為に選んだ 2,000 人の方を対象に調査させていただきました。調査の結果得られた貴重なデータは今後市政運営のための参考資料とさせていただきます。

お忙しいところ、この市政世論調査にご協力をいただきました多くの市民の皆さまに心からお礼申し上げます。

令和 6 年 3 月



### 和歌山市き章（明治42年制定）

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地である。

その和歌山市の力強い発展をき章が表している。

すなわち、山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表す（三方の山を貫く市民の力）。

○ はワカ山のカ（カタカナ文字）を図案化したもの。

和 は和カヤマの和を表している。

### 和歌山市民憲章（昭和41年11月3日制定）

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- ① 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- ② 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- ③ きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- ④ 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- ⑤ 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

# 目 次

I. 調査の概要.....	5
1. 調査の目的 .....	5
2. 調査の内容 .....	5
3. 調査の方法 .....	5
4. 集計区分 .....	6
5. 回答者の属性 .....	7
II. 調査の結果.....	11
1. あなたご自身のことについて .....	11
2. あなたの身の回りの状況やお考えについて .....	16
3. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について .....	27
4. 和歌山城天守閣について .....	53
5. 消費生活相談窓口について .....	71
6. 子育てや教育について .....	76
7. 在宅医療について .....	83
8. 自殺対策について .....	91
9. 和歌山市の市政について（自由意見） .....	97
III. 調査票.....	101

## ※報告書利用にあたって

- 図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。
- 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えています。
- 図中の「n」とは、質問別の該当対象者数を示し、比率は「n」を100%として表示しています。
- グラフ中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- 年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が和歌山市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。

\*\*\*\*\*

## 調査の概要

\*\*\*\*\*

# I. 調査の概要

## 1. 調査の目的

市民の市政に対する意識・意見・要望等を的確に把握し、今後の施策や計画に反映させていくことを目的とする。

## 2. 調査の内容

- あなたの身の回りの状況やお考えについて
- 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について
- 和歌山城天守閣について
- 消費生活相談窓口について
- 子育てや教育について
- 在宅医療について
- 自殺対策について
- 和歌山市の市政について（自由意見）

## 3. 調査の方法

調査区域	和歌山市全域
調査対象	和歌山市に居住する満 18 歳以上の男女を等間隔無作為抽出
調査方式	郵送による配布、郵送・インターネットによる回収
調査期間	令和 5 年 7 月 6 日（木）～同年 7 月 26 日（水）
発送数	2,000 人
回収率	有効回収数 849 人（回収数 849 人） （郵送 683 人、インターネット 166 人） 有効回収率 42.5%（回収率 42.5%）
調査機関	和歌山市広報広聴課（対象者の抽出及びアンケートの策定） 株式会社サーベイリサーチセンター 大阪事務所（配布・回収・集計・取りまとめ）

#### 4. 集計区分

居住区は全市内 42 地区で調査したが、下表のとおり6地域にとりまとめ集計した。

##### 1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

##### 2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

##### 3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

##### 4. 東南部

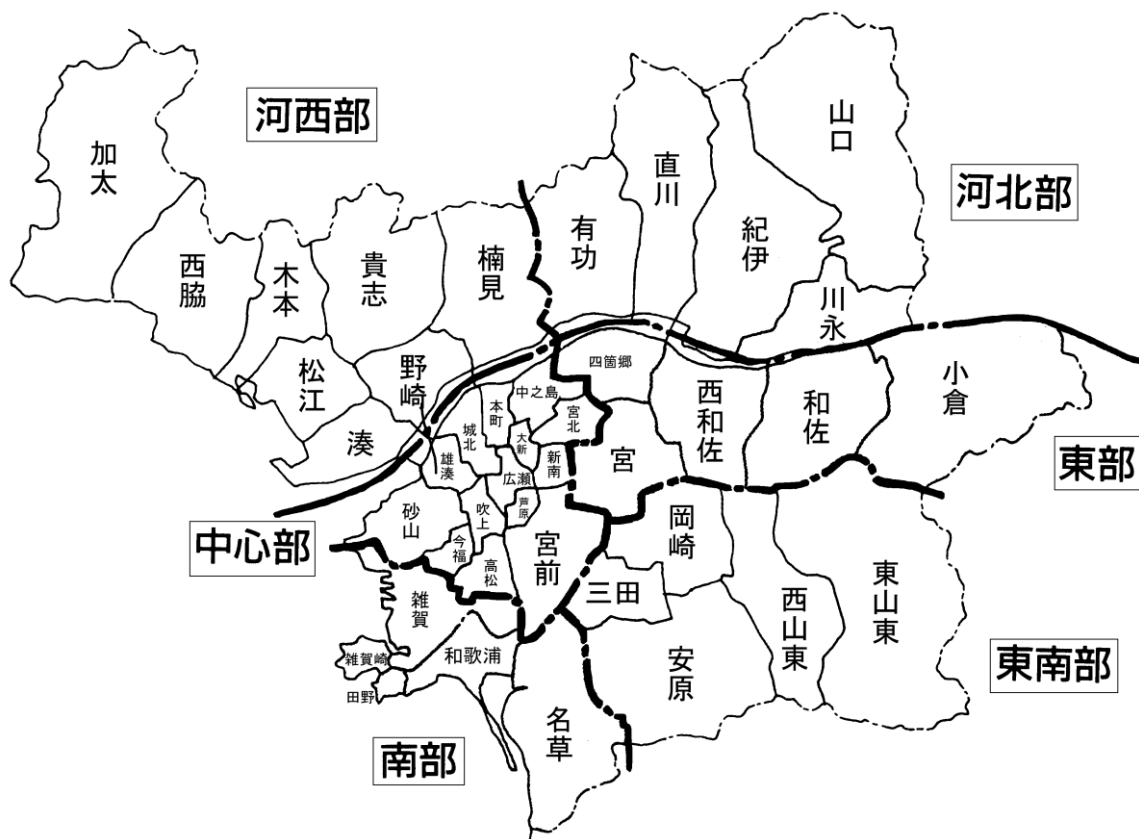
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

##### 5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

##### 6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



## 5. 回答者の属性

区分		総数	18 ～ 19歳	20 ～ 29歳	30 ～ 39歳	40 ～ 49歳	50 ～ 59歳	60 ～ 69歳	70 ～ 79歳	80歳 以上	不明
総数		849	8	49	98	104	139	181	201	66	3
地域別	中心部	207	3	12	30	25	36	39	40	21	1
	南部	99	1	6	14	7	18	23	23	6	1
	東部	116	2	8	10	22	16	23	27	8	0
	東南部	79	1	2	10	8	16	18	21	3	0
	河西部	212	1	14	21	27	29	47	58	15	0
	河北部	94	0	5	8	12	19	18	24	8	0
	不明	42	0	2	5	3	5	13	8	5	1
性別	男性	366	2	25	40	45	53	87	86	28	0
	女性	467	6	23	57	55	83	93	112	37	1
	無回答	8	0	1	1	3	3	0	0	0	0
	不明	8	0	0	0	1	0	1	3	1	2
職業別	会社員	222	1	24	45	50	56	38	6	2	0
	自営業	49	0	0	5	2	7	18	16	1	0
	公務員	46	0	7	10	10	12	7	0	0	0
	パート・アルバイト	143	0	5	20	26	35	41	15	1	0
	専業主婦（夫）	107	0	0	12	4	15	23	43	9	1
	学生	15	7	8	0	0	0	0	0	0	0
	無職	233	0	5	4	6	9	47	113	49	0
	その他	28	0	0	1	4	5	6	8	4	0
	不明	6	0	0	1	2	0	1	0	0	2
居住年数別	1年未満	4	0	2	2	0	0	0	0	0	0
	1～3年未満	17	0	2	7	3	3	1	1	0	0
	3～5年未満	10	0	1	2	2	3	0	2	0	0
	5～10年未満	28	0	2	13	5	4	2	1	1	0
	10～20年未満	57	8	4	12	23	8	0	1	1	0
	20～30年未満	97	0	38	9	12	18	11	5	3	1
	30年以上	634	0	0	53	59	103	167	191	61	0
	不明	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2



\*\*\*\*\*

## 調査の結果

\*\*\*\*\*

## Ⅱ. 調査の結果

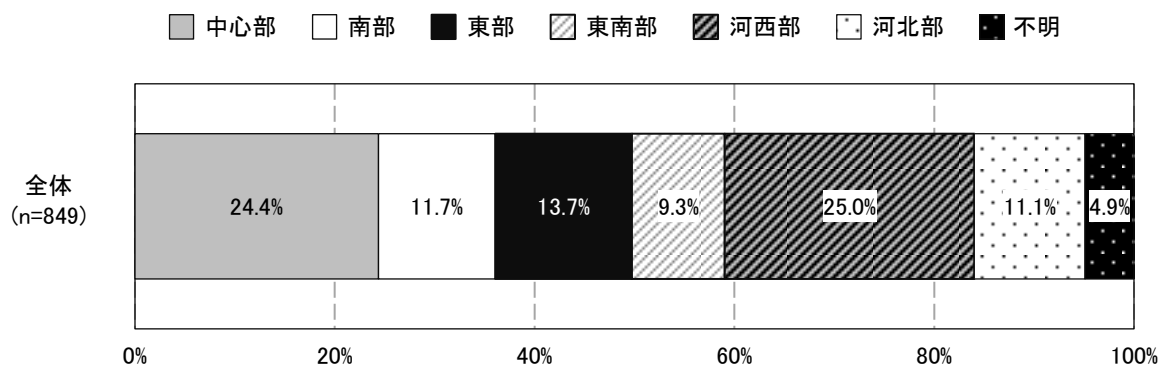
### 1. あなたご自身のことについて

#### 問1 居住地区

問1 あなたの居住地区はどこですか？（○は1つ）

- |        |        |
|--------|--------|
| 1. 中心部 | 2. 南部  |
| 3. 東部  | 4. 東南部 |
| 5. 河西部 | 6. 河北部 |

居住区構成は「河西部」(25.0%)が最も多く、次いで「中心部」(24.4%)、「東部」(13.7%)となっている。

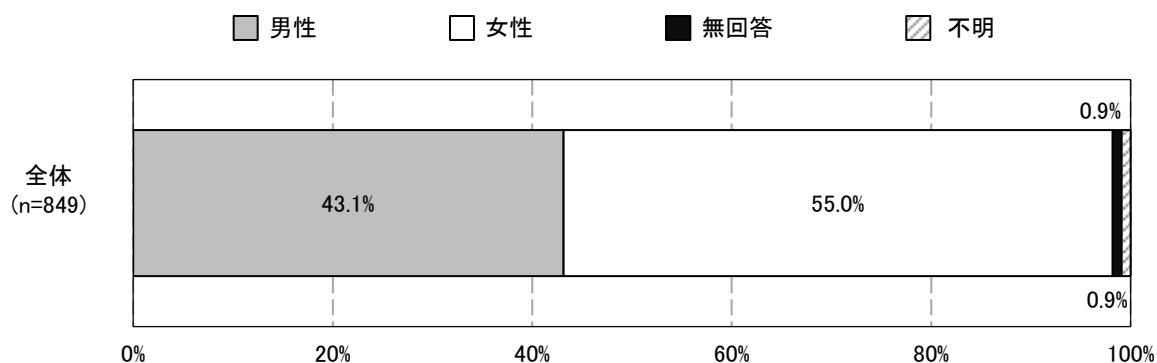


#### 問2 性別

問2 あなたの性別は？（○は1つ）

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

男女別構成は「男性」が43.1%、「女性」が55.0%で、女性が男性を上回っている。

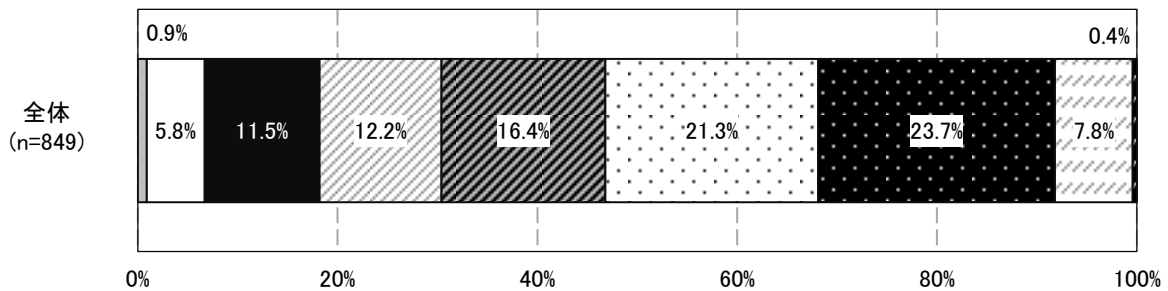
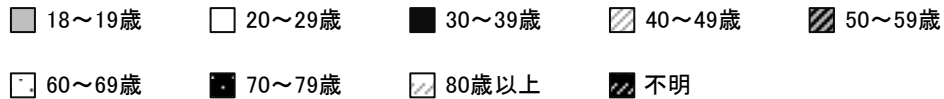


### 問3 年齢

#### 問3 あなたの年齢は？（○は1つ）

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 | 7. 70～79歳 | 8. 80歳以上  |

年齢構成は「70～79歳」（23.7%）が最も多く、次いで「60～69歳」（21.3%）、「50～59歳」（16.4%）となっている。60歳以上の割合が52.8%を占める。

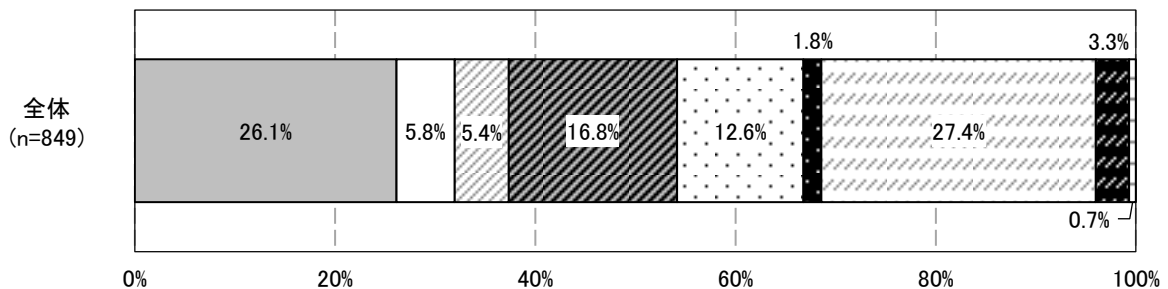
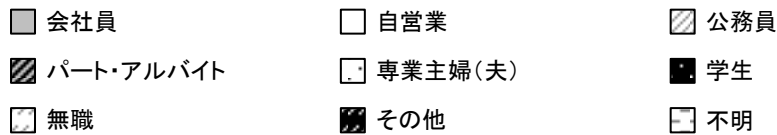


### 問4 職業

#### 問4 あなたの職業は？（○は1つ）

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1. 会社員     | 2. 自営業       |
| 3. 公務員     | 4. パート・アルバイト |
| 5. 専業主婦（夫） | 6. 学生        |
| 7. 無職      | 8. その他       |

職業構成は「無職」（27.4%）が最も多く、次いで「会社員」（26.1%）、「パート・アルバイト」（16.8%）となっている。



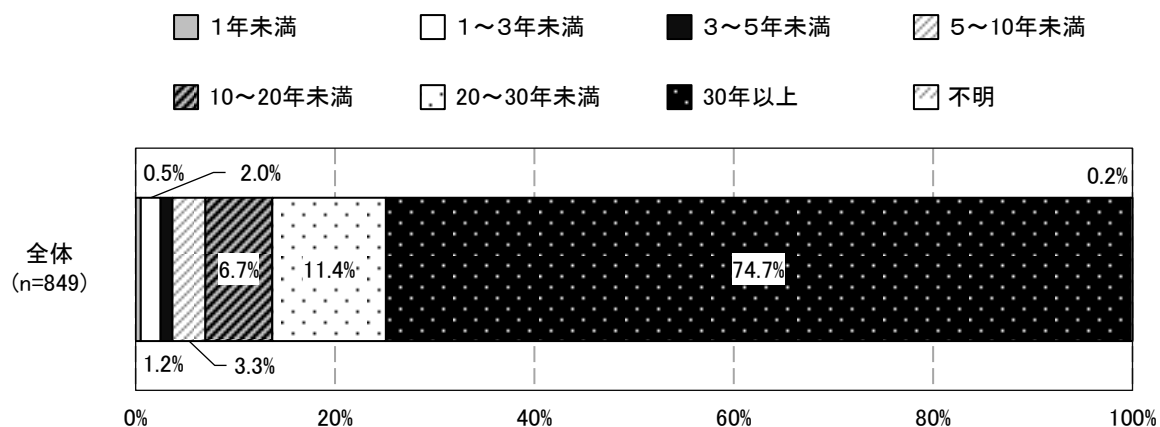
その他：「専門職」、「会社役員」、「協会職員」など

## 問5 居住年数

問5 あなたが和歌山市に住んでいる年数は？（○は1つ）

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 1年未満     | 2. 1～3年未満   |
| 3. 3～5年未満   | 4. 5～10年未満  |
| 5. 10～20年未満 | 6. 20～30年未満 |
| 7. 30年以上    |             |

居住年数構成は「30年以上」（74.7%）が最も多く、次いで「20～30年未満」（11.4%）、「10～20年未満」（6.7%）となっている。

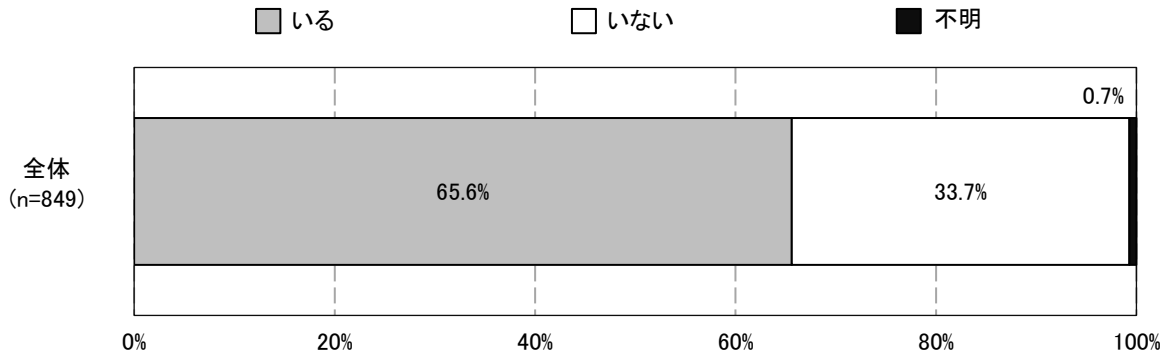


問6 配偶者の有無

問6 あなたは現在、配偶者がいますか？（〇は1つ）

- 1. いる
- 2. いない

配偶者の有無は「いる」が65.6%、「いない」が33.7%となっている。



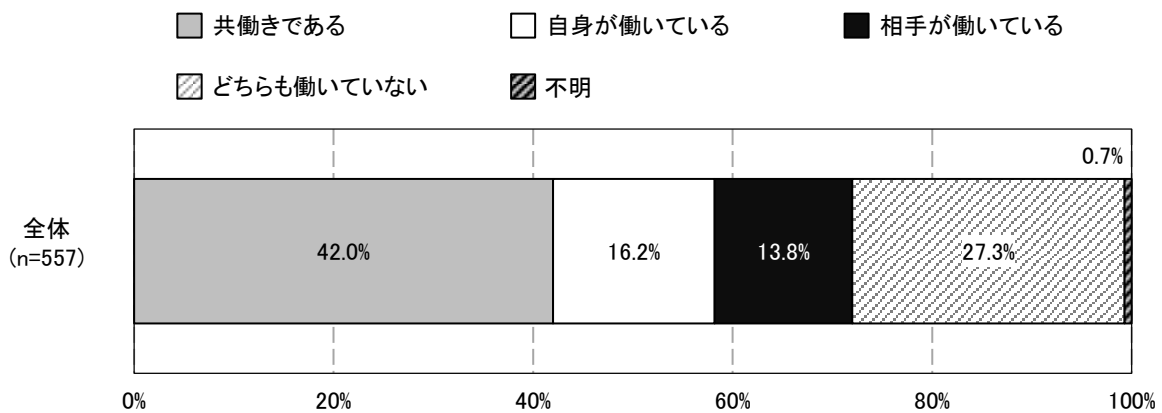
問6-1 共働き

問6-1 問6で「1. いる」と回答された方のみお答えください。

どちらも働いていますか？（〇は1つ）

- 1. 共働きである
- 2. 自身が働いている
- 3. 相手が働いている
- 4. どちらも働いていない

問6で配偶者が「いる」と回答された557人について、「共働きである」(42.0%)が最も多く、次いで「どちらも働いていない」(27.3%)、「自身が働いている」(16.2%)となっている。

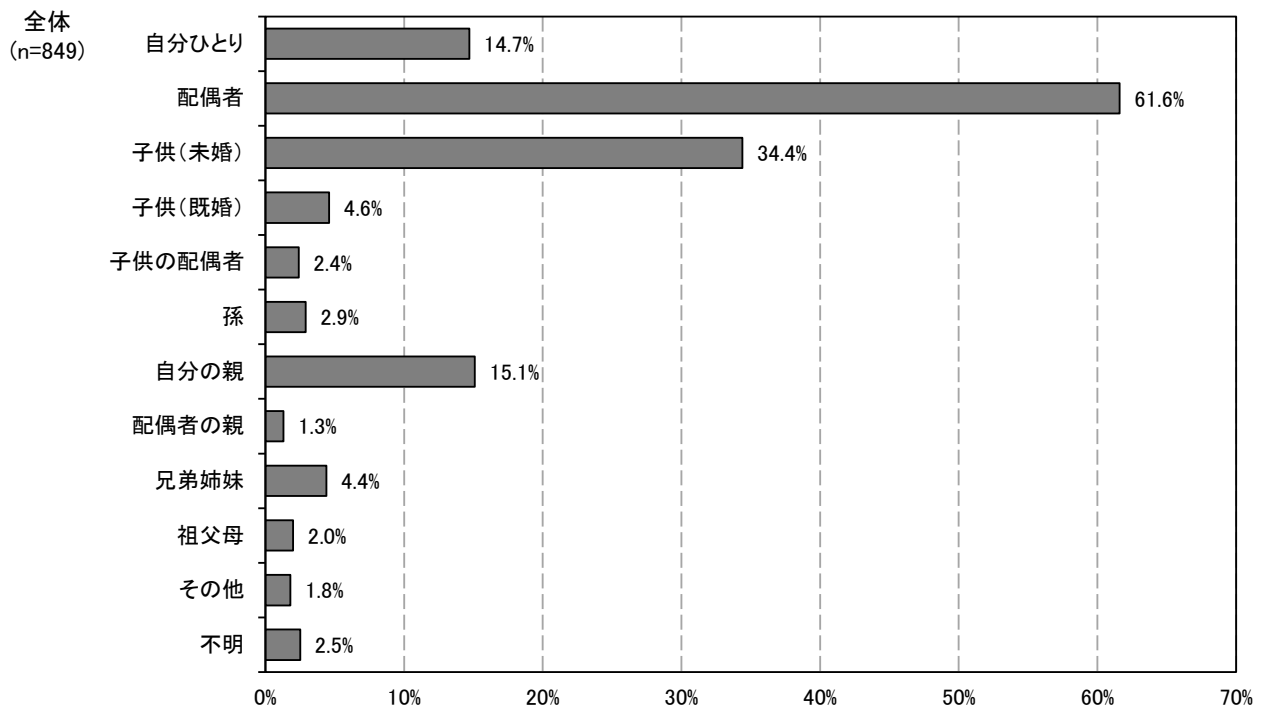


## 問7 家族構成

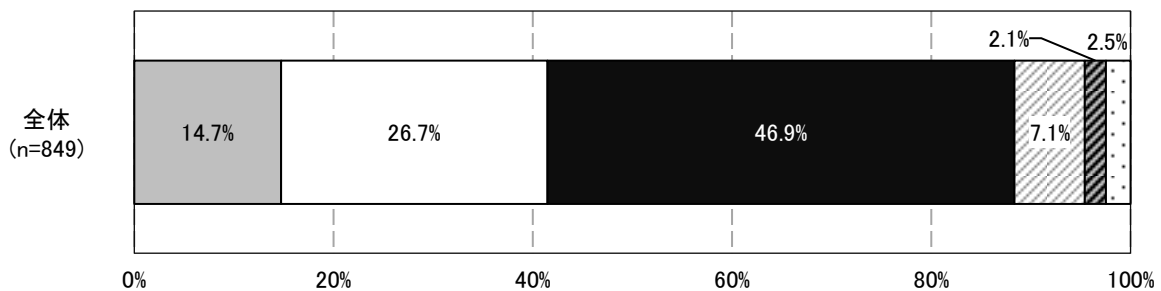
問7 あなたは現在、どなたと一緒に住まいますか？（あてはまるものすべてに○）

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. 自分ひとり  | 2. 配偶者    |
| 3. 子供（未婚） | 4. 子供（既婚） |
| 5. 子供の配偶者 | 6. 孫      |
| 7. 自分の親   | 8. 配偶者の親  |
| 9. 兄弟姉妹   | 10. 祖父母   |
| 11. その他   |           |

同居人は「配偶者」（61.6%）が最も多く、次いで「子供（未婚）」（34.4%）、「自分の親」（15.1%）となっている。回答から家族構成を分類すると、「2世代世帯」（46.9%）が最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」（26.7%）、「単独世帯」（14.7%）となっている。



■ 単独世帯 □ 夫婦のみ世帯 ■ 2世代世帯 ▨ 3、4世代世帯 ▩ その他 □ 不明



その他：「配偶者の兄弟姉妹」、「甥」、「婚約者」など

## 2. あなたの身の回りの状況やお考えについて

### 問8 ご自身の状況や考え方について

問8 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。(〇は1つ)

- (1) あなたは、和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？
- (2) あなたは、身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？
- (3) あなたの、かかりつけ医はありますか？
- (4) お子様の、かかりつけ医はありますか？(0～14歳のお子様がいらっしゃる方のみ)
- (5) あなたの、かかりつけ歯科医はありますか？
- (6) あなたの、かかりつけ薬局はありますか？
- (7) あなたは、高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？
- (8) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？
- (9) あなたは、日頃から芸術・文化活動を行う、または、鑑賞する機会(映画・音楽・展覧会の鑑賞などを含む)をもっていますか？
- (10) あなたは、公園清掃や花壇づくりなど地域の活動への参加をしている、または、したいと思いますか？
- (11) あなたは、公園を月1回以上利用されますか？
- (12) あなたは、現在、災害に対して何らかの備え(避難先の確認、情報収集方法の確認、防災訓練への参加など)を行っていますか？
- (13) あなたは、地震に備えて家具などの固定をしていますか？
- (14) あなたは、災害に備えて食料などの保管を行っていますか？
- (15) あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？
- (16) あなたは、週1回以上運動やスポーツ(通勤時の徒歩や自転車、散歩やウォーキング、その他軽い運動・体操などを含む)をしていますか？

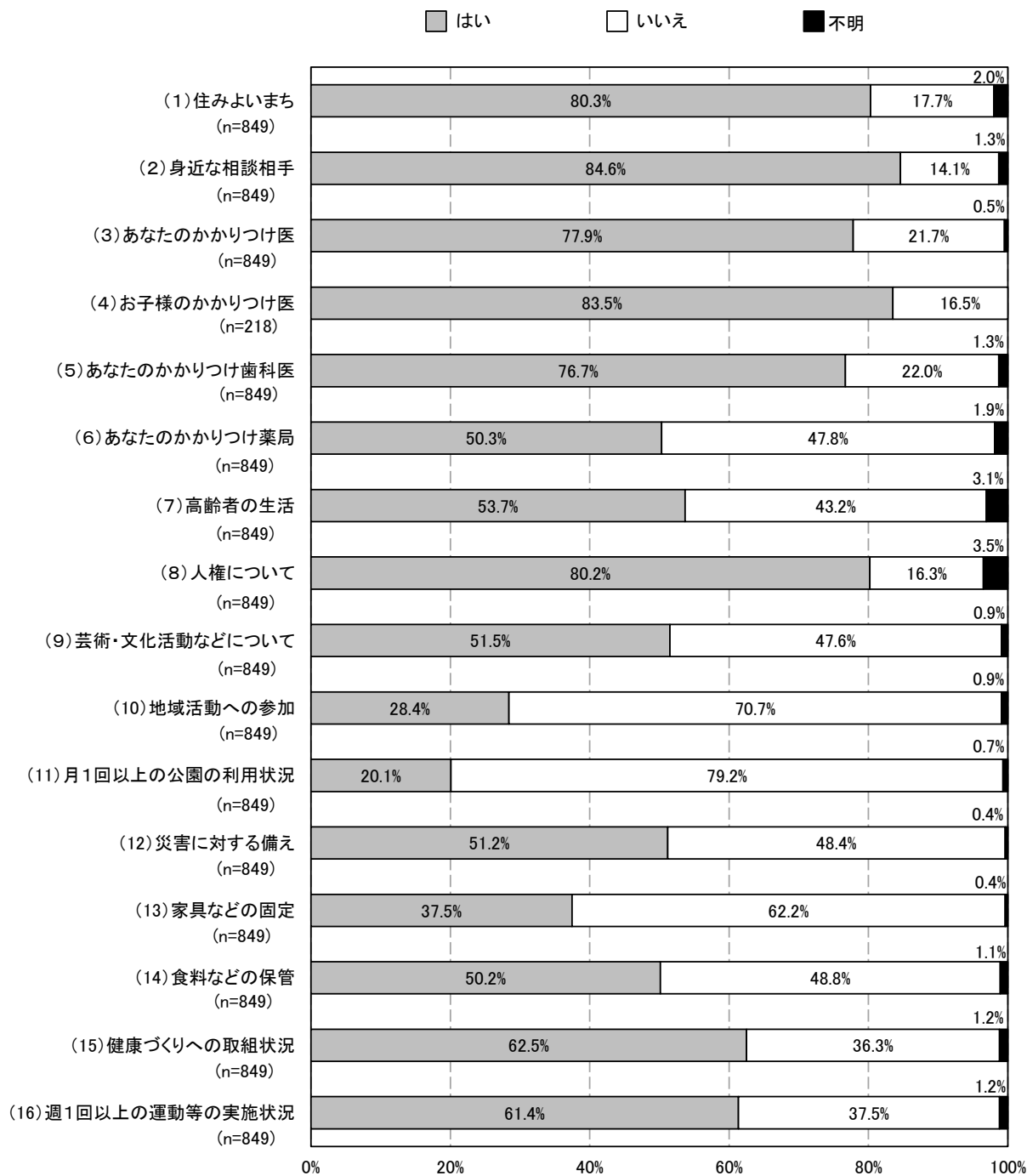
1. はい

2. いいえ

ご自身の状況や考え方について、二者択一回答の設問(1)～(16)をみると、「はい」の割合が最も高い質問は、「あなたは、身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？」で84.6%となっている。

他に「はい」が80%を超える質問は、「お子様の、かかりつけ医はありますか？」(83.5%)、「あなたは、和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？」(80.3%)、「あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？」(80.2%)となっている。

「いいえ」の割合が「はい」の割合に比べ高い質問は、「あなたは、公園を月1回以上利用されますか？」(79.2%)、「あなたは、公園清掃や花壇づくりなど地域の活動への参加をしている、または、したいと思いますか？」(70.7%)、「あなたは、地震に備えて家具などの固定をしていますか？」(62.2%)となっている。





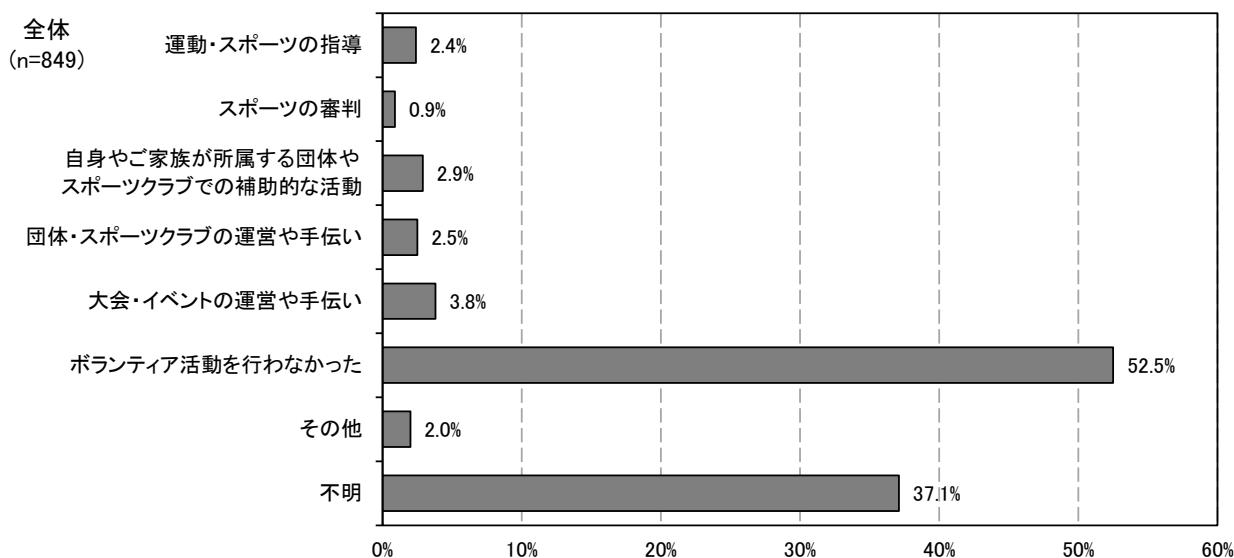
問8 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

(17) あなたは、過去1年間に何らかのスポーツに関わるボランティア活動を行ったことがありますか？（あてはまるものすべてに○）

1. 運動・スポーツの指導
2. スポーツの審判
3. 自身やご家族が所属する団体やスポーツクラブでの補助的な活動  
（参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備、役員や会計係等）
4. 団体・スポーツクラブの運営や手伝い
5. 大会・イベントの運営や手伝い
6. ボランティア活動を行わなかった
7. その他

※ボランティア活動とは、報酬を目的としないで、自身の労力・技術・時間を提供して地域社会や個人・団体のスポーツ推進のために行う活動のことを意味します。ただし、活動に必要な交通費等、実費程度の金額の受け取りは報酬に含みません。

スポーツに関わるボランティア活動について、「ボランティア活動を行わなかった」と回答された方の割合が52.5%と最も多く、次いで「大会・イベントの運営や手伝い」（3.8%）、「自身やご家族が所属する団体やスポーツクラブでの補助的な活動」（2.9%）となっている。



その他：「健康体操」、「コロナで中止」など

問8 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

(18) あなたは、定期的ながん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんのいずれか）を受けていますか？（○は1つ）

1. 定期的を受けている
2. 定期的には受けていない
3. 一度も受けたことがない

※定期的な検診とは「肺がん・大腸がん」は1年に1回、「胃がん・子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

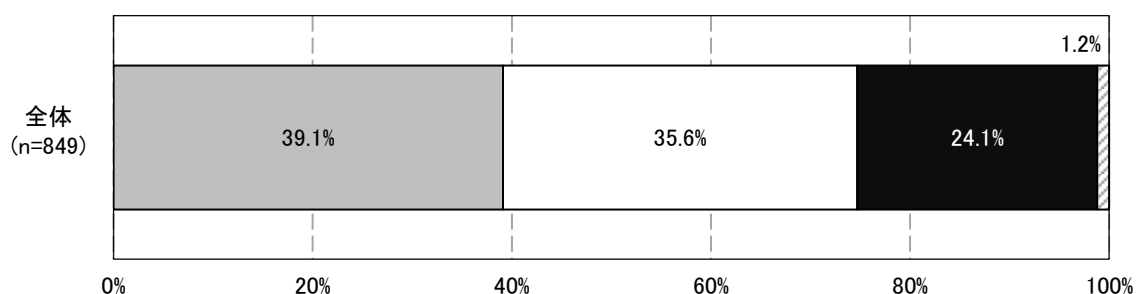
がん検診の受診状況について、「定期的を受けている」と回答された方の割合が39.1%と最も多くなっている一方で、「定期的には受けていない」と回答された方の割合は35.6%となっている。また、「一度も受けたことがない」は24.1%と、2割以上の方はがん検診を一度も受けたことがない結果となっている。

男女別でみると、「男性」で「一度も受けたことがない」と回答された方の割合が30.1%と、「女性」より10.4ポイント高くなっている。また、「男性」で「定期的を受けている」と回答された方の割合が41.0%と、「女性」より3.7ポイント高くなっている。

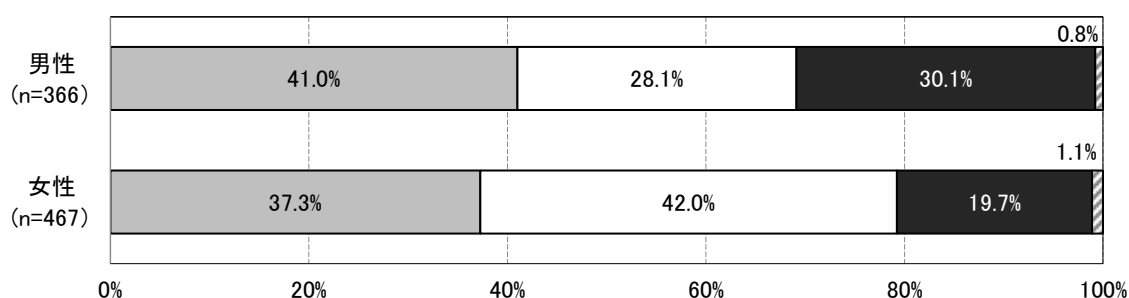
年代別でみると、「20～29歳」で「一度も受けたことがない」と回答された方の割合が63.3%と最も多く、次いで「30～39歳」（32.7%）、「50～59歳」（23.0%）となっている。（回答数が少ない「18～19歳」を除く）

<全体>

■ 定期的を受けている □ 定期的には受けていない ■ 一度も受けたことがない ▨ 不明

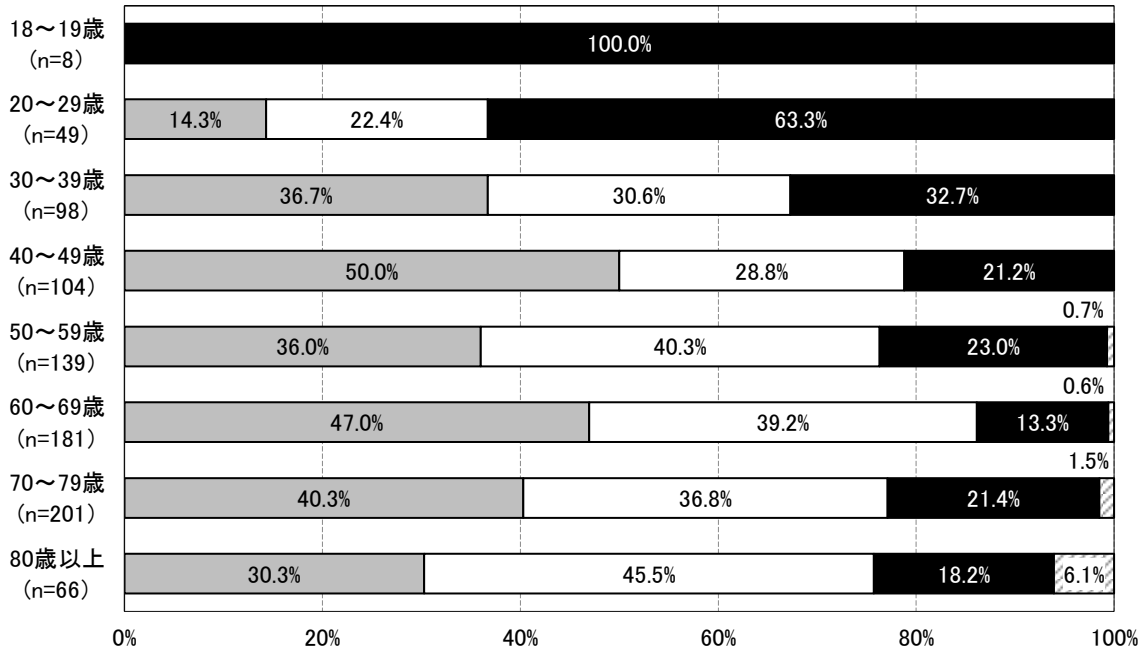


<男女別>



<年代別>

定期的に受けている  
  定期的には受けていない  
  一度も受けたことがない  
  不明



問8 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

(19) あなたは、家庭生活において男女の地位が平等になっていると思いますか？（〇は1つ）

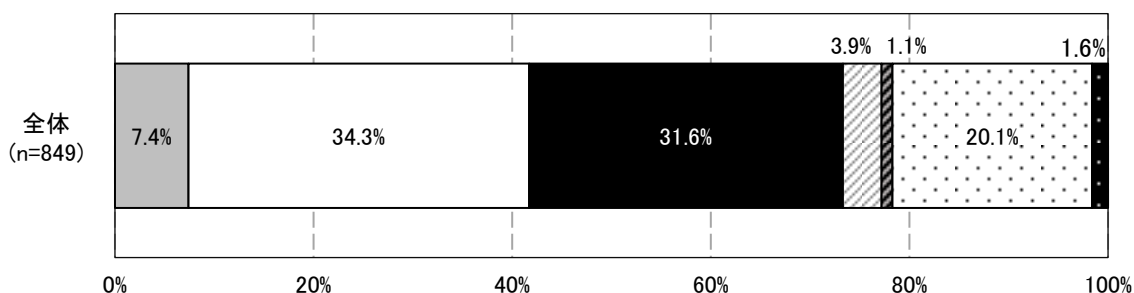
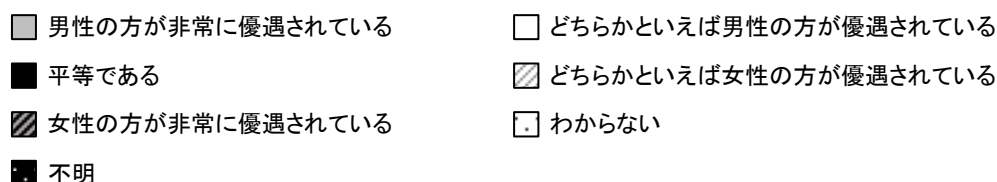
1. 男性の方が非常に優遇されている
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている
3. 平等である
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が非常に優遇されている
6. わからない

男女平等について、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」をあわせた割合は41.7%、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」をあわせた割合は5.0%となっている。

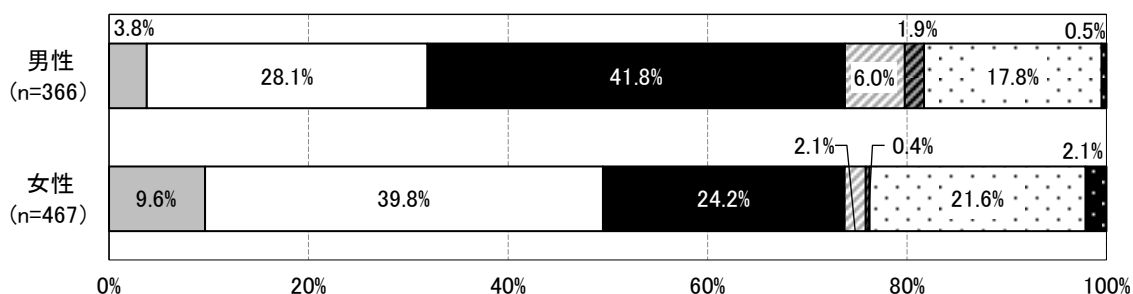
男女別で見ると、「女性」で「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」をあわせた割合は49.4%と、「男性」より17.5ポイント高くなっている。また、「女性」で「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と回答された方の割合は2.5%となっている。

年代別で見ると、「50～59歳」で「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」をあわせた割合が51.8%と最も高く、次いで「40～49歳」（47.1%）、「60～69歳」（45.8%）となっている。

<全体>

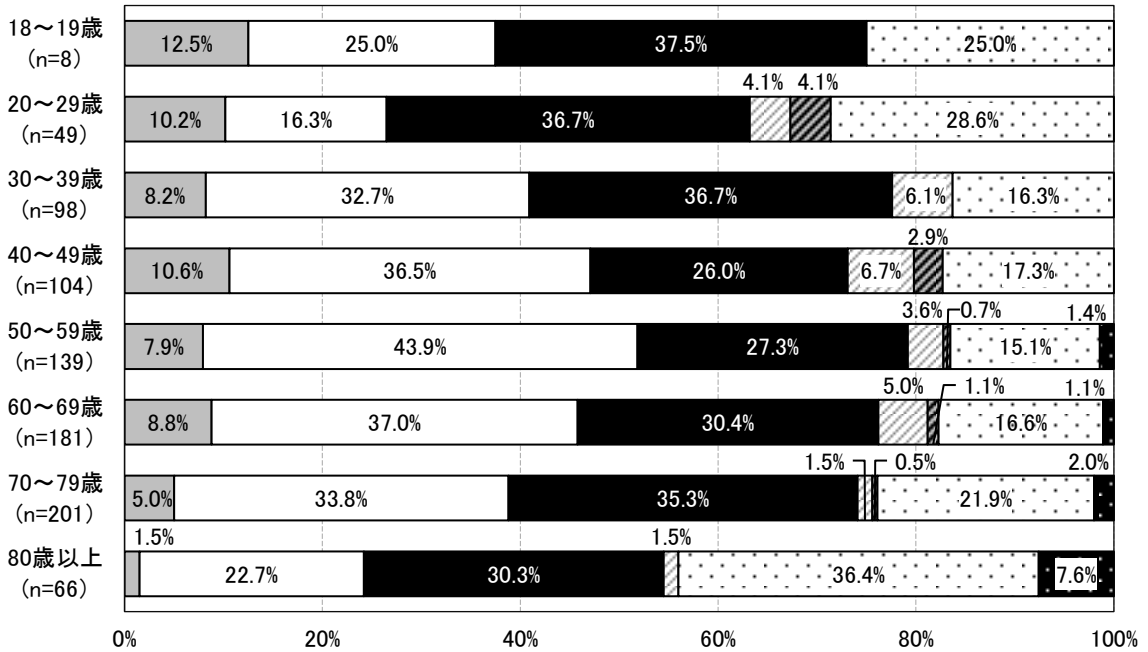


<男女別>



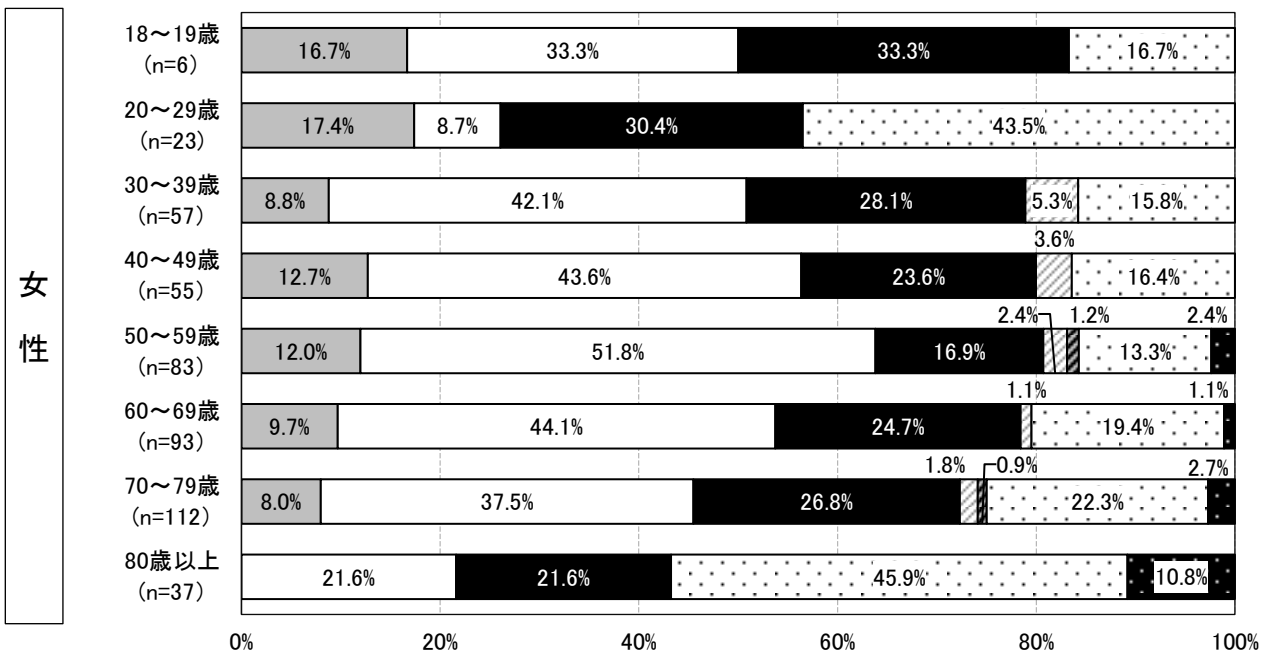
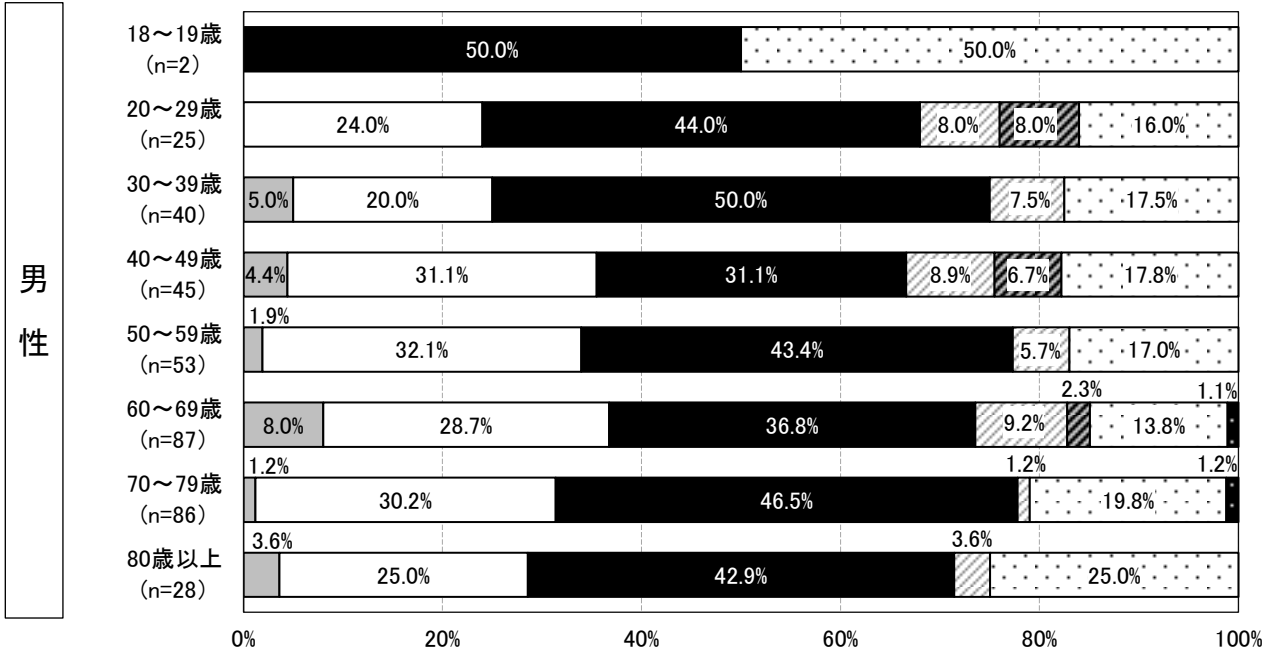
<年代別>

- 男性の方が非常に優遇されている
- 平等である
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 不明
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない



<性別・年代別>

- 男性の方が非常に優遇されている
- 平等である
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 不明
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない



問8 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

(20) あなたは、夫は外で働き妻は家庭を守るべきであるという考え方について、どう思いますか？（○は1つ）

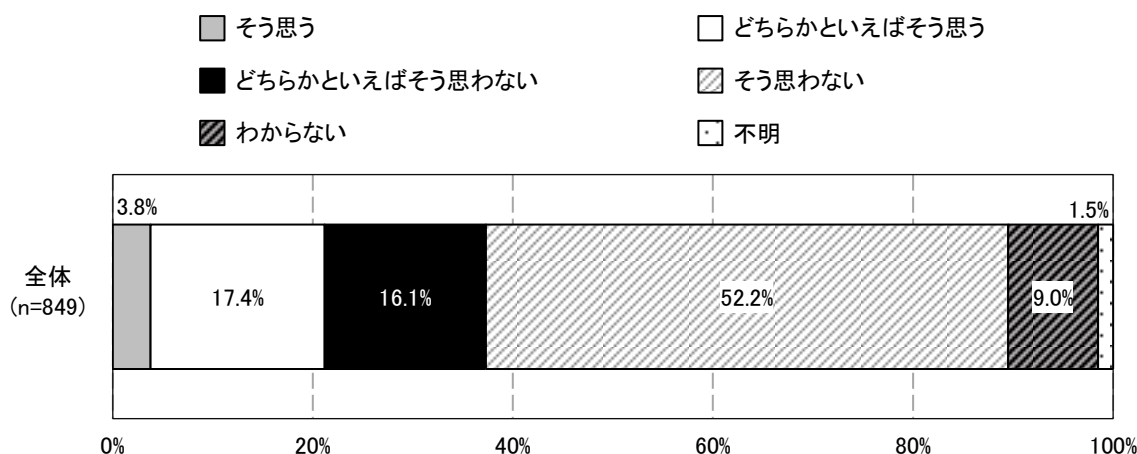
- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない
- 5. わからない

夫は外で働き妻は家庭を守るべきであるという考え方について、「そう思わない」と回答された方の割合が52.2%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」(17.4%)、「どちらかといえばそう思わない」(16.1%)となっている。

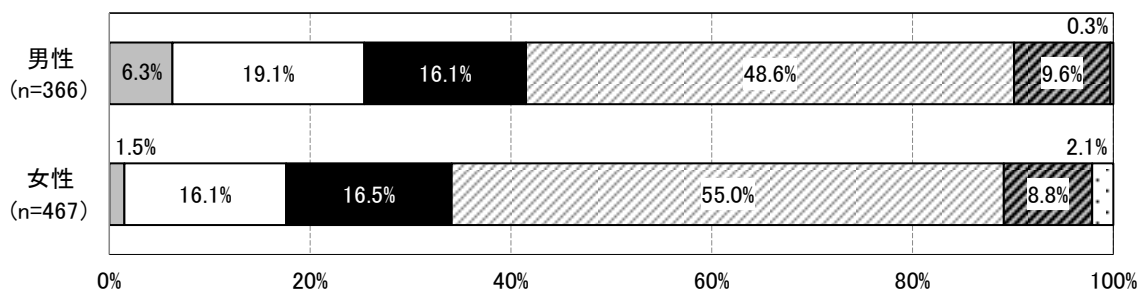
男女別で見ると、「男性」で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が25.4%と、「女性」より7.8ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「80歳以上」で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が31.8%と最も多く、次いで「70～79歳」(28.4%)、「60～69歳」(20.5%)となっている。

<全体>

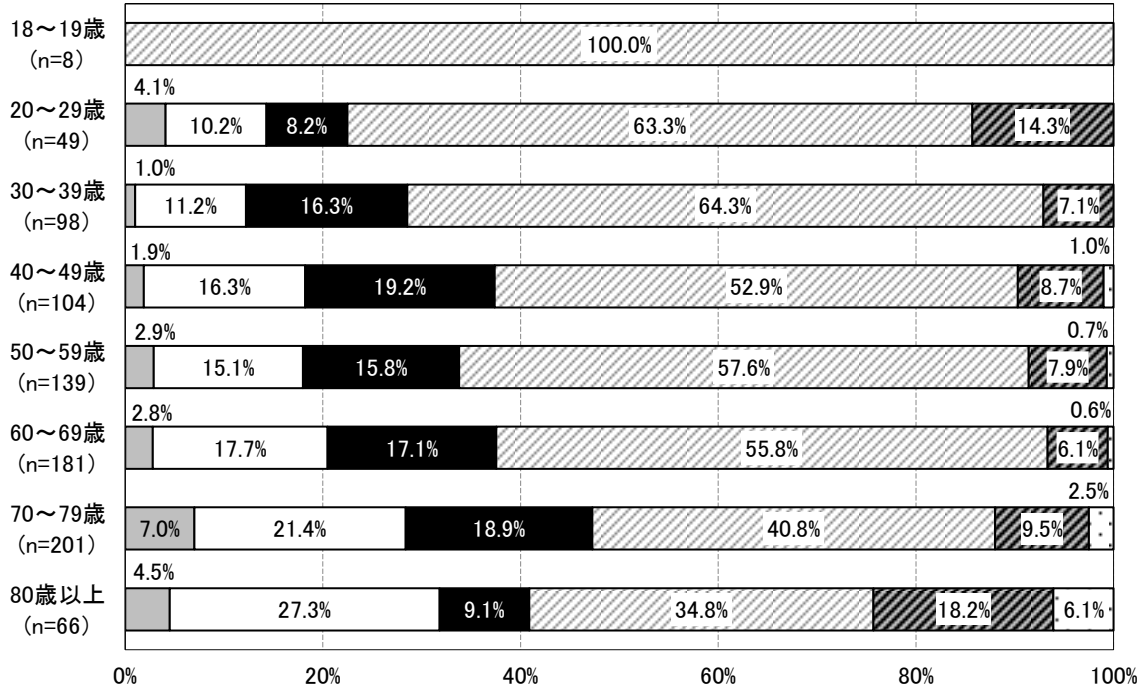


<男女別>



<年代別>

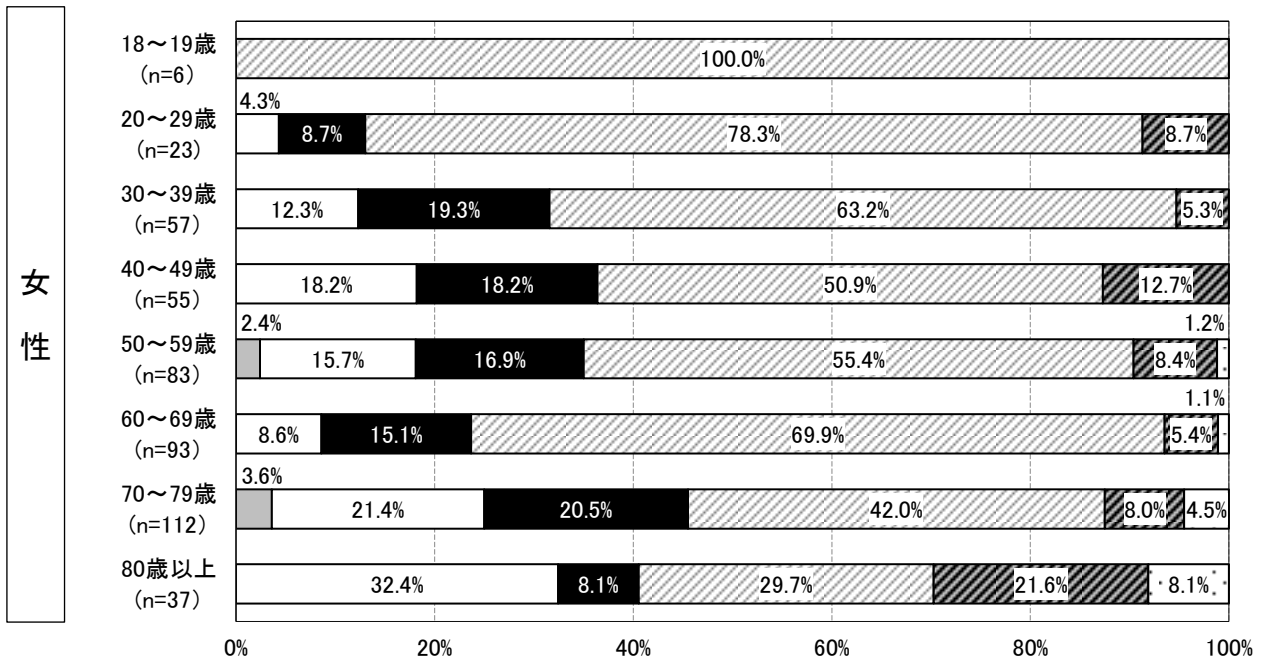
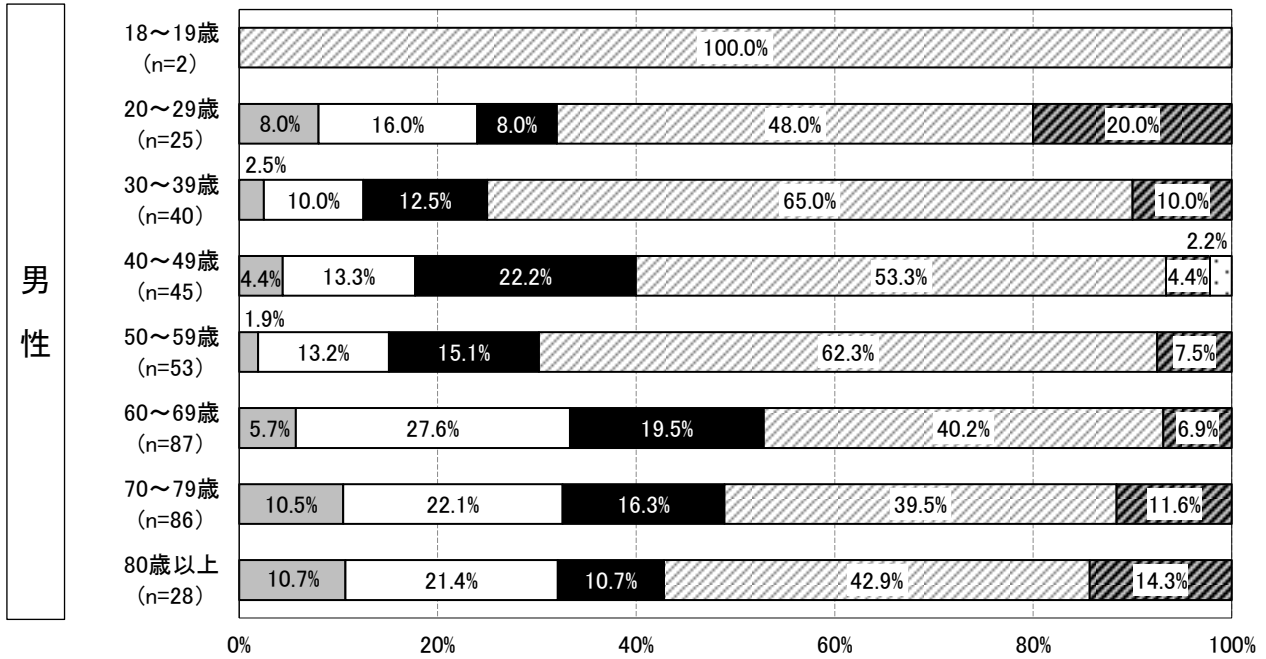
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない
- 不明





<性別・年代別>

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない
- 不明

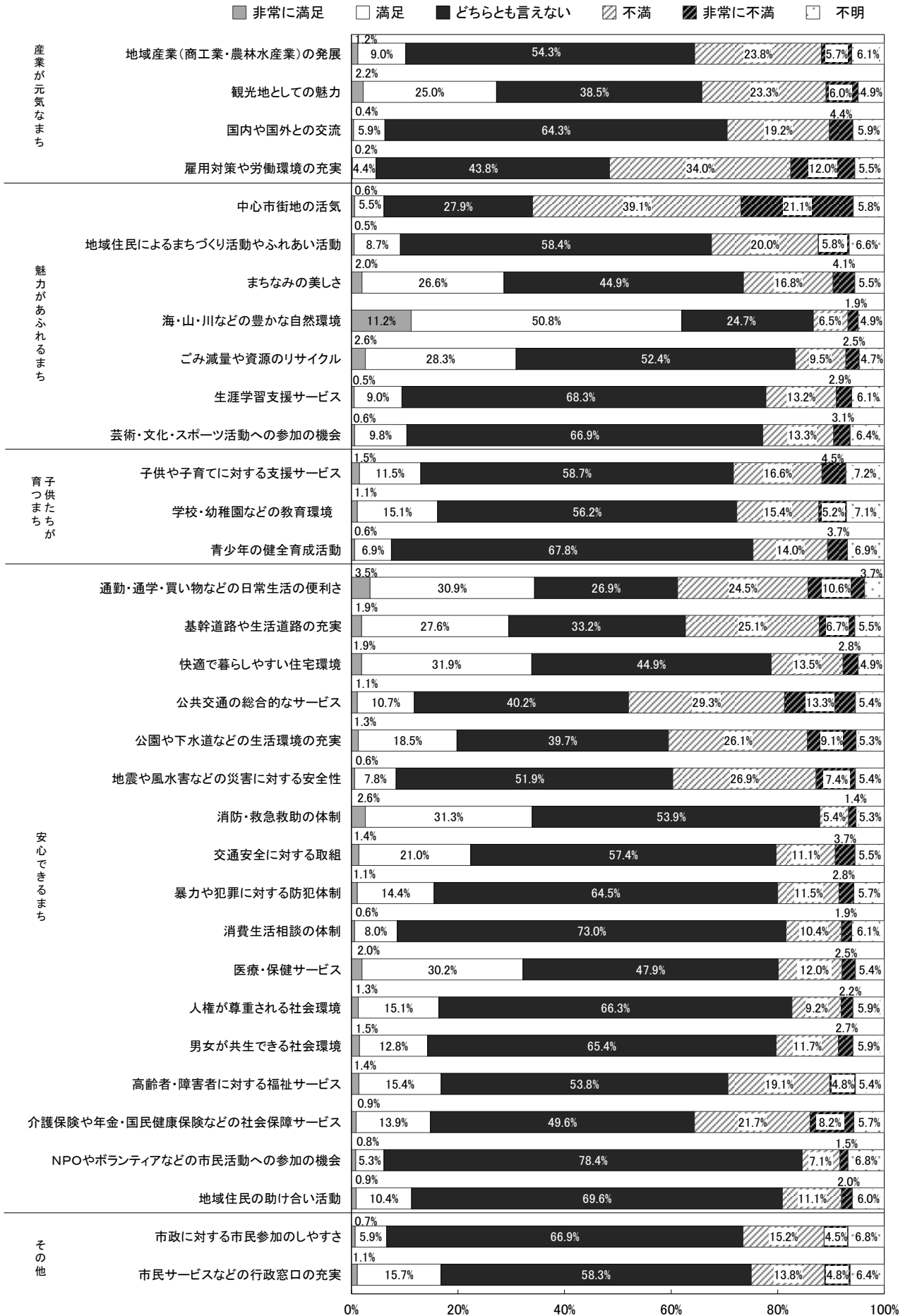


### 3. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について

#### 問9 和歌山市の取組に対する満足度と重要度

<p><b>問9 和歌山市に住んでいて、次のことがらについてどのように感じていますか？</b></p> <p><b>(1) 満足度と(2) 重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。</b></p> <p>満足度： 1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらとも言えない 4. 不満 5. 非常に不満</p> <p>重要度： 1. 非常に重要 2. 重要 3. どちらとも言えない 4. あまり重要ではない</p> <p>5. 全く重要ではない</p>	
<p>安定した雇用を 生み出す産業が 元気なまち (以下「産業が元気なまち」という)</p>	地域産業（商工業・農林水産業）の発展
	観光地としての魅力
	国内や国外との交流
	雇用対策や労働環境の充実
<p>住みたいと選ばれる 魅力があふれるまち (以下「魅力があふれるまち」という)</p>	中心市街地の活気
	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動
	まちなみの美しさ
	海・山・川などの豊かな自然環境
	ごみ減量や資源のリサイクル
	生涯学習支援サービス
<p>子供たちがいきいきと 育つまち (以下「子供たちが育つまち」という)</p>	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会
	子供や子育てに対する支援サービス
	学校・幼稚園などの教育環境
<p>誰もが安心して 住み続けられる 持続可能なまち (以下「安心できるまち」という)</p>	青少年の健全育成活動
	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
	基幹道路や生活道路の充実
	快適で暮らしやすい住宅環境
	公共交通の総合的なサービス
	公園や下水道などの生活環境の充実
	地震や風水害などの災害に対する安全性
	消防・救急救助の体制
	交通安全に対する取組
	暴力や犯罪に対する防犯体制
	消費生活相談の体制
	医療・保健サービス
	人権が尊重される社会環境
	男女が共生できる社会環境
	高齢者・障害者に対する福祉サービス
介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	
NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	
地域住民の助け合い活動	
<p>その他</p>	市政に対する市民参加のしやすさ
	市民サービスなどの行政窓口の充実

# 【満足度】



## 【満足度・不満足度】

### <全体>

和歌山市の取組の満足度（「非常に満足」と「満足」の合計）の上位5項目は順に、「海・山・川などの豊かな自然環境」（62.0%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（34.4%）、「消防・救急救助の体制」（33.9%）、「快適で暮らしやすい住宅環境」（33.8%）、「医療・保健サービス」（32.2%）となっている。「魅力があふれるまち」、「安心できるまち」に関する項目が上位を占める結果となっている。

不満足度（「非常に不満」と「不満」の合計）の上位5項目は順に、「中心市街地の活気」（60.2%）、「雇用対策や労働環境の充実」（46.0%）、「公共交通の総合的なサービス」（42.6%）、「公園や下水道などの生活環境の充実」（35.2%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（35.1%）となっている。

【満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=849)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 62.0%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 34.4%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 33.9%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 33.8%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 32.2%

【不満足度（「非常に不満」と「不満」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=849)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 60.2%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 46.0%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 42.6%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 35.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.1%

### <男女別満足度>

満足度の上位5位の項目について男女別でみると、いずれも1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっており、2位以降は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「消防・救急救助の体制」、「医療・保健サービス」などの「安心できるまち」に関する項目が男女ともに上位を占める結果となっている。

【満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=366)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 62.3%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 35.0%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 33.3%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 32.5%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 31.7%
女性 (n=467)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 61.9%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 36.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 34.5%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 33.2%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 31.9%

## <男女別不満度>

不満度の上位5位の項目について男女別でみると、いずれも1位は「中心市街地の活気」となっており、2位以降も「地域産業（商工業・農林水産業）の発展」、「雇用対策や労働環境の充実」、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「公共交通の総合的なサービス」、「公園や下水道などの生活環境の充実」など、上位を占める項目は男女で大きな違いはみられない。

【不満度（「非常に不満」と「不満」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=366)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 65.3%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 50.0%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 43.7%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 35.6%	・地域産業（商工業・農林水産業）の発展 【産業が元気なまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.0%
女性 (n=467)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 57.4%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 43.0%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 42.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 36.0%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 35.6%

注：同率の項目は並記している。※注は以降のページも同様である。

## <年代別満足度>

満足度の上位5位の項目について年代別でみると、いずれの年代も1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。また「80歳以上」では「ごみ減量や資源のリサイクル」が同率1位となっている。2位は、「20～29歳」では「快適で暮らしやすい住宅環境」、「30～39歳」及び「50～59歳」では「まちなみの美しさ」、「40～49歳」及び「60～69歳」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「70～79歳」では「消防・救急救助の体制」となっている。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=8)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 87.5%	・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 ・まちなみの美しさ ・快適で暮らしやすい住宅環境 ・消防・救急救助の体制			【産業が元気なまち】 【魅力があふれるまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】 62.5%
20～29歳 (n=49)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 69.4%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 44.9%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 38.8%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 36.7%	・交通安全に対する取組 【安心できるまち】 34.7%
30～39歳 (n=98)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 70.4%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 39.8%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 37.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 36.7%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 35.8%
40～49歳 (n=104)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 68.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 44.2%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 39.5%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 36.5%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 34.7%
50～59歳 (n=139)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 69.1%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 34.6%	・観光地としての魅力 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・消防・救急救助の体制		【産業が元気なまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】 31.0%
60～69歳 (n=181)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 61.9%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 37.0%	・快適で暮らしやすい住宅環境 ・消防・救急救助の体制	【安心できるまち】 【安心できるまち】 34.8%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 29.3%
70～79歳 (n=201)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 53.8%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 39.8%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 35.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 34.3%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 32.3%
80歳以上 (n=66)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 ・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 42.4%		・医療・保健サービス 【安心できるまち】 37.9%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 36.4%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 27.3%

## <年代別不満度>

不満度の上位5位の項目について年代別でみると、「18～19歳」のみ「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が1位となっており、他の年代では「中心市街地の活気」が1位となっている。2位は、「40～79歳」では「雇用対策や労働環境の充実」、「80歳以上」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」となっている。

【不満度（「非常に不満」と「不満」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=8)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 75.0%	・公共交通の総合的なサービス ・NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会 ・市政に対する市民参加のしやすさ		【安心できるまち】 【安心できるまち】 【その他】 37.5%	
20～29歳 (n=49)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 57.2%	・雇用対策や労働環境の充実 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・公共交通の総合的なサービス		【産業が元気なまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】 46.9%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 38.8%
30～39歳 (n=98)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 50.0%	・雇用対策や労働環境の充実 ・公共交通の総合的なサービス	【産業が元気なまち】 【安心できるまち】 47.0%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 41.8%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 39.8%
40～49歳 (n=104)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 72.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 54.8%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 50.9%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 47.1%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 41.4%
50～59歳 (n=139)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 68.4%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 57.5%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 43.9%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 42.4%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 38.8%
60～69歳 (n=181)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 64.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 52.5%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 49.1%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 39.8%	・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 39.7%
70～79歳 (n=201)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 59.7%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 34.9%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 34.4%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 32.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 28.4%
80歳以上 (n=66)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 37.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 31.8%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 28.8%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 27.3%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 24.2%

注：18～19歳については回答数が少なく、5位は同率項目が11項目あるため省略している。

## <地域別満足度>

満足度の上位5位の項目について地域別でみると、いずれの地域も1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。2位は、「中心部」では「消防・救急救助の体制」、「南部」では「快適で暮らしやすい住宅環境」、「東部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」と「消防・救急救助の体制」、「東南部」では「観光地としての魅力」、「河西部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「河北部」では「医療・保健サービス」となっている。

また、「東南部」は他の地域に比べ「観光地としての魅力」の満足度が高くなっている。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=207)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 61.8%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 39.6%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 39.2%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 38.6%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 36.7%
南部 (n=99)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 70.7%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 46.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 42.5%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 39.4%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 37.3%
東部 (n=116)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 63.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 32.8%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 32.8%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 31.9%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 31.0%
東南部 (n=79)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 64.5%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 36.7%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 31.7%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 31.6%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 30.4%
河西部 (n=212)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 59.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 37.7%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 33.0%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 31.1%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 29.7%
河北部 (n=94)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 61.7%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 34.1%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 31.9%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 31.9%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 28.7%



## <地域別不満度>

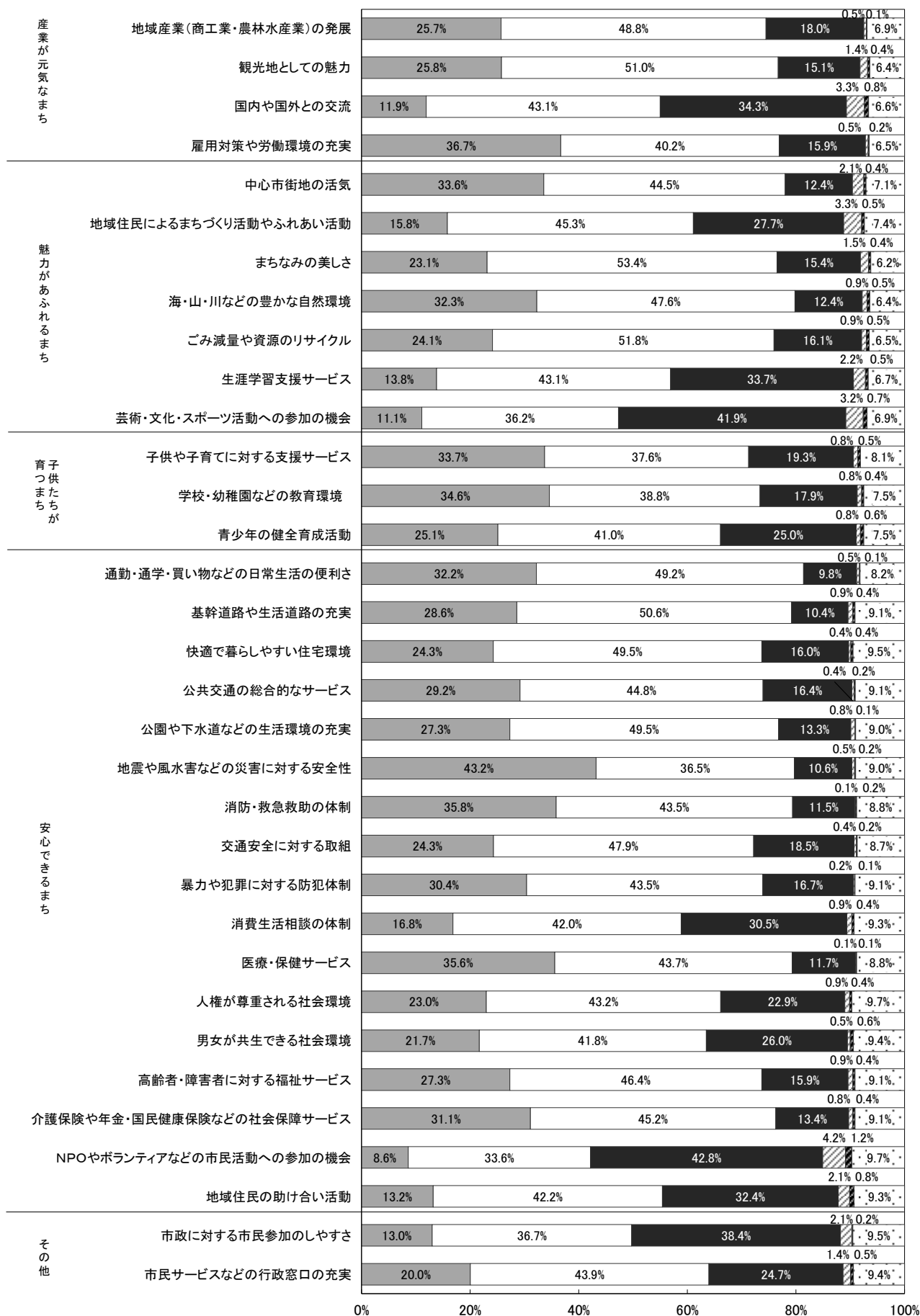
不満度の上位5位の項目について地域別でみると、いずれの地域も1位は「中心市街地の活気」となっている。2位は、「中心部」、「南部」、「東部」、「河西部」では「雇用対策や労働環境の充実」、「東南部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「河北部」では「公共交通の総合的なサービス」となっている。

【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=207)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 64.7%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 48.3%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 42.0%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 34.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 33.8%
南部 (n=99)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 56.6%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 46.5%	・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 33.4%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 33.3%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 28.3%
東部 (n=116)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 62.9%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 45.7%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 44.9%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 44.0%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 42.3%
東南部 (n=79)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 62.0%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 57.0%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 48.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 44.3%	
河西部 (n=212)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 58.0%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 45.2%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 43.3%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 34.9%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 31.1%
河北部 (n=94)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 60.7%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 44.7%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 43.6%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 40.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 38.3%

【重要度】

■ 非常に重要 □ 重要 ■ どちらとも言えない ▨ あまり重要ではない ▩ 全く重要ではない □ 不明



## 【重要度】

### <全体>

和歌山市の取組の重要度（「非常に重要」と「重要」の合計）の上位5項目は順に、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（81.4%）、「海・山・川などの豊かな自然環境」（79.9%）、「地震や風水害などの災害に対する安全性」（79.7%）、「消防・救急救助の体制」（79.3%）、「医療・保健サービス」（79.3%）となっている。“安心できるまち”、“魅力があふれるまち”に関する項目の重要度が高い傾向にある。

【重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=849)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 81.4%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 79.9%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 79.7%	・消防・救急救助の体制 ・医療・保健サービス	【安心できるまち】 【安心できるまち】 79.3%

### <男女別>

重要度の上位5位の項目について男女別でみると、いずれも1位は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」となっている。「男性」では「海・山・川などの豊かな自然環境」、「基幹道路や生活道路の充実」が同率1位となっている。女性では2位以降は「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「医療・保健サービス」などの“安心できるまち”、“魅力があふれるまち”に関する項目が占める結果となっている。また、「男性」では5位に「雇用対策や労働環境の充実」（80.3%）が入っている。

【重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=366)	・海・山・川などの豊かな自然環境 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・基幹道路や生活道路の充実		【魅力があふれるまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】 81.7%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 80.6%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 80.3%
女性 (n=467)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 81.4%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 79.6%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 78.8%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 78.6%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 78.5%

## <年代別>

重要度の上位5位の項目について年代別でみると、1位は「40～49歳」では「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「50～59歳」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「60～69歳」では「医療・保健サービス」、「70～79歳」では「ごみ減量や資源のリサイクル」となっている。2位については、「40～49歳」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「50～59歳」では「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「70～79歳」では「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。

【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
20～29歳 (n=49)	・公共交通の総合的なサービス ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 89.8%	【安心できるまち】	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 87.8%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 87.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 85.8%
30～39歳 (n=98)	・学校・幼稚園などの教育環境 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・基幹道路や生活道路の充実	【子供たちが育つまち】 【安心できるまち】 84.7%	【安心できるまち】	・子供や子育てに対する支援サービス 【子供たちが育つまち】 83.7%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 82.7%
40～49歳 (n=104)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 89.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 88.5%	・雇用対策や労働環境の充実 ・基幹道路や生活道路の充実	【産業が元気なまち】 【安心できるまち】 86.5%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 85.5%
50～59歳 (n=139)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 87.8%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 87.0%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 84.9%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 83.5%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 83.4%
60～69歳 (n=181)	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 88.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・消防・救急救助の体制 ・高齢者・障害者に対する福祉サービス	【安心できるまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】	【安心できるまち】 86.2%	・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 85.6%
70～79歳 (n=201)	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 78.6%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 76.6%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 76.1%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 74.6%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 74.1%
80歳以上 (n=66)	・観光地としての魅力 ・中心市街地の活気 【産業が元気なまち】 【魅力があふれるまち】 57.6%	【魅力があふれるまち】	・まちなみの美しさ ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【魅力があふれるまち】 【安心できるまち】 57.5%	【安心できるまち】	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 ・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 56.1%

注：18～19歳については回答数が少なく、1位は同率項目が13項目あるため省略している。

## <地域別>

重要度の上位5位の項目について地域別でみると、1位は「中心部」及び「河西部」では「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「南部」では「まちなみの美しさ」、「東部」及び「河北部」では「基幹道路や生活道路の充実」、「東南部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」となっている。2位については、「中心部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「東部」では「医療・保健サービス」、「東南部」では「観光地としての魅力」、「河西部」では「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。

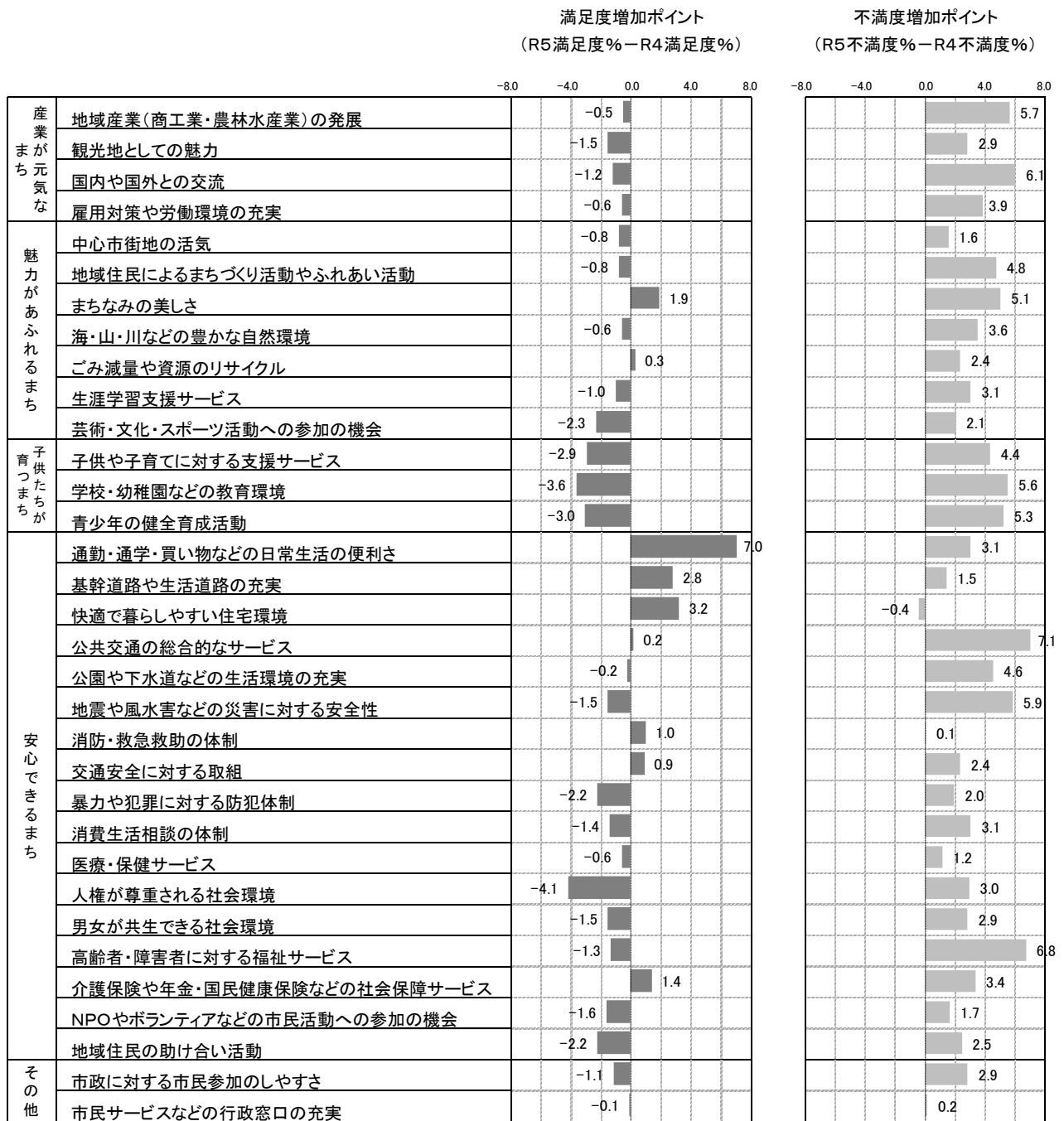
【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=207)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 83.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 82.1%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 81.7%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 81.1%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 79.7%
南部 (n=99)	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 87.8%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 86.9%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 84.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 85.8%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 84.8%
東部 (n=116)	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 87.1%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 85.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 84.5%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 ・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 81.0%	
東南部 (n=79)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 84.8%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 79.8%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 79.7%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 78.5%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 78.4%
河西部 (n=212)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 80.2%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 79.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 78.8%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 78.3%	
河北部 (n=94)	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 79.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 78.7%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 ・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 77.7%		

**【満足度：前年度の比較】**

令和5年度と令和4年度の満足度の変化については、33項目中6項目で満足度が1.0ポイント以上増加する結果となっている。中でも「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」では7.0ポイント増加している。

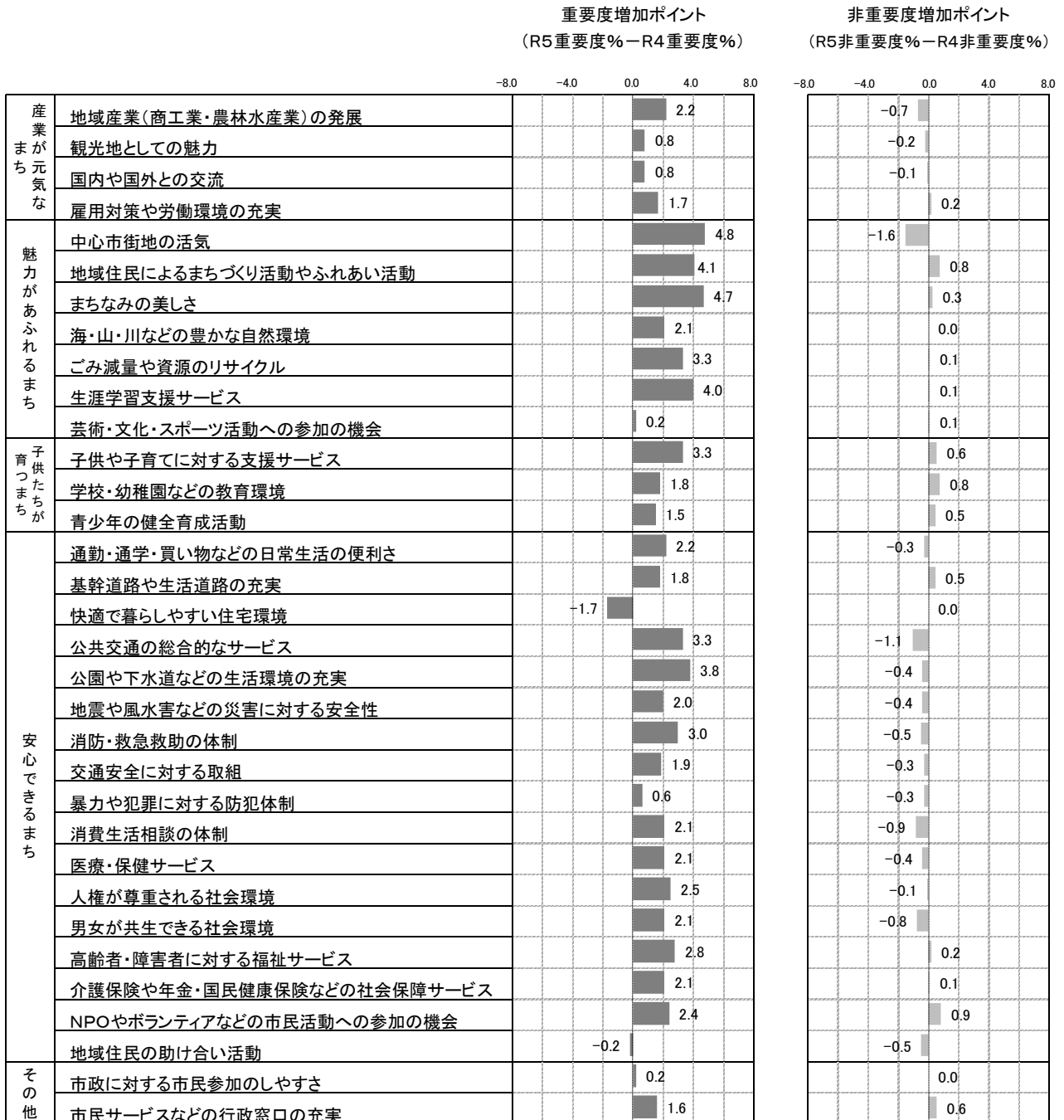
不満度の変化については、33項目中30項目で不満度が1.0ポイント以上増加する結果となっている。特に「公共交通の総合的なサービス」では7.1ポイント増加しており、「国内や国外との交流」、  
「高齢者・障害者に対する福祉サービス」でも6.0ポイント以上増加している。



**【重要度：前年度の比較】**

令和5年度と令和4年度の重要度の変化については、33項目中26項目で重要度が1.0ポイント以上増加する結果となっている。中でも「中心市街地の活気」、「地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動」、「まちなみの美しさ」、「生涯学習支援サービス」では4.0ポイント以上増加している。

非重要度（「あまり重要ではない」と「全く重要ではない」の合計）の変化については、いずれの項目も2.0ポイント未満の増減に留まっている。



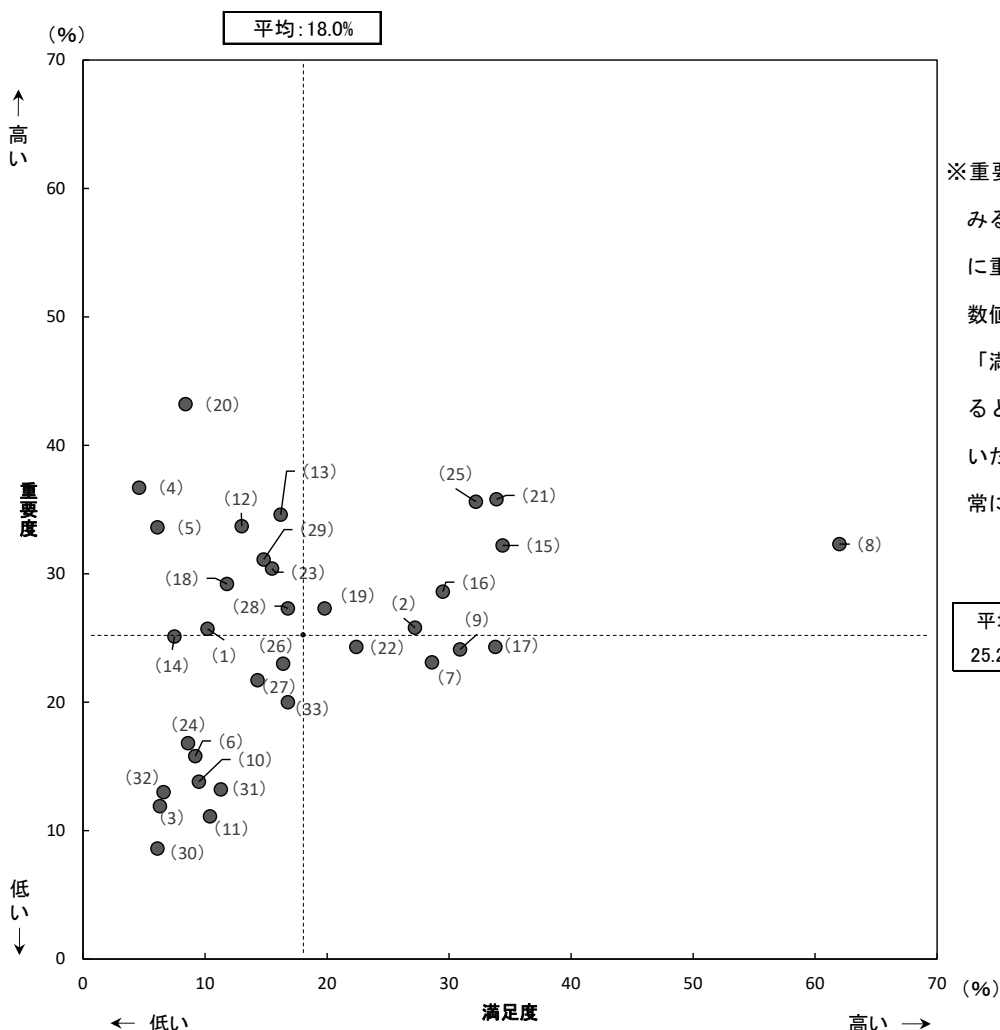
## 【重要度と満足度ギャップ分析（ポートフォリオ）】

「重要度（「非常に重要」の比率）」と「満足度（「非常に満足」と「満足」の合計）」との関係を散布図に表した。図の横軸は満足度、縦軸は重要度を表している。

重要度が平均よりも高く、満足度が平均よりも低い項目は、ギャップの大きい順にみると、「(20) 地震や風水害などの災害に対する安全性」、「(4) 雇用対策や労働環境の充実」、「(5) 中心市街地の活気」、「(12) 子供や子育てに対する支援サービス」、「(13) 学校・幼稚園などの教育環境」、「(18) 公共交通の総合的なサービス」、「(29) 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、「(1) 地域産業（商工業・農林水産業）の発展」、「(23) 暴力や犯罪に対する防犯体制」、「(28) 高齢者・障害者に対する福祉サービス」の10項目となっており、早急に対策が求められている結果となっている。

満足度が重要度を10ポイント以上上回る項目は「(8) 海・山・川などの豊かな自然環境」の1項目となっている。

凡例	項目名	満足度計	重要度	(17)	快適で暮らしやすい住宅環境	33.8	24.3
(1)	地域産業(商工業・農林水産業)の発展	10.2	25.7	(18)	公共交通の総合的なサービス	11.8	29.2
(2)	観光地としての魅力	27.2	25.8	(19)	公園や下水道などの生活環境の充実	19.8	27.3
(3)	国内や国外との交流	6.3	11.9	(20)	地震や風水害などの災害に対する安全性	8.4	43.2
(4)	雇用対策や労働環境の充実	4.6	36.7	(21)	消防・救急救助の体制	33.9	35.8
(5)	中心市街地の活気	6.1	33.6	(22)	交通安全に対する取組	22.4	24.3
(6)	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動	9.2	15.8	(23)	暴力や犯罪に対する防犯体制	15.5	30.4
(7)	まちなみの美しさ	28.6	23.1	(24)	消費生活相談の体制	8.6	16.8
(8)	海・山・川などの豊かな自然環境	62.0	32.3	(25)	医療・保健サービス	32.2	35.6
(9)	ごみ減量や資源のリサイクル	30.9	24.1	(26)	人権が尊重される社会環境	16.4	23.0
(10)	生涯学習支援サービス	9.5	13.8	(27)	男女が共生できる社会環境	14.3	21.7
(11)	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	10.4	11.1	(28)	高齢者・障害者に対する福祉サービス	16.8	27.3
(12)	子供や子育てに対する支援サービス	13.0	33.7	(29)	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	14.8	31.1
(13)	学校・幼稚園などの教育環境	16.2	34.6	(30)	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	6.1	8.6
(14)	青少年の健全育成活動	7.5	25.1	(31)	地域住民の助け合い活動	11.3	13.2
(15)	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	34.4	32.2	(32)	市政に対する市民参加のしやすさ	6.6	13.0
(16)	基幹道路や生活道路の充実	29.5	28.6	(33)	市民サービスなどの行政窓口の充実	16.8	20.0



※重要度と満足度のギャップをみるにあたり、重要度を「非常に重要」と「重要」を合わせた数値で満足度（「非常に満足」と「満足」の計）のギャップをみると項目間の差が判断しにくいいため、重要度に関しては「非常に重要」の数値を採用した。

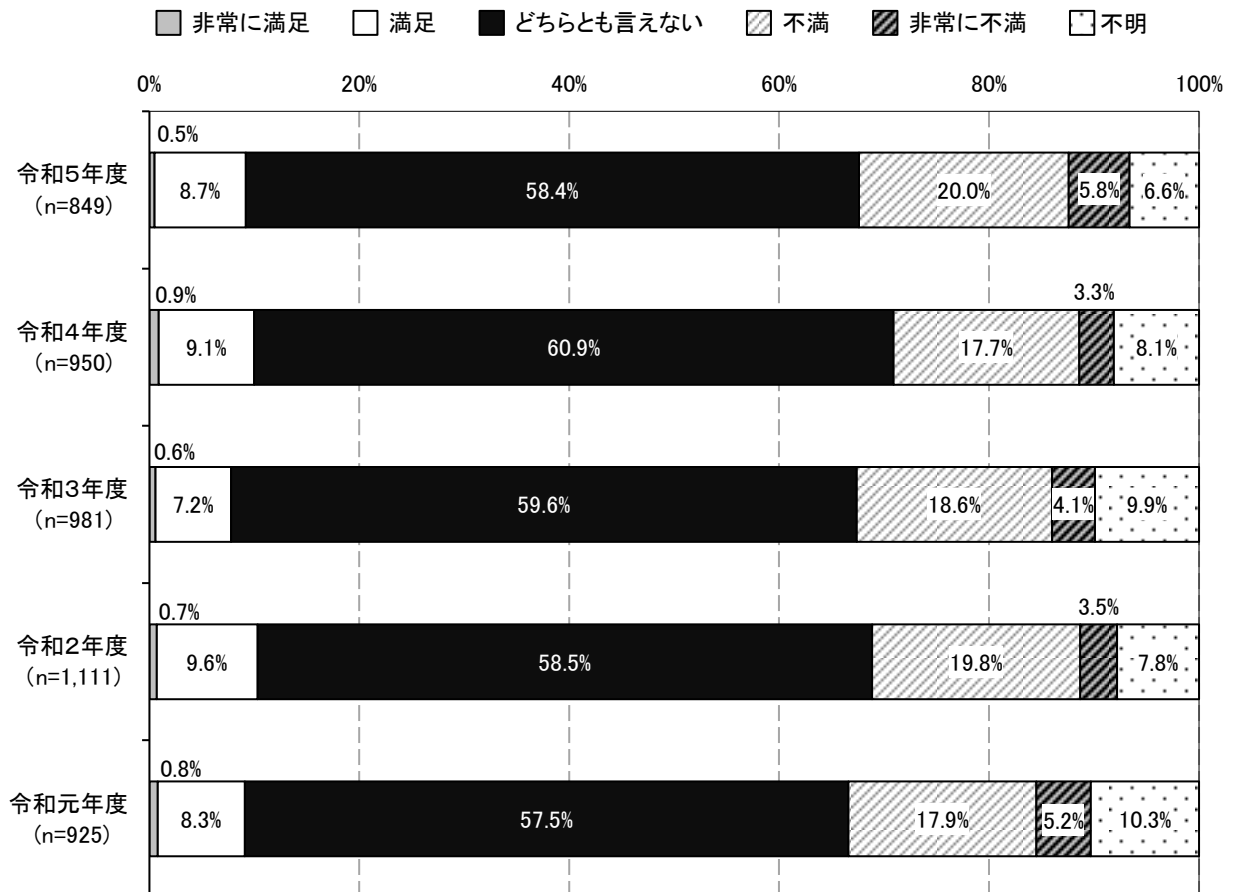


## 【満足度・不満度の指標の推移】

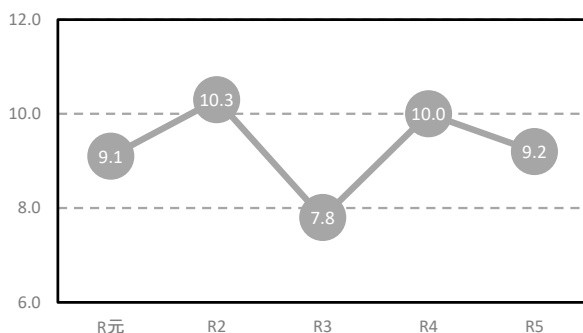
### <地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画※」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少し、不満度は増加している。目標値の達成に向けて、地域住民と連携し、自主的な活動を安定的に実施できるよう支援に努めるとともに、魅力的なまちづくりやその担い手づくりを推進していく必要があると思われる。

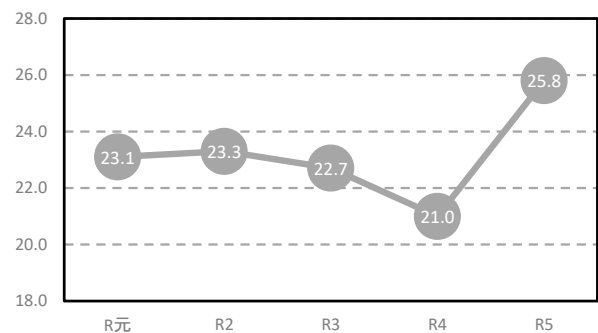
満足度目標値	(令和8年度) 20.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

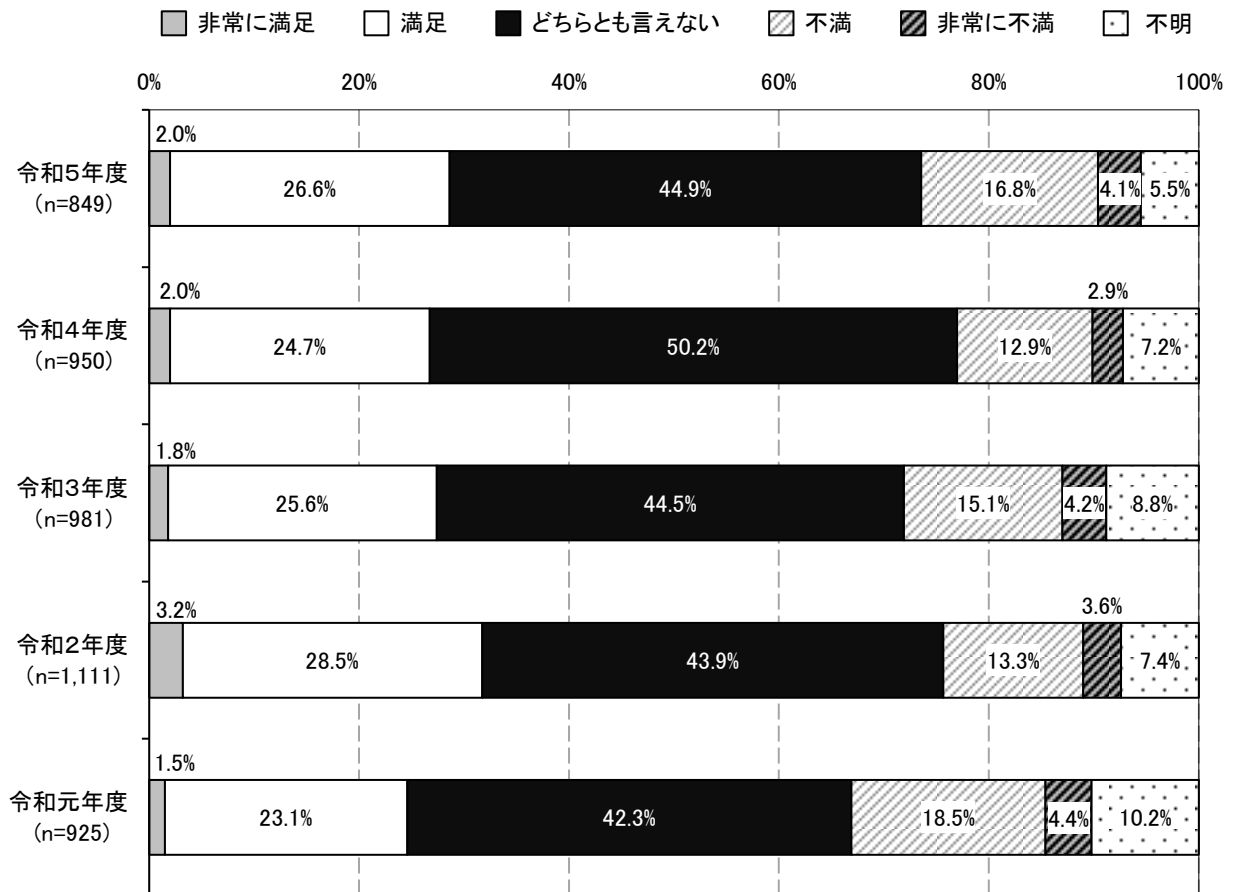


※「第5次和歌山市長期総合計画」とは、平成29年度から令和8年度までのまちづくりの方向性を示すもので、各種個別計画や事業はこの計画に基づいて策定・実施されています。

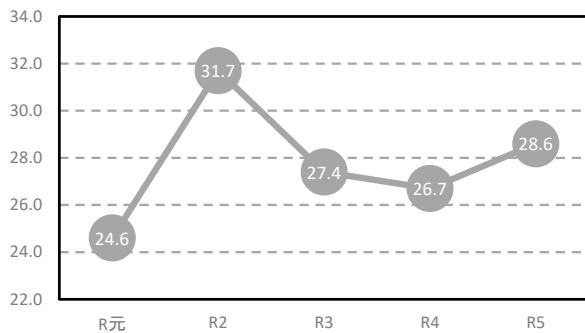
## <まちなみの美しさ>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は増加しているが、不満度も増加している。新たな景観拠点の創出や、地域の優れた景観を保全、活用する景観まちづくりを支援するとともに、その仕組みづくりの強化を図る必要があると思われる。

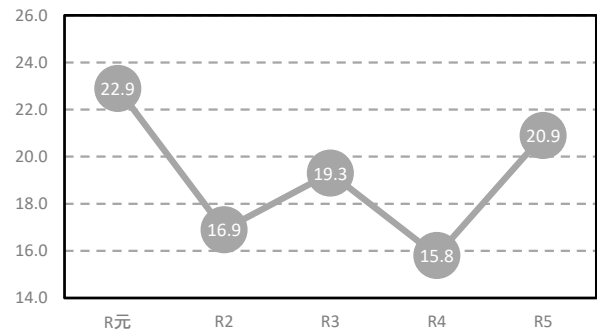
満足度目標値	(令和8年度) 33.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



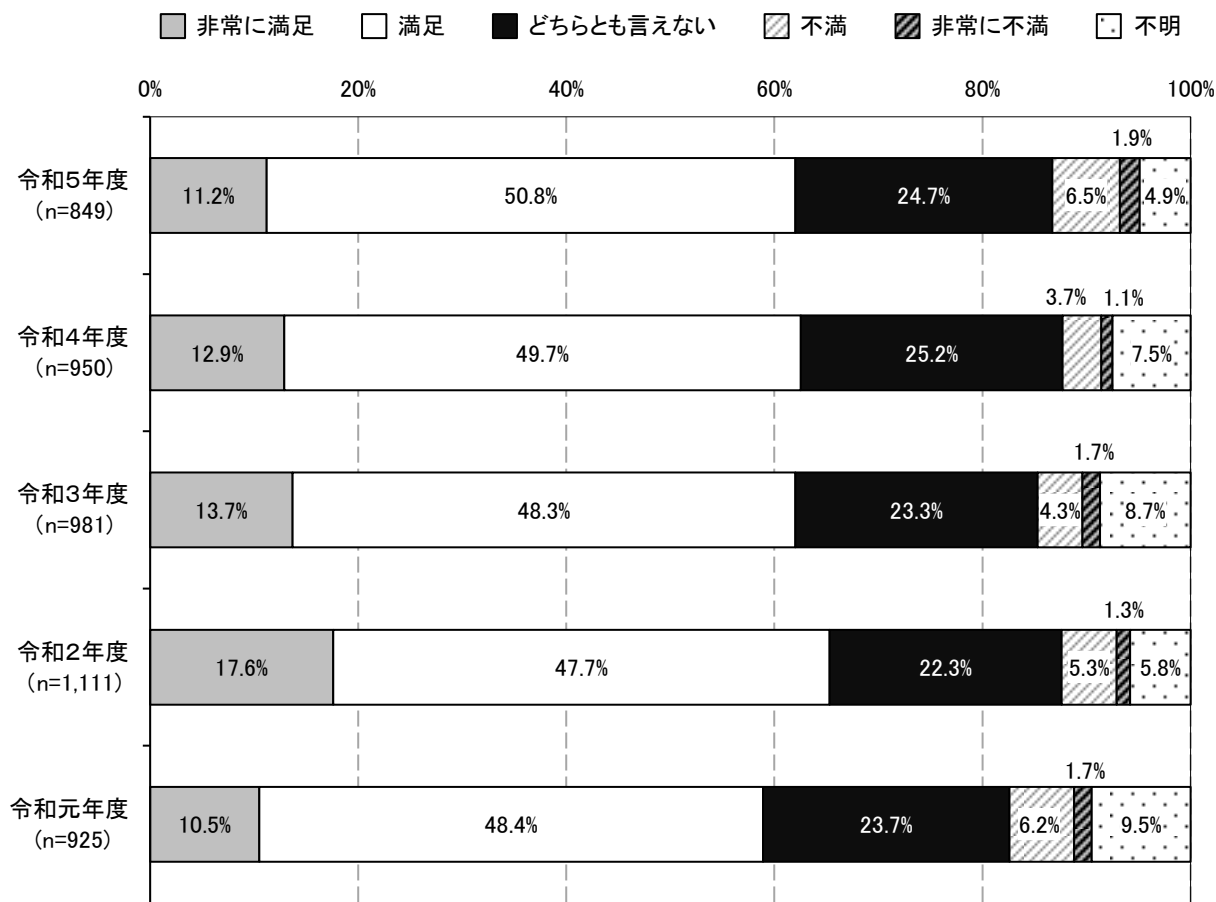
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



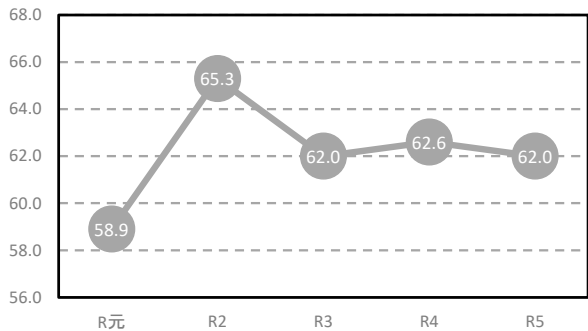
### <海・山・川などの豊かな自然環境>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少したものの、目標値である60.0%を超え、達成となっている。一方で不満度は増加しており、今後もさらに市民や事業者の環境保全意識を向上させ、環境にやさしい生活や事業が行われるよう、啓発活動や情報提供等を通じて、環境づくりに引き続き努めていく必要があると思われる。

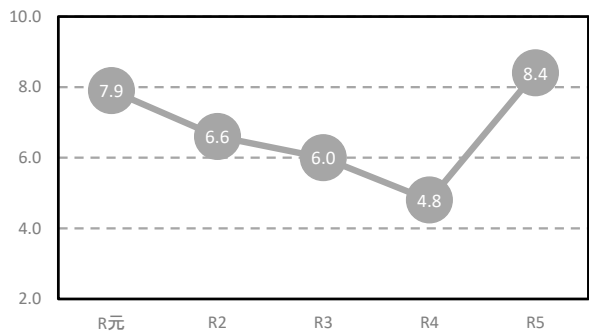
満足度目標値	(令和8年度) 60.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



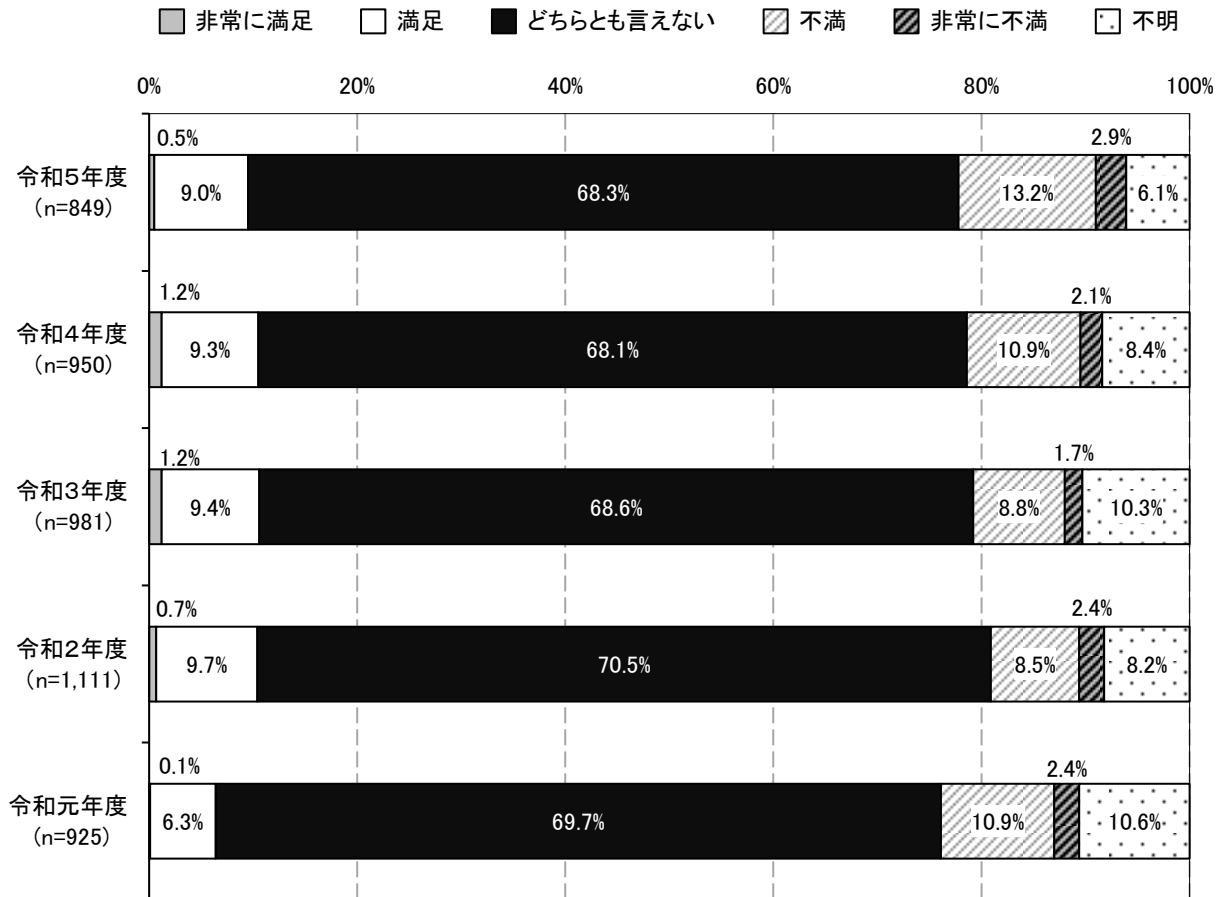
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



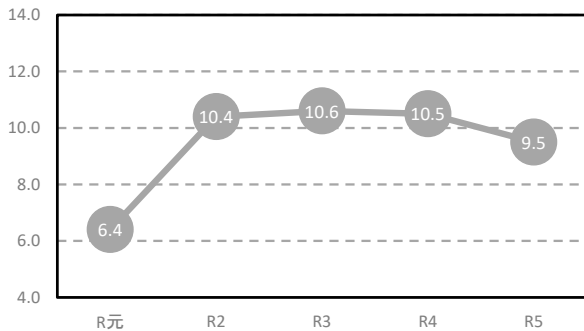
### <生涯学習支援サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少し、不満度は増加している。目標値の達成に向けて、幅広い世代に学びの機会を提供し、課題解決の支援の充実を行っていくほか、より質の高いサービスの提供に努める必要があると思われる。

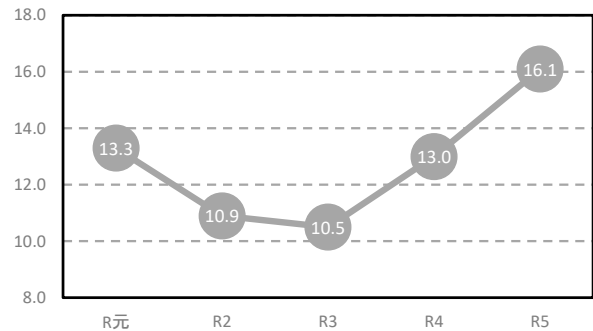
満足度目標値	(令和8年度) 17.7%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移

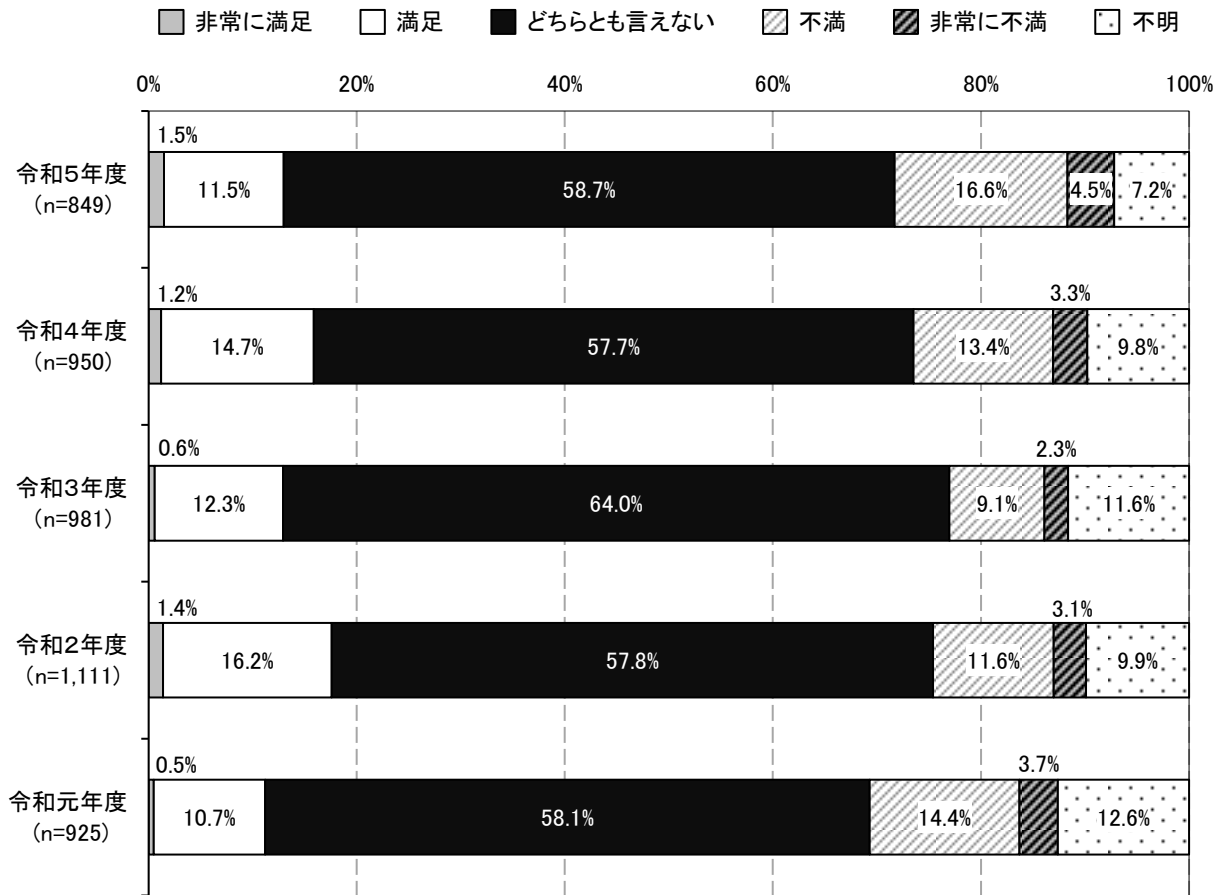


不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

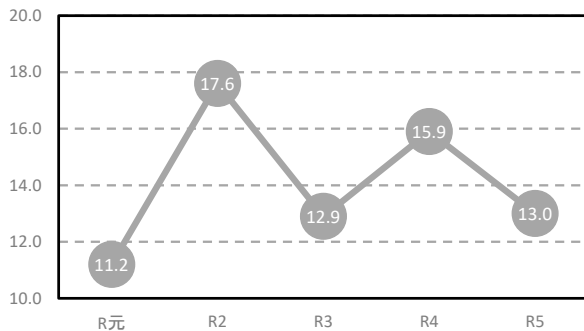


### <子供や子育てに対する支援サービス>

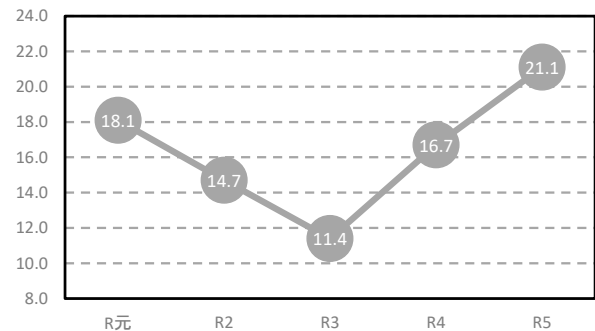
全体の回答では、満足度は減少し、不満度は増加している。0～14歳のお子様がいる方においては、満足度は増加しているが、不満度も増加している。引き続き、より安心して子供を生き育てることのできる環境の整備に努めていく必要があると思われる。



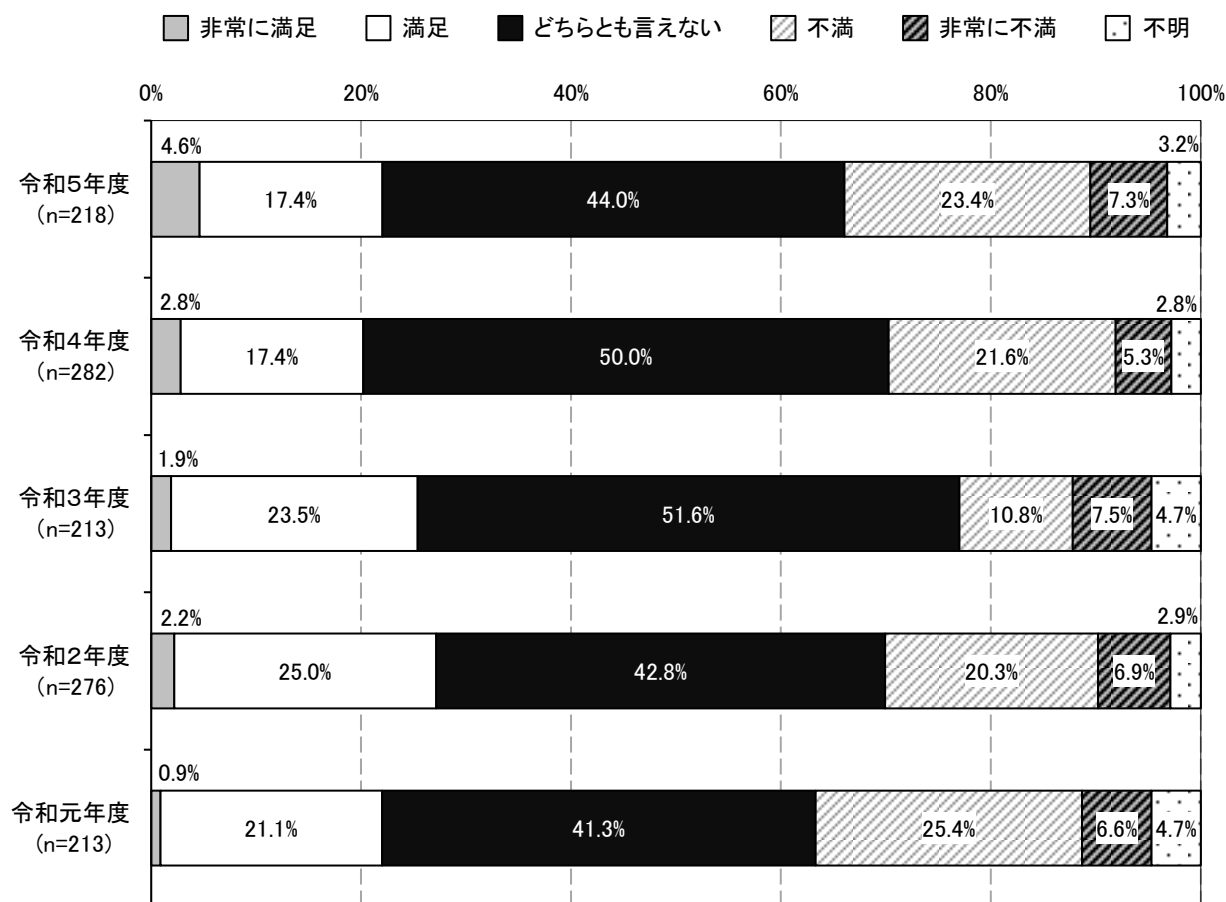
満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



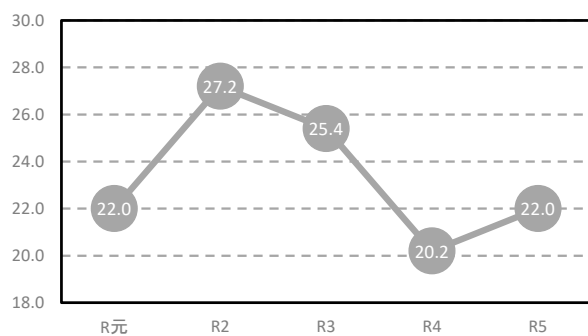
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



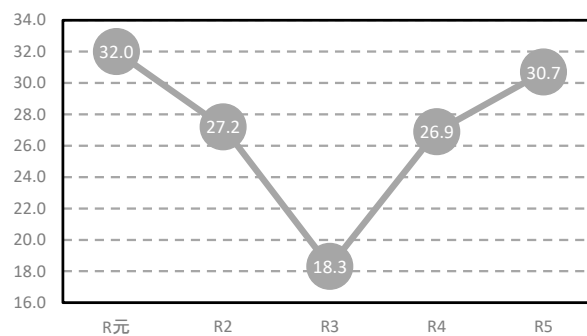
## 【0～14歳のお子様がいる方のみの回答】



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



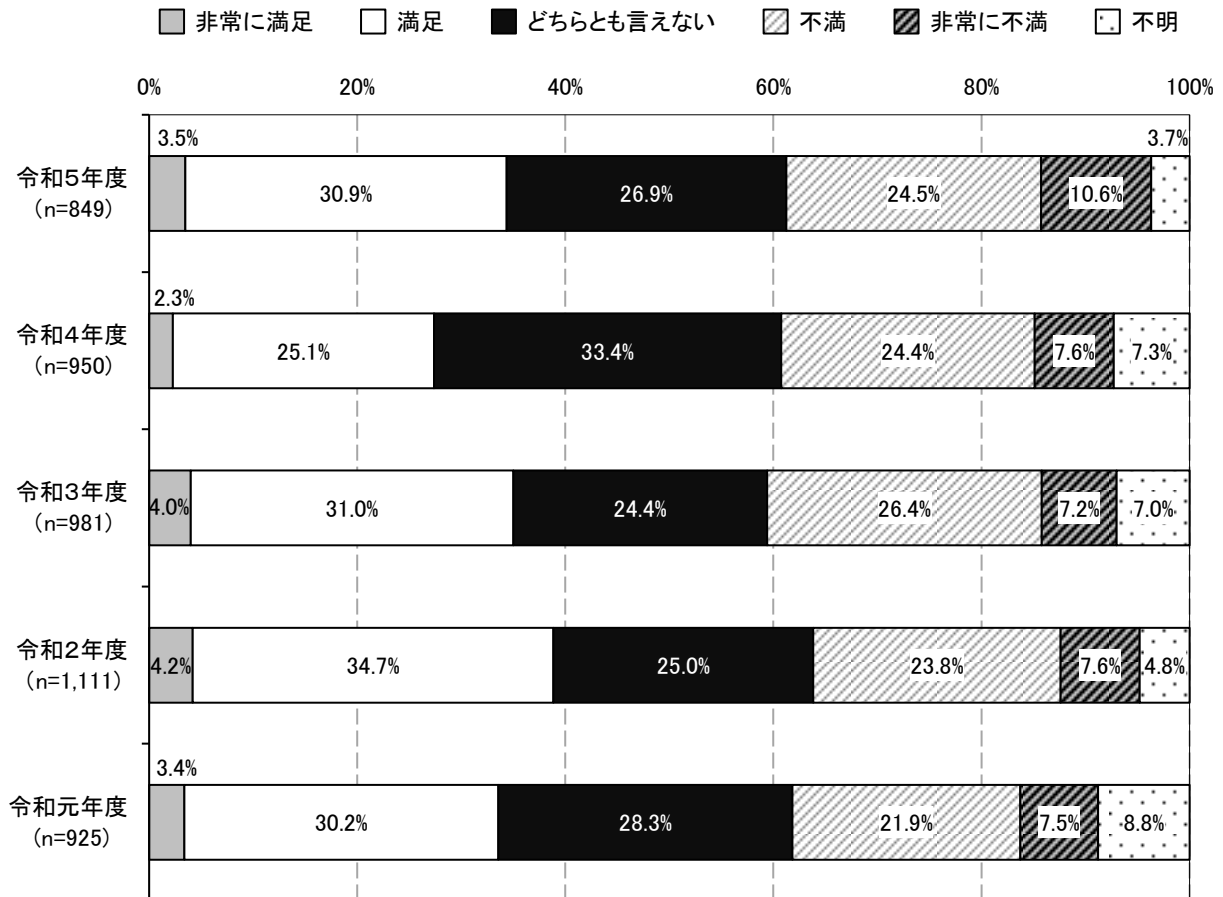
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



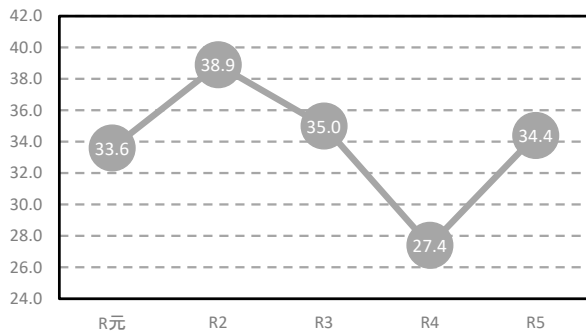
### <通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は増加しているが、不満度も増加している。不満度の減少を目指すと同時に目標値を達成する必要がある。今後は、より中心市街地の活性化を図るとともに、コンパクトで便利なまちを形成するため、駅や小学校周辺などの生活拠点に住居と日常生活に必要な機能の緩やかな誘導を図る必要があると思われる。

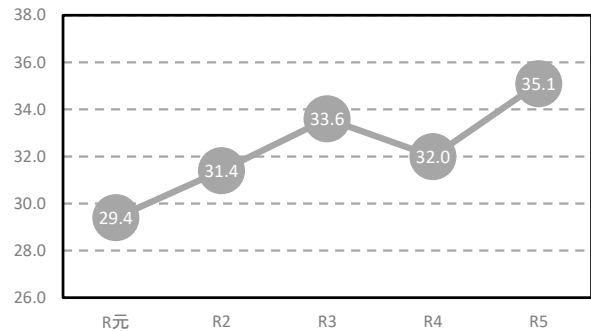
満足度目標値	(令和8年度) 35.5%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



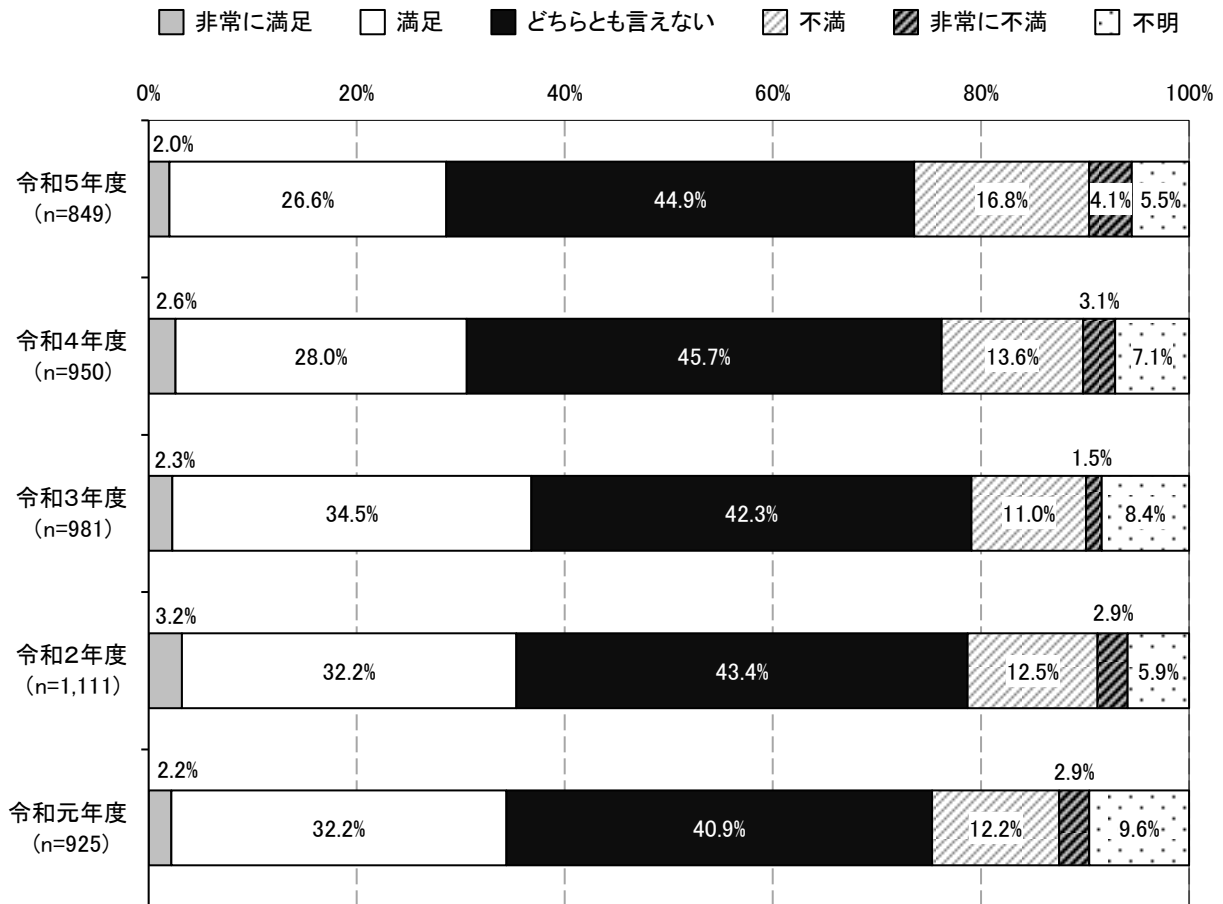
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



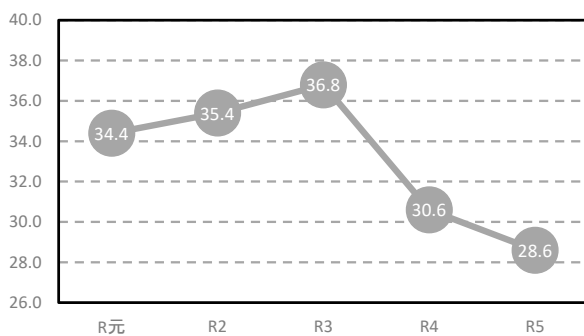
### <快適で暮らしやすい住宅環境>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少し、不満度は増加している。目標値の達成に向けて、良質な住宅や良好な宅地の確保に向け、空き家の適正管理・除去や利活用を促進するとともに、老朽市営住宅の建替え・景観改善・住環境改善を計画的に進める必要があると思われる。

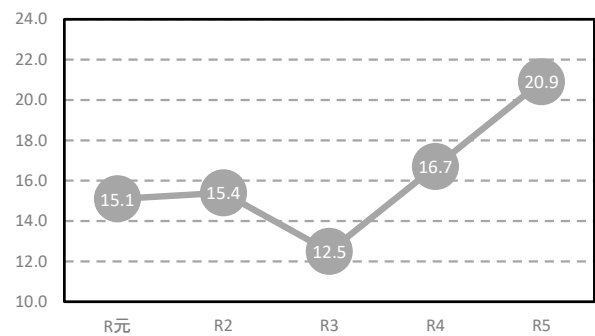
満足度目標値	(令和8年度) 50.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

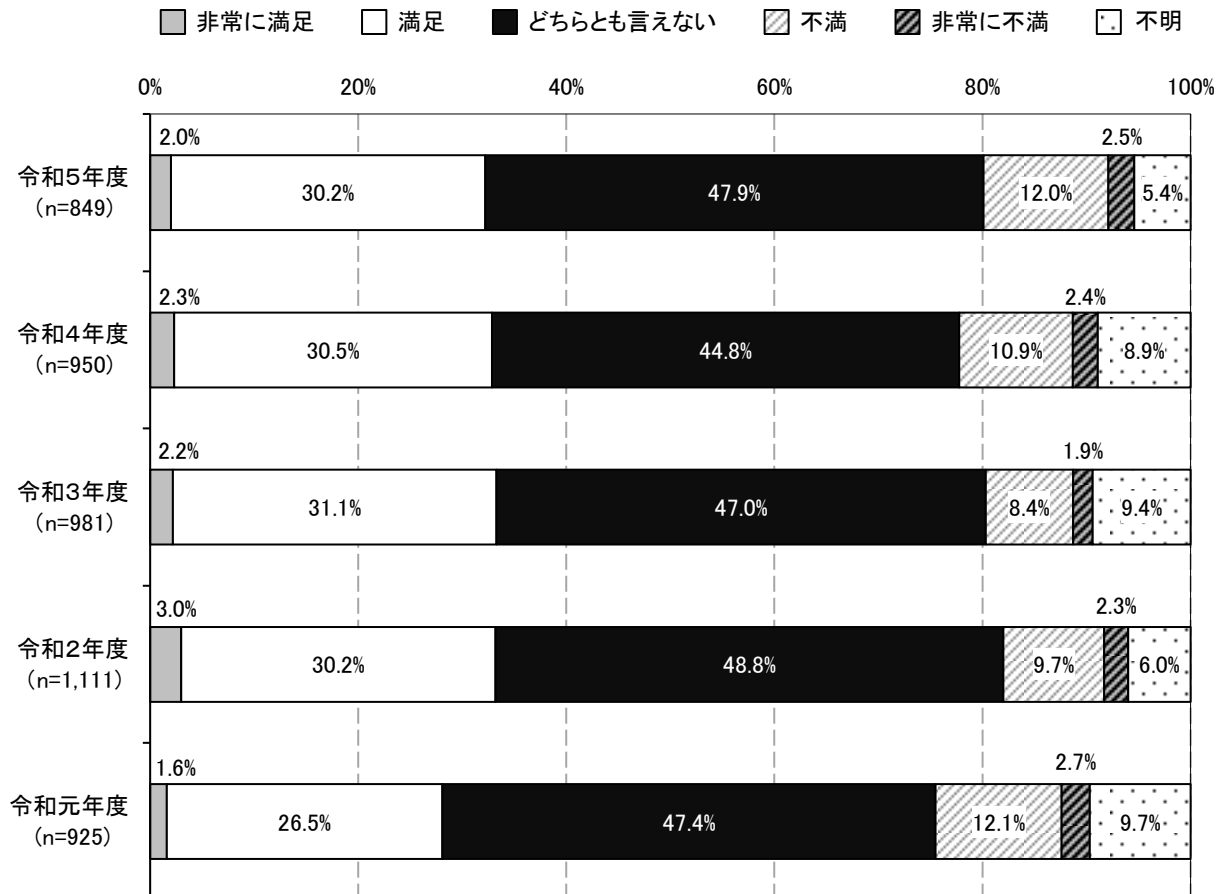




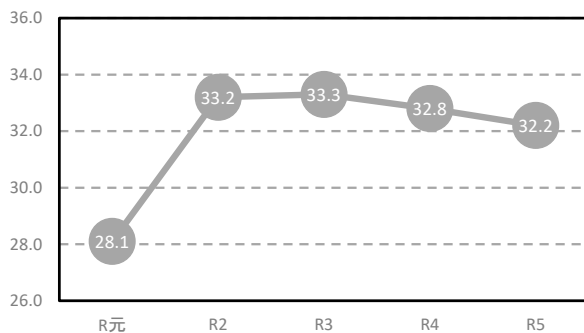
## <医療・保健サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少し、不満度は増加している。目標値の達成に向けて、必要な時に適切で良質な医療を利用できるよう地域医療・健康危機管理体制を引き続き充実させる必要があると思われる。

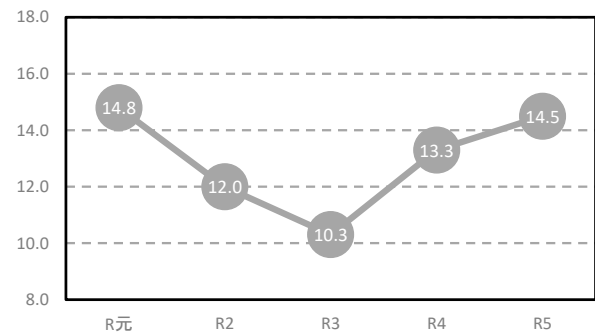
満足度目標値	(令和8年度) 57.6%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移

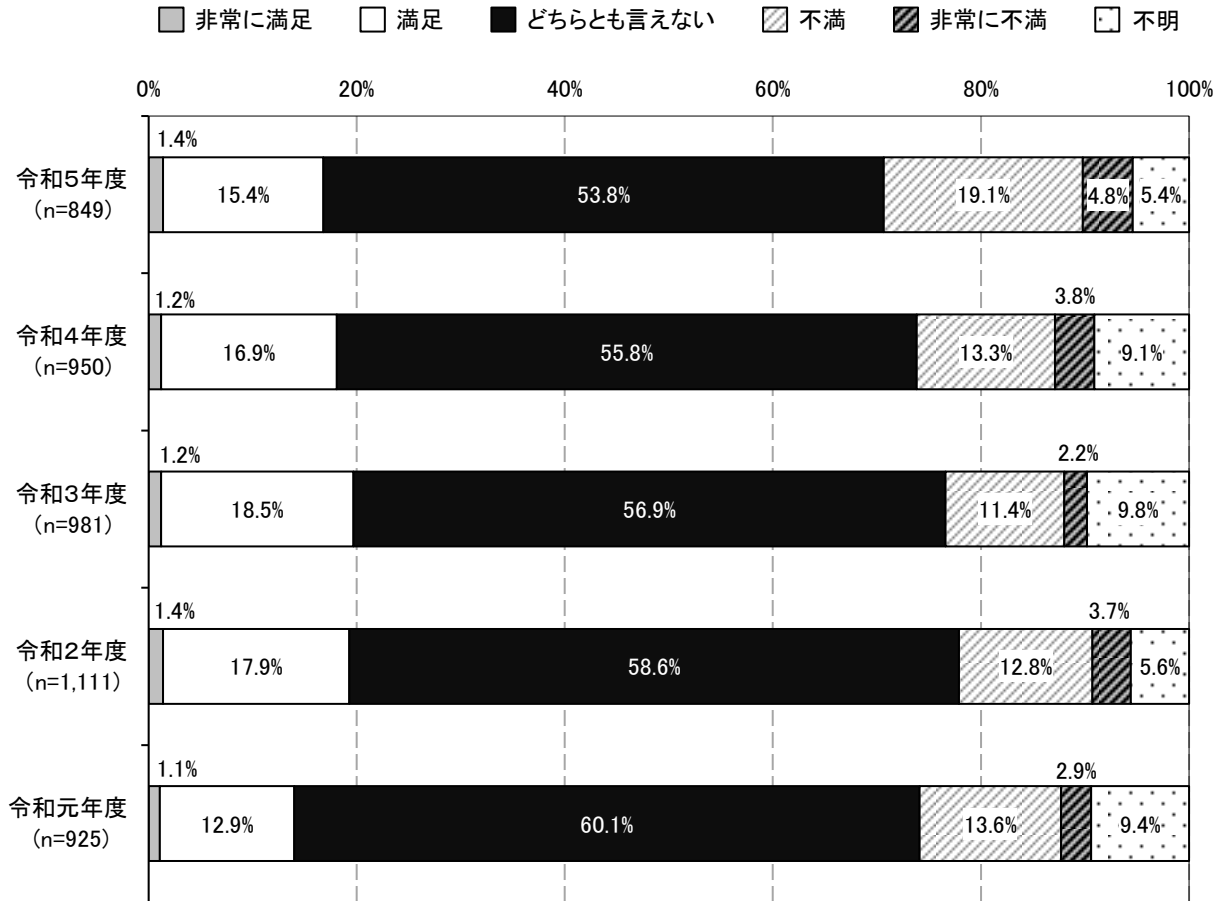


不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

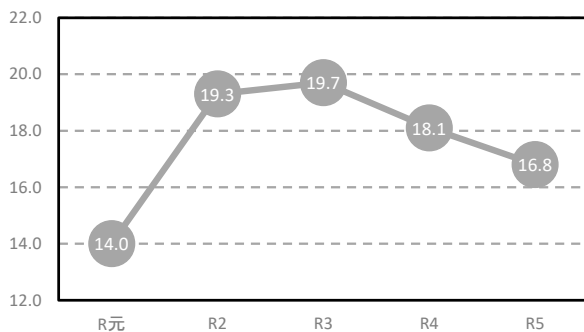


## <高齢者・障害者に対する福祉サービス>

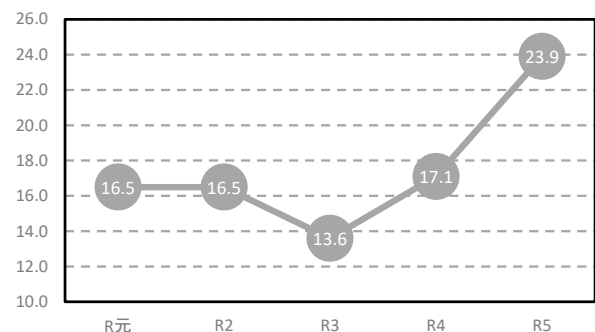
満足度は減少し、不満度は増加している。高齢者や障害者が安心して安全に暮らすことのできるまちづくりに向けて、バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進とともに、引き続き支援体制の強化を図る必要があると思われる。



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



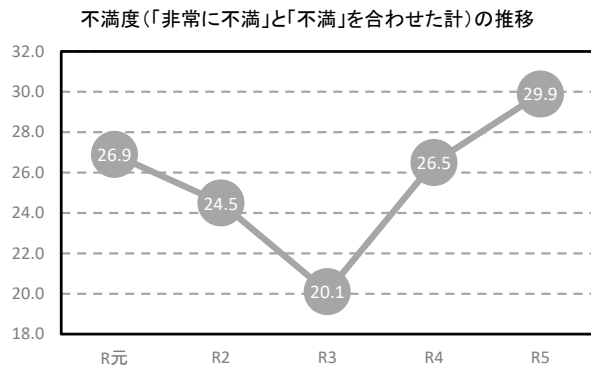
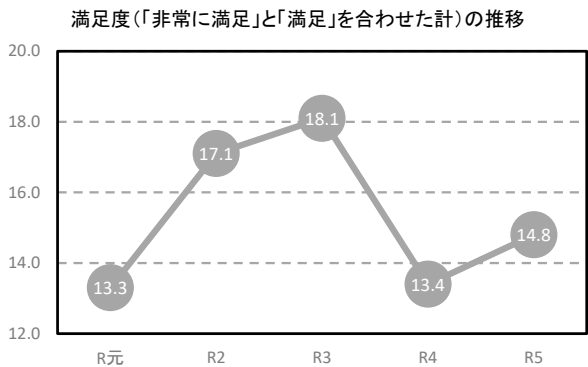
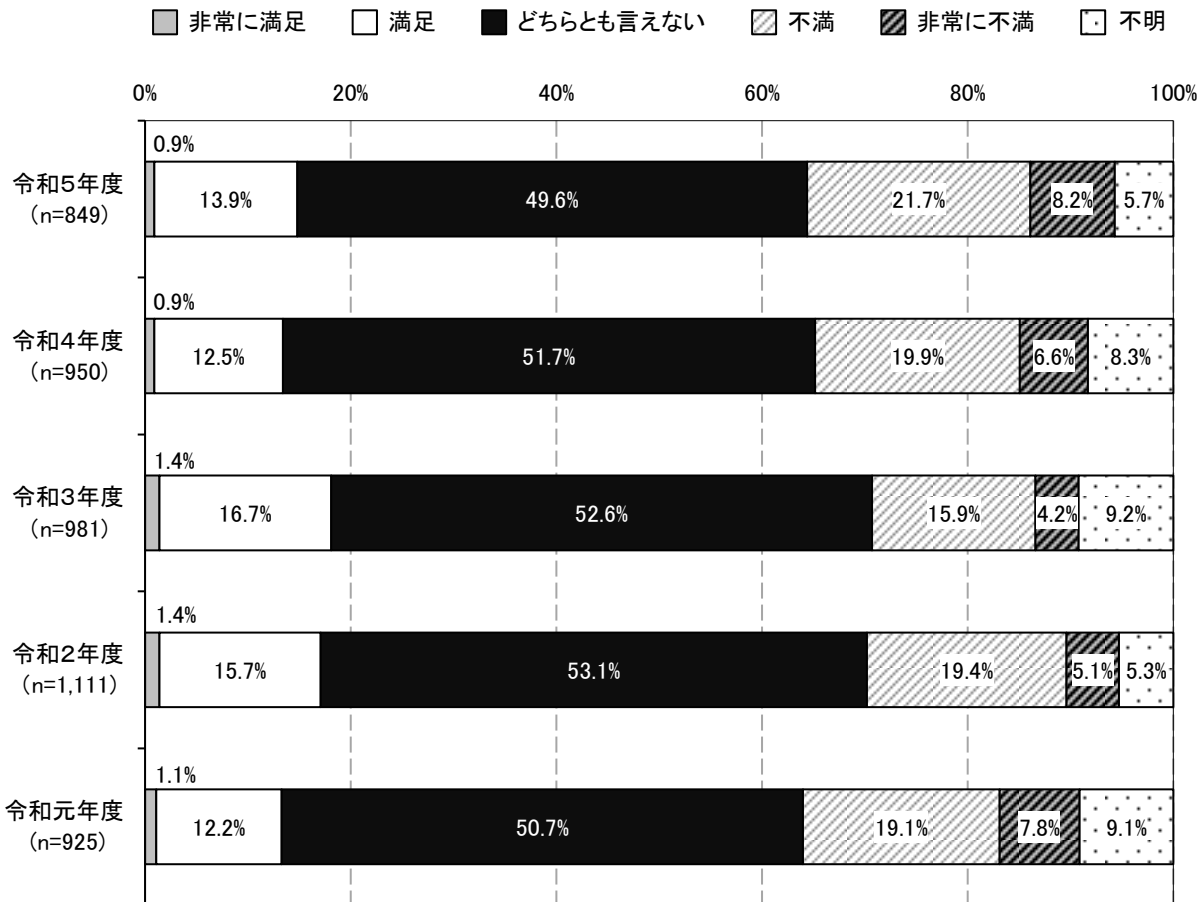
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



### <介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は増加しているが、不満度も増加している。今後は、不満度の減少を目指すと同時に目標値の達成に向けて、必要な社会保険・公的扶助のサービスを適正に受けることができる環境を整えていく必要があると思われる。

満足度目標値	(令和8年度) 26.0%
--------	------------------



#### 4. 和歌山城天守閣について

和歌山城天守閣は、昭和 33 年に鉄筋コンクリート造で再建されてから 60 年以上が経過し、今後天守閣をどのように整備していくのか現在検討を進めているところです。本調査では令和 4 年度に開催された市民参加型のワークショップで出された意見に関して、皆様のご意見をお伺いしました。

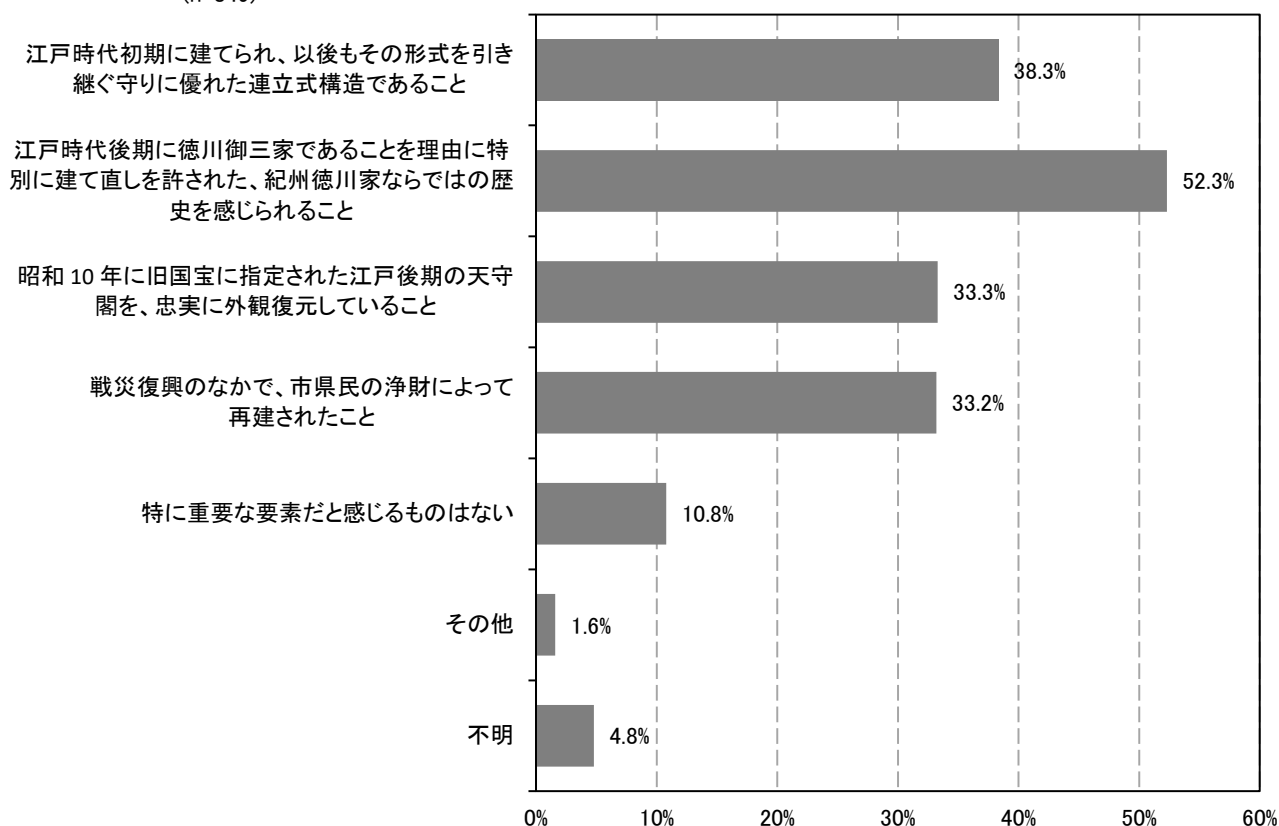
#### 問 10 和歌山城天守閣にとって特に重要な要素

問 10 あなたが、和歌山城天守閣にとって特に重要な要素だと感じるものはどれですか？  
(あてはまるものすべてに○)

1. 江戸時代初期に建てられ、以後もその形式を引き継ぐ守りに優れた連立式構造であること
2. 江戸時代後期に徳川御三家であることを理由に特別に建て直しを許された、紀州徳川家ならではの歴史を感じられること
3. 昭和 10 年に旧国宝に指定された江戸後期の天守閣を、忠実に外観復元していること
4. 戦災復興のなかで、市県民の浄財によって再建されたこと
5. 特に重要な要素だと感じるものはない
6. その他

和歌山城天守閣にとって特に重要な要素について、「江戸時代後期に徳川御三家であることを理由に特別に建て直しを許された、紀州徳川家ならではの歴史を感じられること」が 52.3%と最も多く、次いで「江戸時代初期に建てられ、以後もその形式を引き継ぐ守りに優れた連立式構造であること」(38.3%)、「昭和 10 年に旧国宝に指定された江戸後期の天守閣を、忠実に外観復元していること」(33.3%)となっている。

全体  
(n=849)



その他：「街の中心地にあること」、「見た目がカッコ良いこと」、「わからない」など

問 11 和歌山城天守閣を「平和の象徴」と位置づけアピールしていくことについて

問 11 あなたは、昭和 33 年に再建された現在の和歌山城天守閣を、「平和の象徴」と位置づけ、アピールしていくことについて、どう思いますか？（〇は1つ）

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 賛成        | 2. どちらかといえば賛成 |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば反対 |
| 5. 反対        |               |

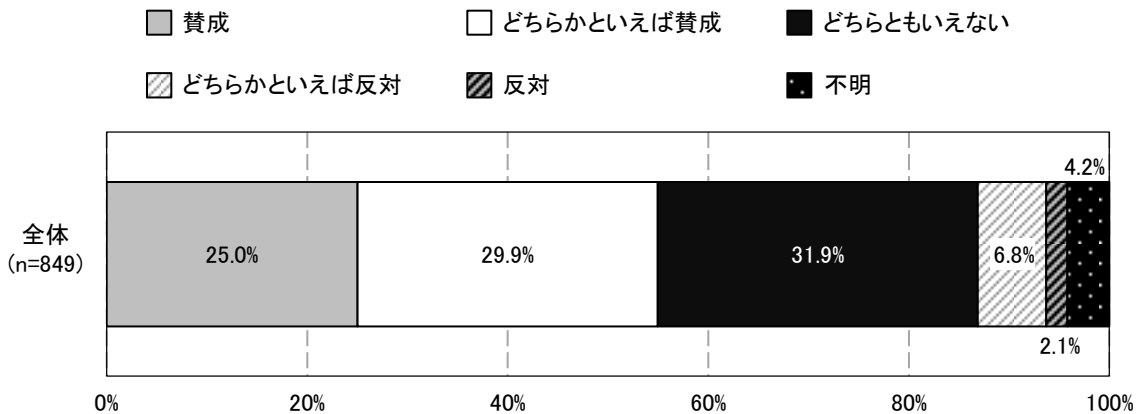
※現在の天守閣は、戦後復興のさなか住宅不足などの民生行政を優先すべきという声も出されたなか、建設費の半分近くを市県民の浄財（寄附）で賄い、再建されました。

和歌山城天守閣を「平和の象徴」と位置づけアピールしていくことについて、「どちらともいえない」と回答された方の割合が31.9%と最も多く、「賛成」と「どちらかといえば賛成」をあわせた割合は54.9%となっている。

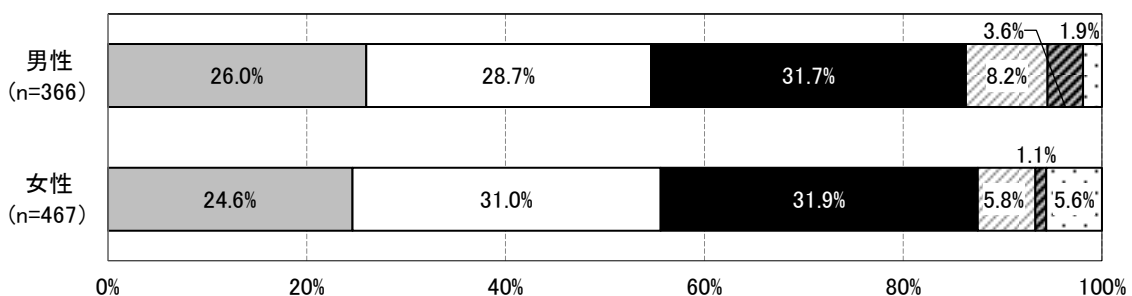
男女別で見ると、「賛成」と「どちらかといえば賛成」をあわせた割合は、「男性」が54.7%、「女性」が55.6%と大きな差はみられない。

年代別で見ると、「60～69歳」で「賛成」と「どちらかといえば賛成」をあわせた割合が61.3%と最も多く、次いで「70～79歳」（60.2%）、「80歳以上」（59.1%）となっている。

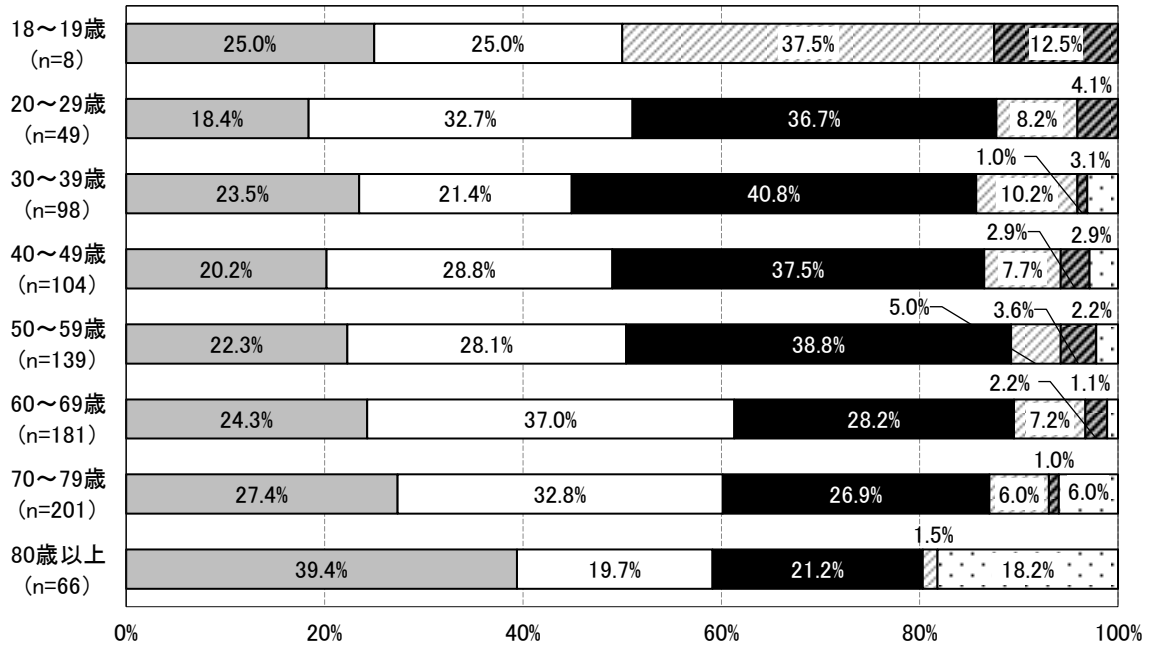
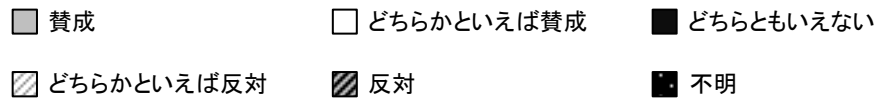
<全体>



<男女別>



<年代別>



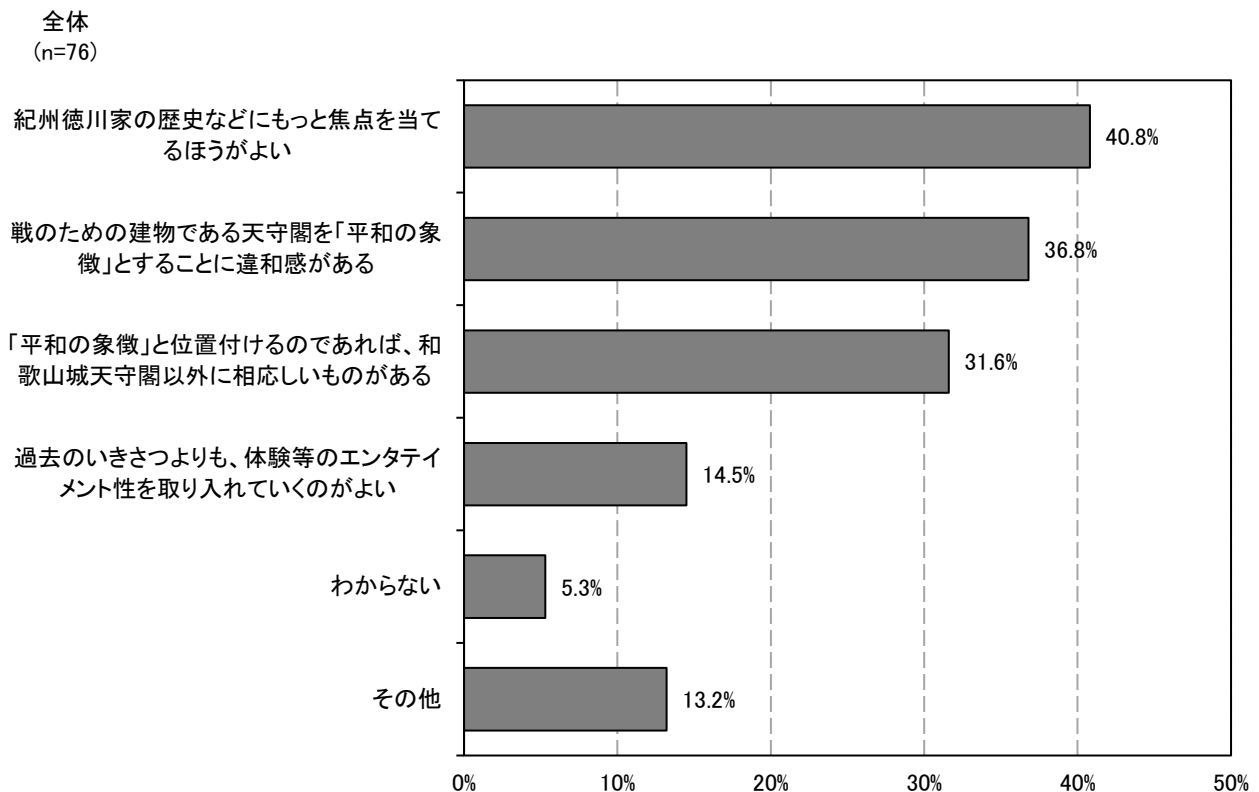
## 問 11-1 回答の理由

問 11-1 問 11 で「4. どちらかといえば反対」「5. 反対」と回答された方のみお答えください。

回答いただいた理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

1. 紀州徳川家の歴史などにもっと焦点を当てるほうがよい
2. 戦（いくさ）のための建物である天守閣を「平和の象徴」とすることに違和感がある
3. 「平和の象徴」と位置付けるのであれば、和歌山城天守閣以外に相応しいものがある
4. 過去のいきさつよりも、体験等のエンタテインメント性を取り入れていくのがよい
5. わからない
6. その他

回答の理由について、「紀州徳川家の歴史などにもっと焦点を当てるほうがよい」が 40.8%と最も多く、次いで「戦のための建物である天守閣を「平和の象徴」とすることに違和感がある」(36.8%)、「平和の象徴」と位置付けるのであれば、和歌山城天守閣以外に相応しいものがある」(31.6%)となっている。



その他：「天守閣と平和の関係が不明確」、「わざわざ「平和」と結びつける必要はない」など

問 12 天守閣内の歴史展示について

問 12 今後天守閣を整備することで、実物資料を用いないパネルやレプリカ等による展示が中心となることも考えられます。あなたは、天守閣内の歴史展示についてどう思いますか？

(○は1つ)

1. 現在の天守閣以上に豊富な展示がされるのが望ましい
2. 現在の天守閣と同程度の展示を保って欲しい
3. 現在の天守閣の展示まででなくとも、何らかの展示は欲しい
4. 他に体験や楽しめる施設があれば、展示はそこまで重要ではない
5. 簡素な展示になるのであれば、展示はなくてもよい
6. 展示は他の場所（わかやま歴史館 や 市立博物館 等）に集約するのがよい
7. わからない
8. その他

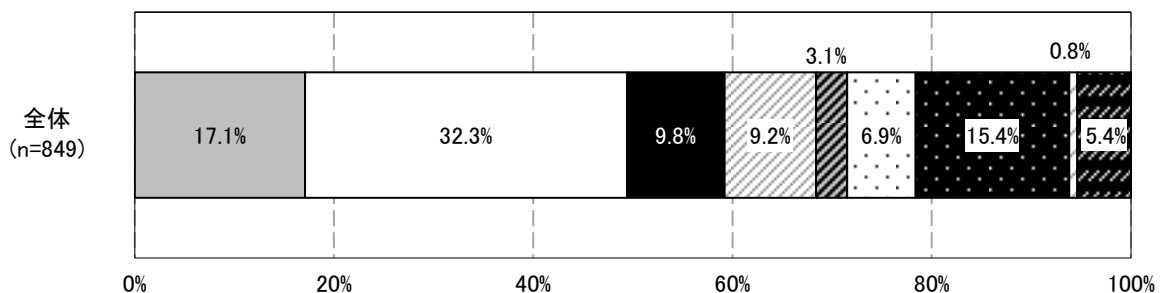
天守閣内の歴史展示について、「現在の天守閣と同程度の展示を保って欲しい」と回答された方の割合が 32.3%と最も多く、次いで「現在の天守閣以上に豊富な展示がされるのが望ましい」(17.1%)、「わからない」(15.4%) となっている。

男女別でみると、「女性」で「現在の天守閣と同程度の展示を保って欲しい」と回答された方の割合が 34.3%と、「男性」より 3.4 ポイント高くなっている。

年代別でみると、「50 歳以上」で「現在の天守閣と同程度の展示を保って欲しい」と回答された方の割合が 3 割を超えている。

<全体>

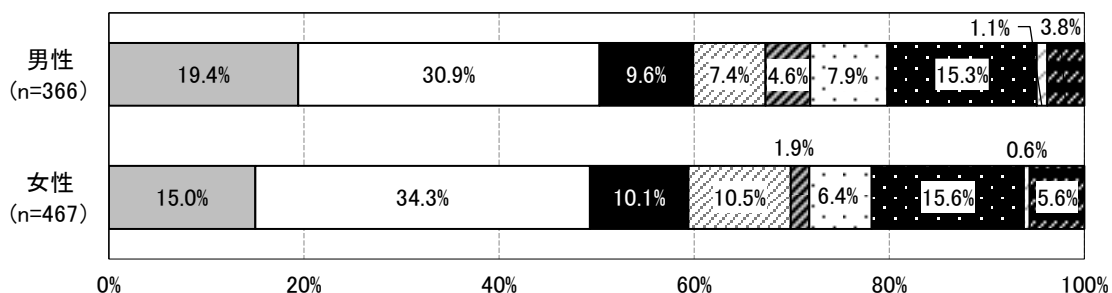
- 現在の天守閣以上に豊富な展示がされるのが望ましい
- 現在の天守閣と同程度の展示を保って欲しい
- 現在の天守閣の展示まででなくとも、何らかの展示は欲しい
- 他に体験や楽しめる施設があれば、展示はそこまで重要ではない
- 簡素な展示になるのであれば、展示はなくてもよい
- 展示は他の場所(わかやま歴史館 や 市立博物館 等)に集約するのがよい
- わからない
- その他
- 不明



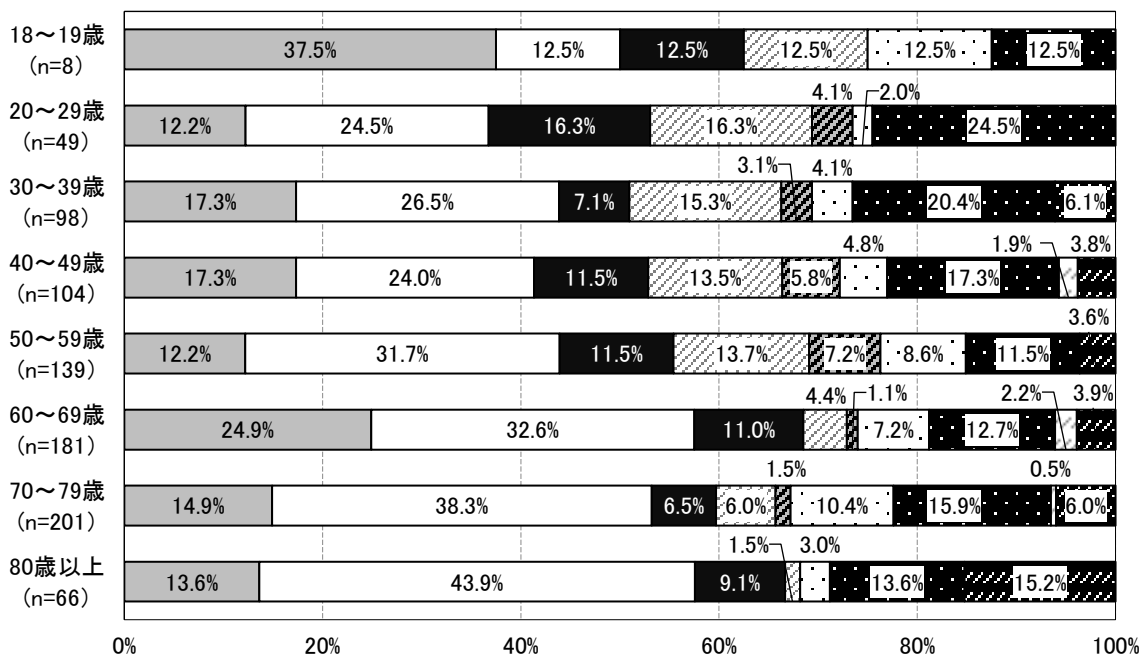


<男女別>

- 現在の天守閣以上に豊富な展示がされるのが望ましい
- 現在の天守閣と同程度の展示を保って欲しい
- 現在の天守閣の展示まででなくとも、何らかの展示は欲しい
- 他に体験や楽しめる施設があれば、展示はそこまで重要ではない
- 簡素な展示になるのであれば、展示はなくてもよい
- 展示は他の場所(わかやま歴史館や市立博物館等)に集約するのがよい
- わからない
- その他
- 不明



<年代別>



その他：「映像、CG、ジオラマを使った展示が楽しい」、「お城の中も忠実に再現する」など

問 13 和歌山城天守閣を多目的に活用することについて

問 13 あなたは、和歌山城天守閣を展示以外にもっと多目的に活用することについて、どう思いますか？（〇は1つ）

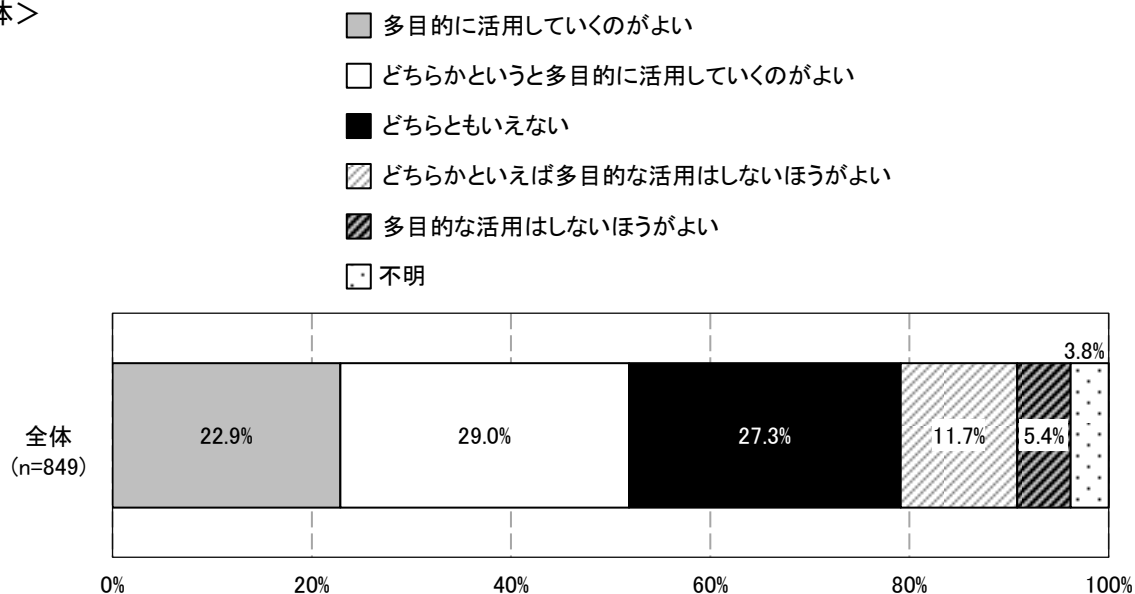
1. 多目的に活用していくのがよい
2. どちらかという和多目的に活用していくのがよい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば多目的な活用はしないほうがよい
5. 多目的な活用はしないほうがよい

和歌山城天守閣を多目的に活用することについて、「どちらかという和多目的に活用していくのがよい」と回答された方の割合が 29.0%と最も多く、「多目的に活用していくのがよい」をあわせた割合は 51.9%となっている。

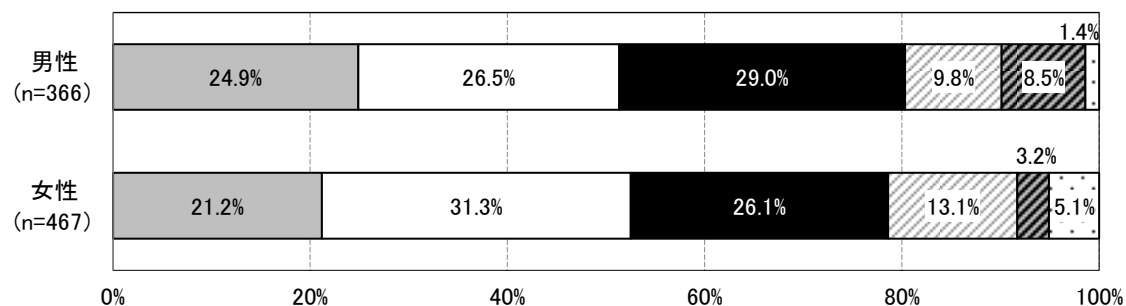
男女別でみると、「多目的に活用していくのがよい」と「どちらかという和多目的に活用していくのがよい」をあわせた割合は、「男性」が 51.4%、「女性」が 52.5%と大きな差はみられない。

年代別でみると、「20～29 歳」で「多目的に活用していくのがよい」と「どちらかという和多目的に活用していくのがよい」をあわせた割合が 73.5%と最も多くなっており、以降は年齢が上がるにつれ割合が低くなる傾向がみられる。

<全体>

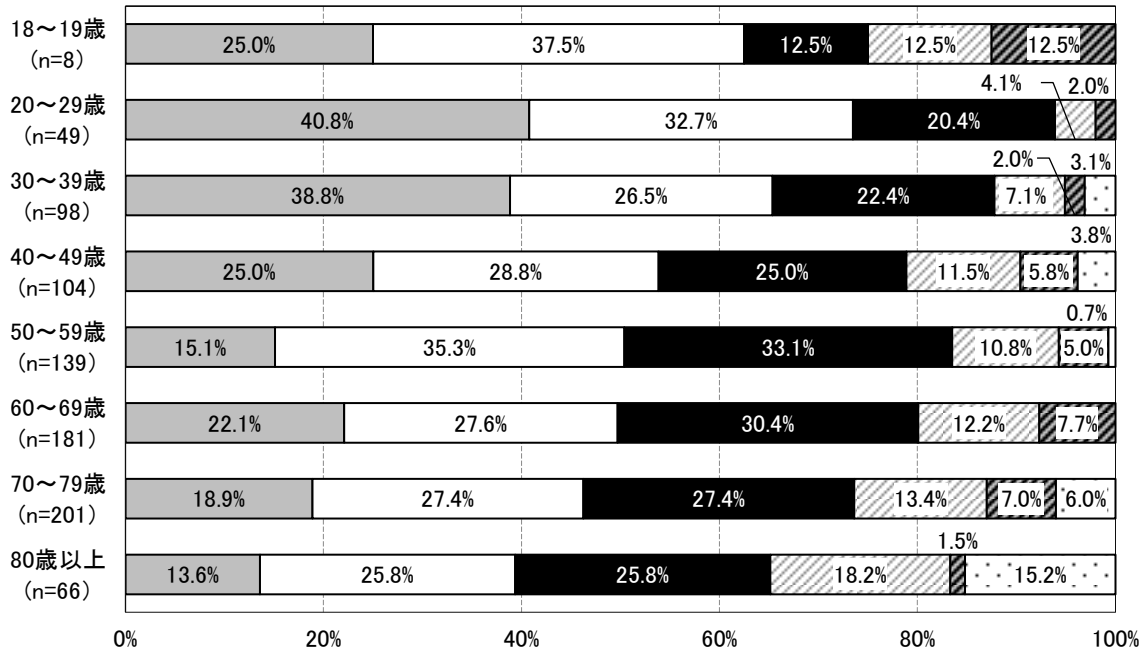


<男女別>



<年代別>

- 多目的に活用していくのがよい
- どちらかという和多目的に活用していくのがよい
- どちらともいえない
- ▨ どちらかといえば多目的な活用はしないほうがよい
- ▩ 多目的な活用はしないほうがよい
- 不明



問 13-1 どのような活用を期待するか

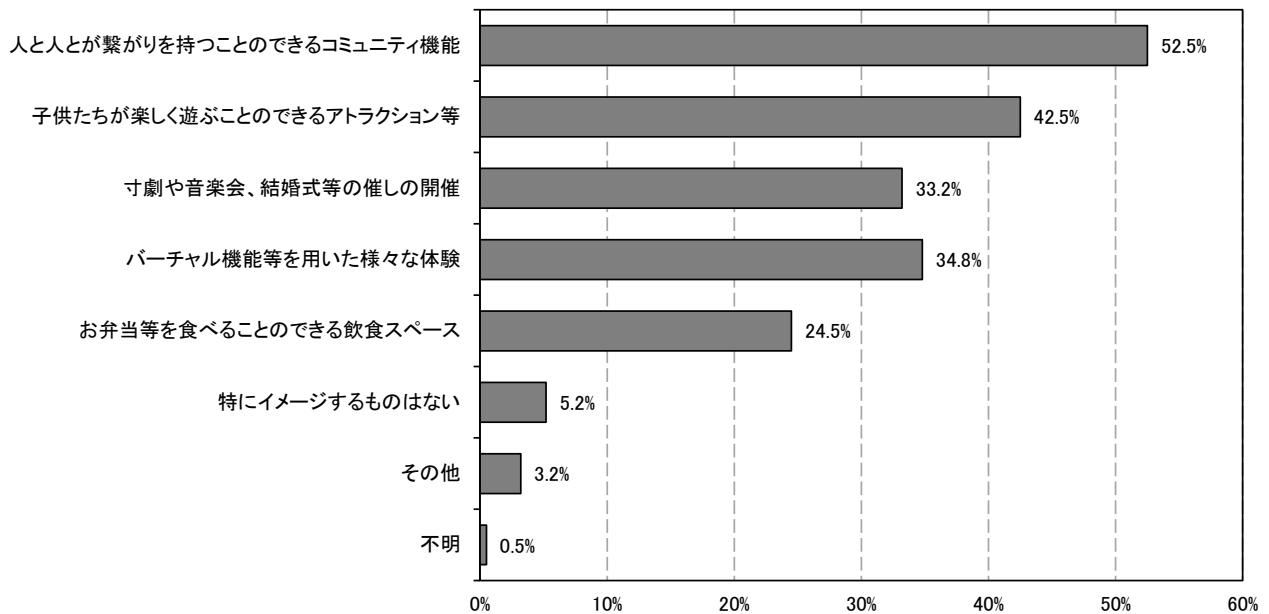
問 13-1 問 13で「1. 多目的に活用していくのがよい」「2. どちらかという和多目的に活用していくのがよい」と回答された方のみお答えください。

あなたは、どのような活用を期待しますか？（あてはまるものすべてに○）

1. 人と人が繋がりを持つことのできるコミュニティ機能
2. 子供たちが楽しく遊ぶことのできるアトラクション等
3. 寸劇や音楽会、結婚式等の催しの開催
4. バーチャル機能等を用いた様々な体験
5. お弁当等を食べることのできる飲食スペース
6. 特にイメージするものはない
7. その他

どのような活用を期待するかについて、「人と人が繋がりを持つことのできるコミュニティ機能」が 52.5%と最も多く、次いで「子供たちが楽しく遊ぶことのできるアトラクション等」（42.5%）、「バーチャル機能等を用いた様々な体験」（34.8%）となっている。

全体  
(n=440)



その他：「子ども向けイベント」、「芸術品の展示」、「維持管理する為の収益となる事」など

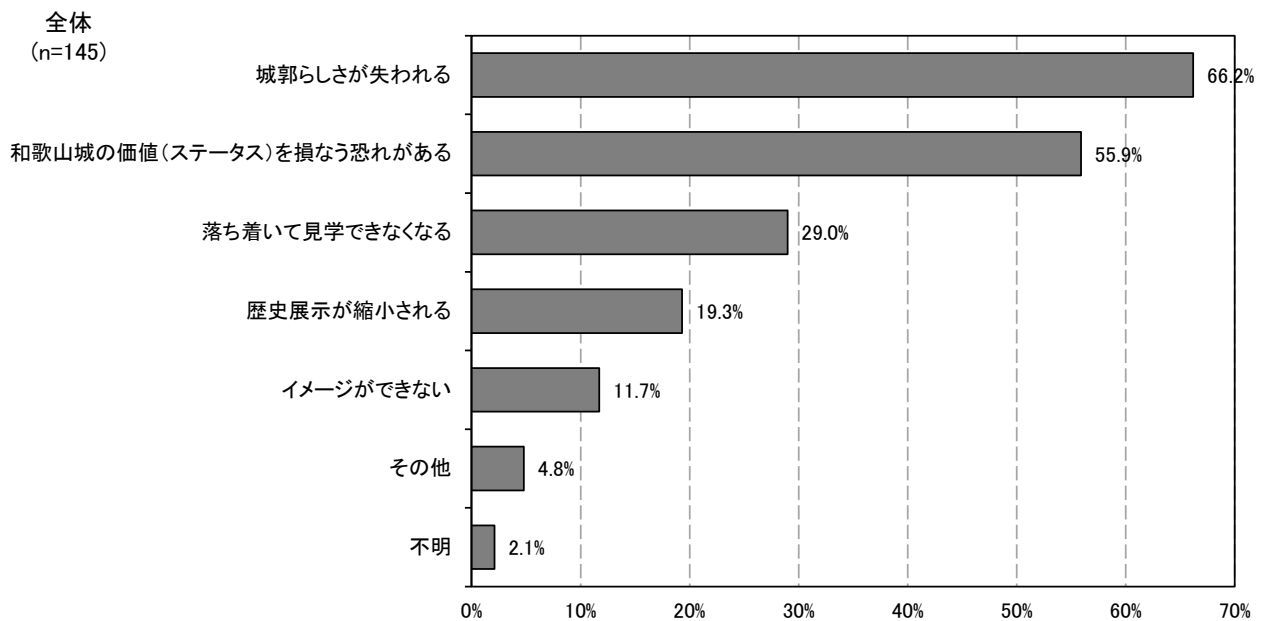
## 問 13-2 回答の理由

問 13-2 問 13で「4. どちらかといえば多目的な活用はしないほうがよい」「5. 多目的な活用はしないほうがよい」と回答された方のみお答えください。

回答いただいた理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

1. 城郭らしさが失われる
2. 和歌山城の価値（ステータス）を損なう恐れがある
3. 落ち着いて見学できなくなる
4. 歴史展示が縮小される
5. イメージができない
6. その他

回答の理由について、「城郭らしさが失われる」が 66.2%と最も多く、次いで「和歌山城の価値（ステータス）を損なう恐れがある」（55.9%）、「落ち着いて見学できなくなる」（29.0%）となっている。



その他：「メンテナンスが大変」、「現状で十分」、「汚れる、汚される」など

問 14 和歌山城天守閣を展示や多目的な活用に利用する場合に中心となる機能について

問 14 あなたは、和歌山城天守閣を展示や多目的な活用に利用していくとした場合、どちらの機能が中心になっているのがよいと思いますか？（○は1つ）

1. あくまで展示が中心であるのがよい
2. 多目的に活用できる空間が中心になっているのがよい
3. 展示と多目的に活用できる空間は半々程度になっているのがよい
4. どちらともいえない
5. わからない
6. その他

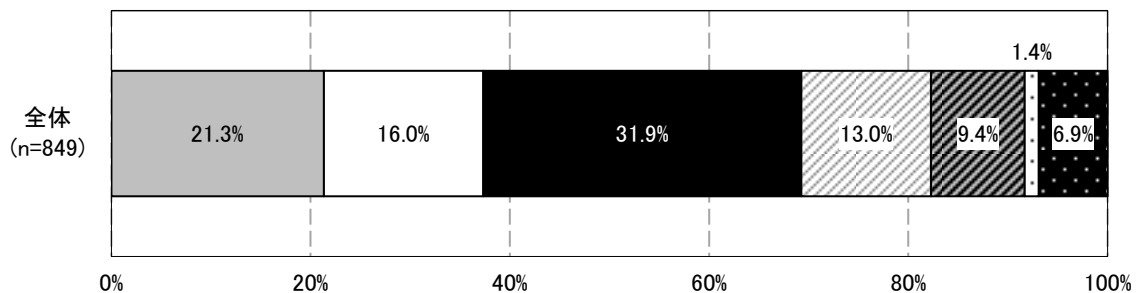
和歌山城天守閣を展示や多目的な活用に利用する場合に中心となる機能について、「展示と多目的に活用できる空間は半々程度になっているのがよい」と回答された方の割合が31.9%と最も多く、次いで「あくまで展示が中心であるのがよい」（21.3%）、「多目的に活用できる空間が中心になっているのがよい」（16.0%）となっている。

男女別でみると、「女性」で「展示と多目的に活用できる空間は半々程度になっているのがよい」と回答された方の割合が36.4%と、「男性」より10.2ポイント高くなっている。

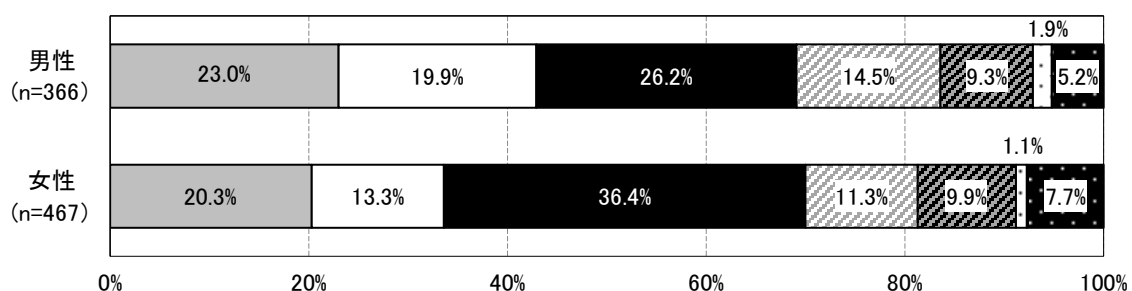
年代別でみると、「30～79歳」で「展示と多目的に活用できる空間は半々程度になっているのがよい」と回答された方の割合が3割を超えている。

<全体>

- あくまで展示が中心であるのがよい
- 多目的に活用できる空間が中心になっているのがよい
- 展示と多目的に活用できる空間は半々程度になっているのがよい
- ▨ どちらともいえない
- ▩ わからない
- その他
- 不明

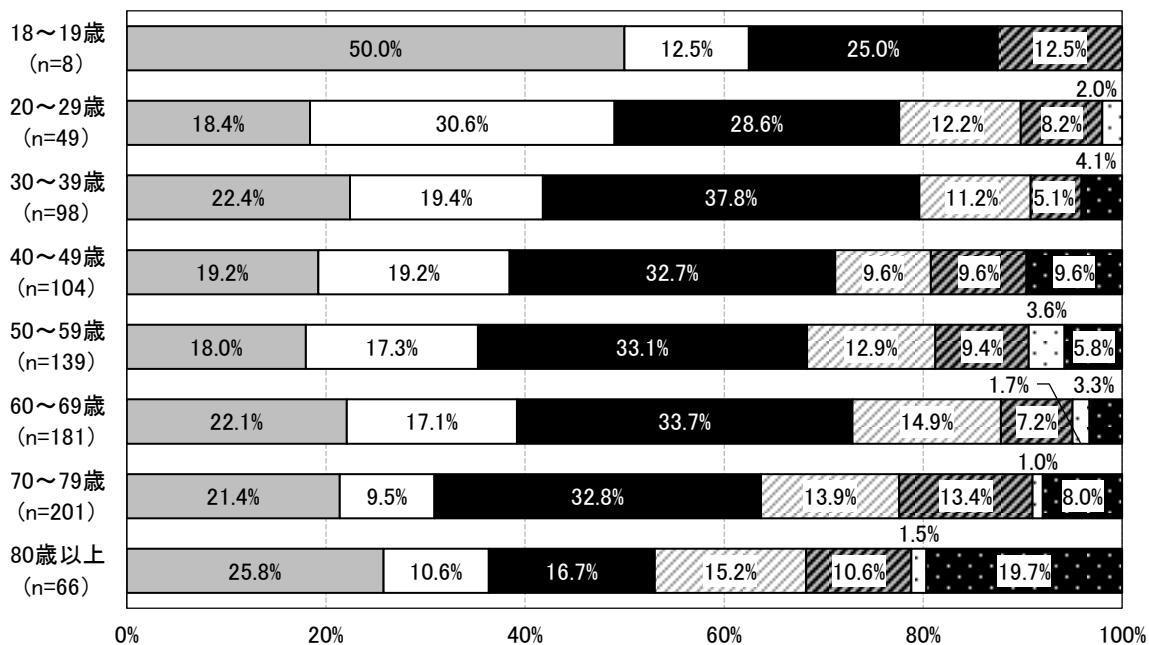


<男女別>



<年代別>

- あくまで展示が中心であるのがよい
- 多目的に活用できる空間が中心になっているのがよい
- 展示と多目的に活用できる空間は半々程度になっているのがよい
- ▨ どちらともいえない
- ▩ わからない
- その他
- 不明



その他：「多目的の内容による」、「目的に応じた比率で良い」など

問 15 和歌山城天守閣内の意匠や雰囲気づくりについて

問 15 あなたは、和歌山城天守閣内の意匠や雰囲気づくりについてどうすべきだと思いますか？  
(○は1つ)

1. 江戸時代にできるだけ近いものがよい
2. 江戸時代の面影を感じられる程度でよい
3. 江戸時代の面影を一部の空間やバーチャル技術等で体験できればよい
4. 江戸時代の面影はバーチャル技術等で体験できるだけでよい
5. 江戸時代のものでなくてよい
6. わからない
7. その他

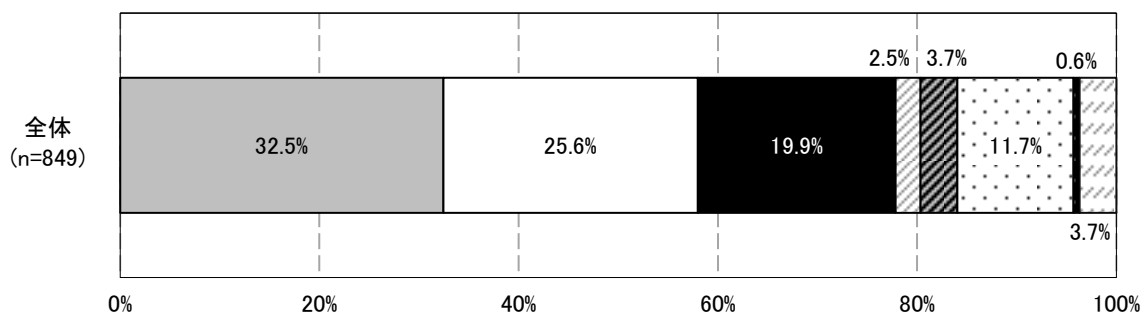
和歌山城天守閣内の意匠や雰囲気づくりについて、「江戸時代にできるだけ近いものがよい」と回答された方の割合が32.5%と最も多く、次いで「江戸時代の面影を感じられる程度でよい」(25.6%)、「江戸時代の面影を一部の空間やバーチャル技術等で体験できればよい」(19.9%)となっている。

男女別で見ると、「男性」で「江戸時代にできるだけ近いものがよい」と回答された方の割合が34.4%と、「女性」より3.8ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「40～49歳」で「江戸時代にできるだけ近いものがよい」と回答された方の割合が39.4%と最も多く、次いで「20～29歳」(38.8%)、「30～39歳」(33.7%)となっている。(回答数が少ない「18～19歳」を除く)

<全体>

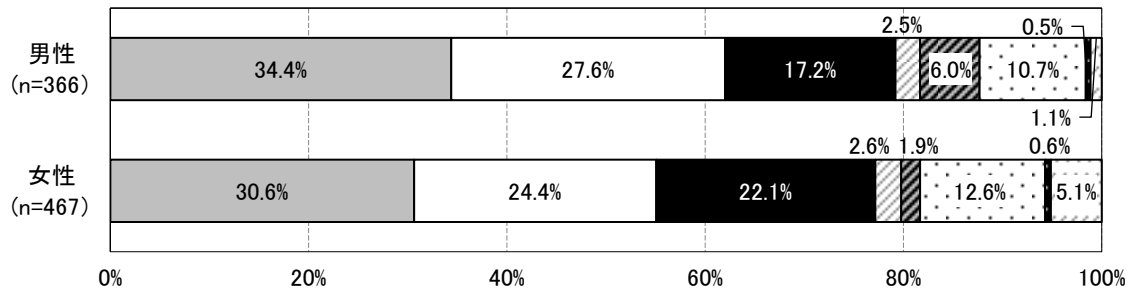
- 江戸時代にできるだけ近いものがよい
- 江戸時代の面影を感じられる程度でよい
- 江戸時代の面影を一部の空間やバーチャル技術等で体験できればよい
- 江戸時代の面影はバーチャル技術等で体験できるだけでよい
- 江戸時代のものでなくてよい
- わからない
- その他
- 不明



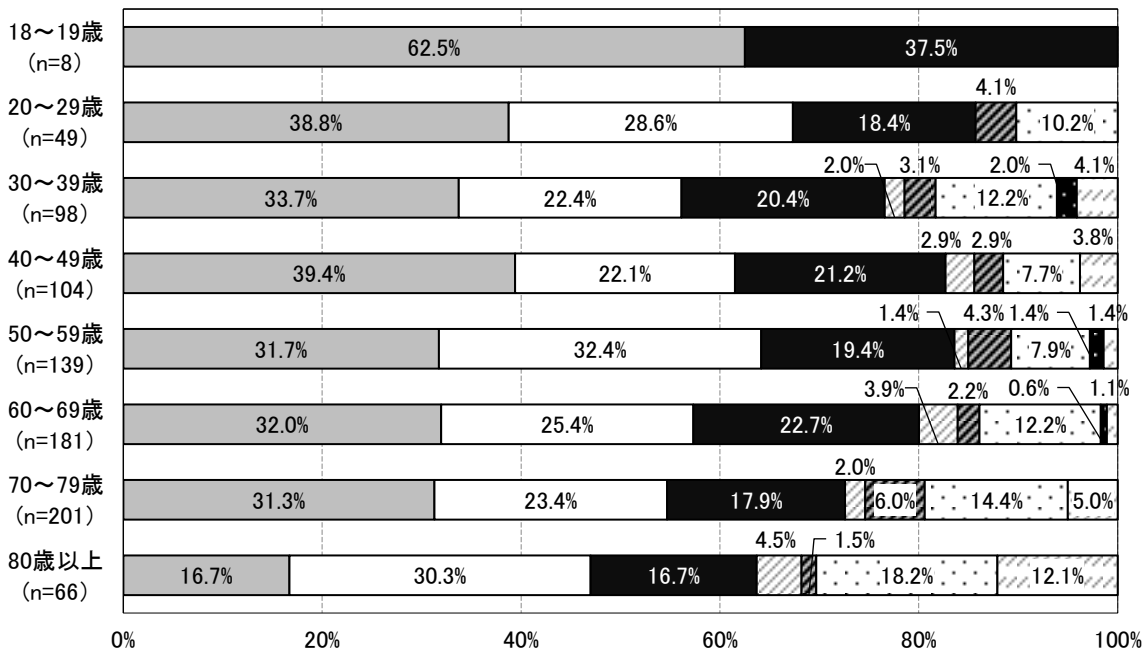


<男女別>

- 江戸時代にできるだけ近いものがよい
- 江戸時代の面影を感じられる程度でよい
- 江戸時代の面影を一部の空間やバーチャル技術等で体験できればよい
- ▨ 江戸時代の面影はバーチャル技術等で体験できるだけでよい
- ▩ 江戸時代のものでなくてよい
- わからない
- その他
- ▨ 不明



<年代別>



その他：「費用をかけない整備が重要」、「今のままで良い」など

問 16 和歌山城天守閣のバリアフリー化について

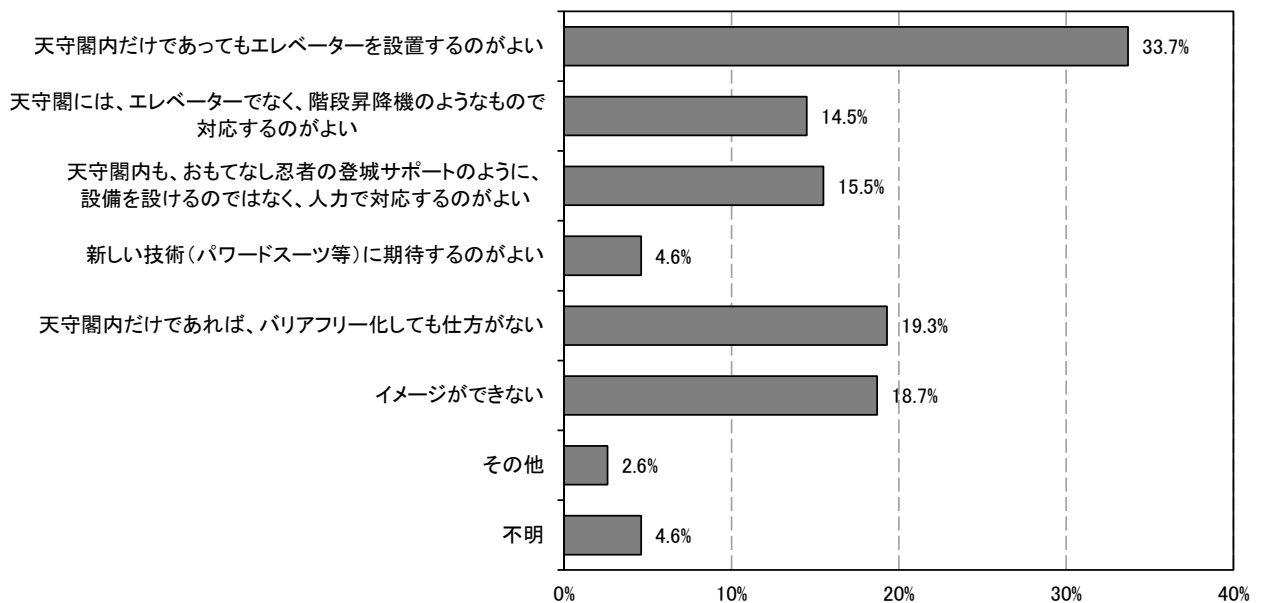
問 16 和歌山城天守閣の建つ虎伏山は、麓から天守閣までの道のりは全て階段になっていますが、文化財保護法の規制があるため、抜本的なバリアフリー整備は難しいと考えられます。あなたは、和歌山城天守閣のバリアフリー化について、どう思いますか？  
(あてはまるものすべてに○)

1. 天守閣内だけでもエレベーターを設置するのがよい
2. 天守閣には、エレベーターでなく、階段昇降機のようなもので対応するのがよい
3. 天守閣内も、おもてなし忍者の登城サポートのように、設備を設けるのではなく、人力で対応するのがよい
4. 新しい技術（パワードスーツ等）に期待するのがよい
5. 天守閣内だけであれば、バリアフリー化しても仕方がない
6. イメージができない
7. その他

※和歌山城では「おもてなし忍者」が登城に困難を伴う方を対象に、特別な車いすを使って山の麓から天守閣までの間をお連れする「登城サポート」を行っています。

和歌山城天守閣のバリアフリー化について、「天守閣内だけでもエレベーターを設置するのがよい」が 33.7%と最も多く、次いで「天守閣内だけであれば、バリアフリー化しても仕方がない」(19.3%)、「イメージができない」(18.7%)となっている。

全体  
(n=849)



その他：「法改正を行いバリアフリーすべき」、「現在のままでよい」など

問 17 和歌山城天守閣のユニバーサルデザイン化について

問 17 あなたは、和歌山城天守閣のユニバーサルデザイン化について、どう思いますか？

(○は1つ)

1. ユニバーサルデザイン化するのがよい
2. どちらかというとユニバーサルデザイン化するのがよい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばユニバーサルデザイン化は控えるのがよい
5. ユニバーサルデザイン化は控えるのがよい

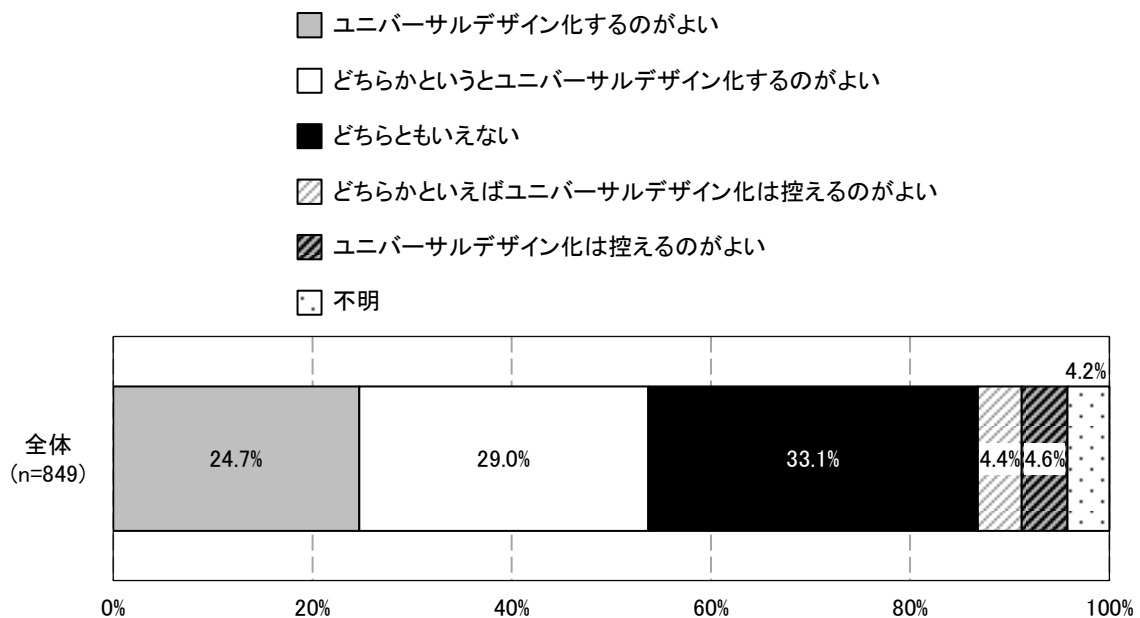
※ユニバーサルデザインとは、障害のある人だけではなく、より多くの人々が容易に利用できるようデザインすることをいいます。(直感的に内容を伝えられる絵文字(ピクトグラム)や、案内サイン、多言語標記等)

和歌山城天守閣のユニバーサルデザイン化について、「どちらともいえない」と回答された方の割合が33.1%と最も多く、「ユニバーサルデザイン化するのがよい」と「どちらかというとユニバーサルデザイン化するのがよい」をあわせた割合は53.7%となっている。

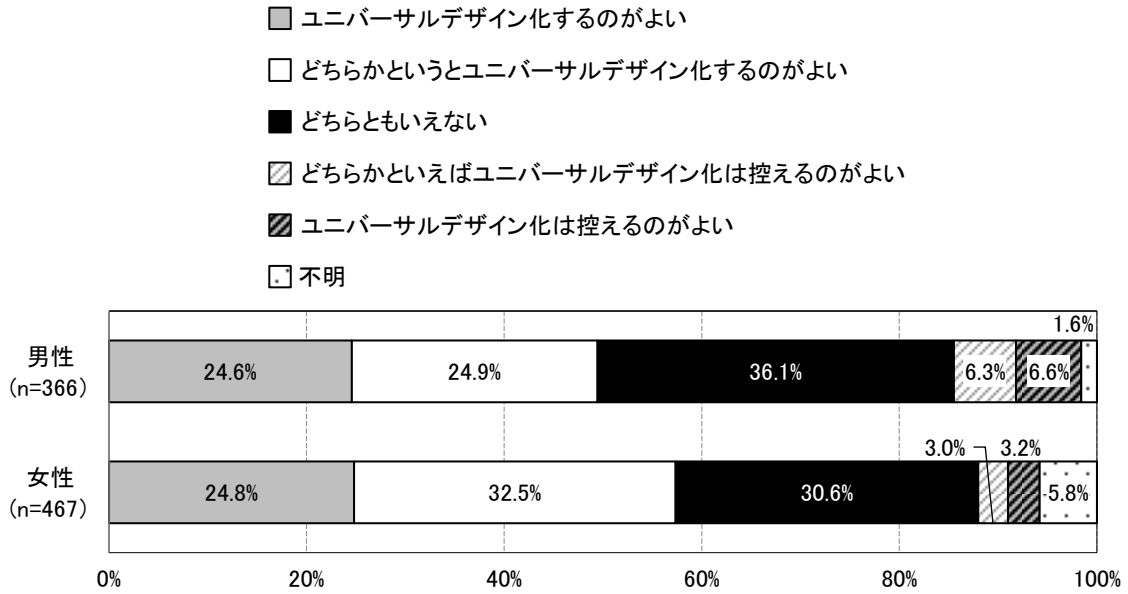
男女別で見ると、「女性」で「ユニバーサルデザイン化するのがよい」と「どちらかというとユニバーサルデザイン化するのがよい」をあわせた割合が57.3%と、「男性」より7.8ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「80歳以上」で「ユニバーサルデザイン化するのがよい」と「どちらかというとユニバーサルデザイン化するのがよい」をあわせた割合が25.8%と最も低くなっている。

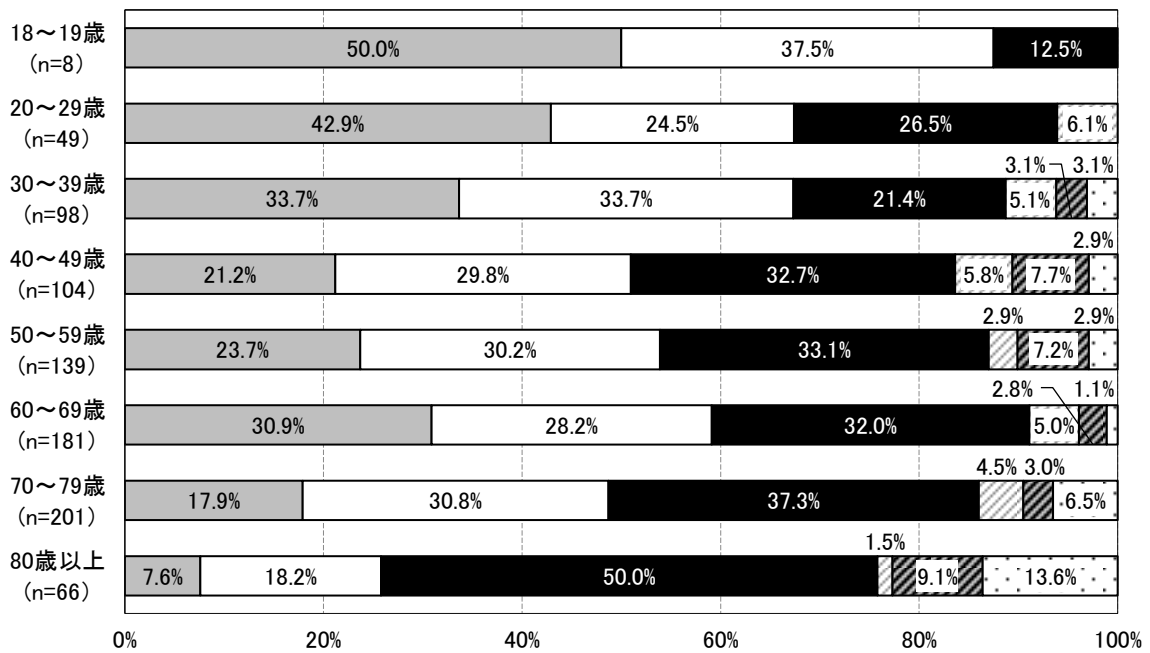
<全体>



<男女別>



<年代別>

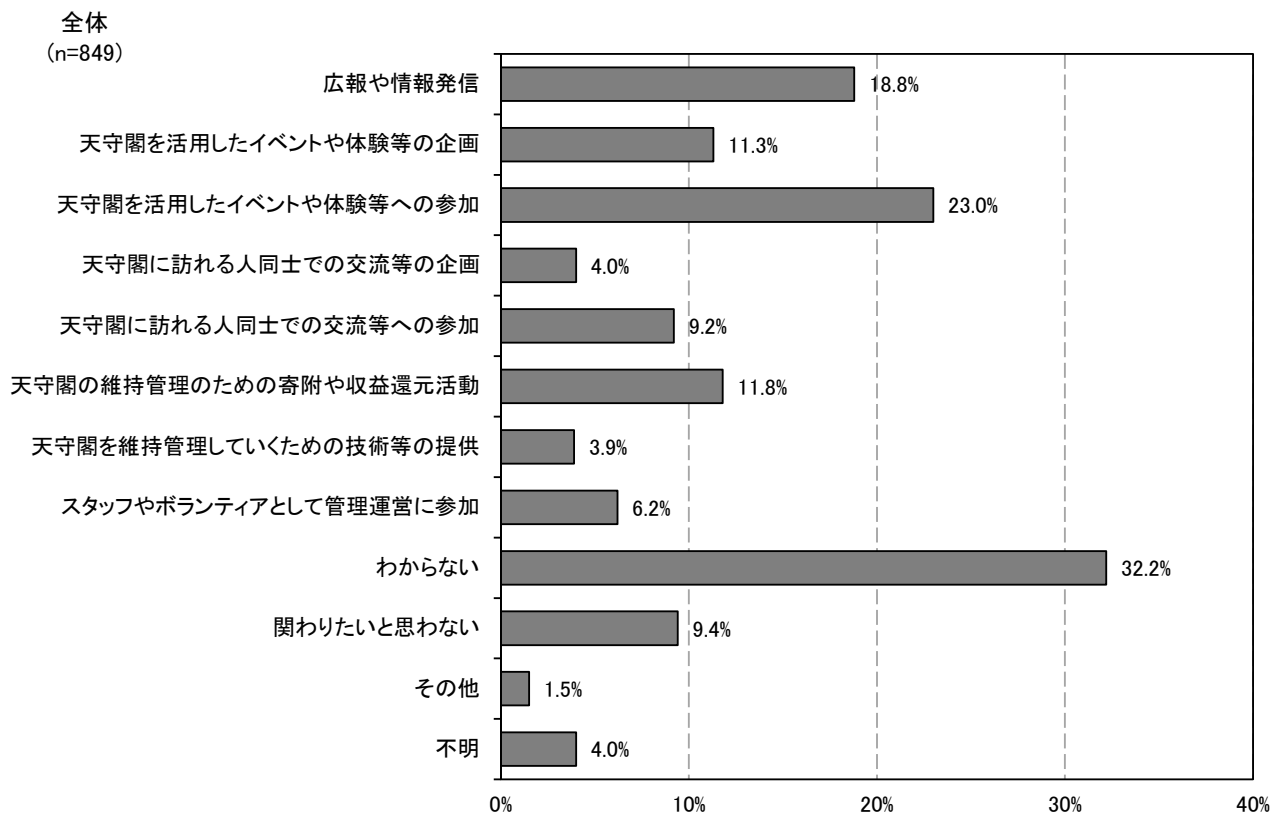


問 18 天守閣の維持管理や運営との関わり方

問 18 将来に渡って和歌山城天守閣がいつまでも和歌山市のシンボルとしてあり続けるために、天守閣の維持管理や運営について、あなたは、一市民としてどのような形で関わりたいと思いますか？（あてはまるものすべてに○）

1. 広報や情報発信
2. 天守閣を活用したイベントや体験等の企画
3. 天守閣を活用したイベントや体験等への参加
4. 天守閣に訪れる人同士での交流等の企画
5. 天守閣に訪れる人同士での交流等への参加
6. 天守閣の維持管理のための寄附や収益還元活動
7. 天守閣を維持管理していくための技術等の提供
8. スタッフやボランティアとして管理運営に参加
9. わからない
10. 関わりたいと思わない
11. その他

天守閣の維持管理や運営との関わり方について、「わからない」が 32.2%と最も多く、次いで「天守閣を活用したイベントや体験等への参加」（23.0%）、「広報や情報発信」（18.8%）となっている。



その他：「関わりたいが年齢・体力的に無理、時間がとれない」、「納税」など

## 5. 消費生活相談窓口について

### 問 19 消費生活相談窓口の認知度

問 19 あなたは、和歌山市に悪質商法・契約トラブルなどの消費生活に関する相談窓口があることをご存じですか？（○は1つ）

1. はい

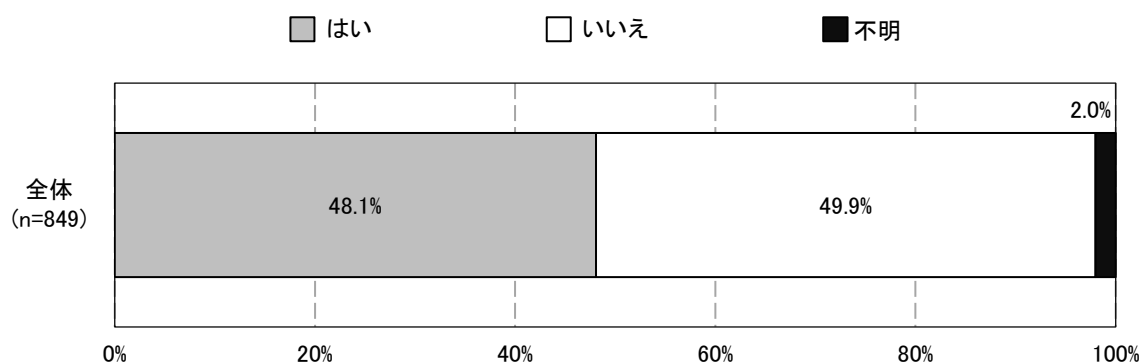
2. いいえ

消費生活相談窓口の認知度について、「はい」と回答された方の割合は48.1%、「いいえ」は49.9%となっている。

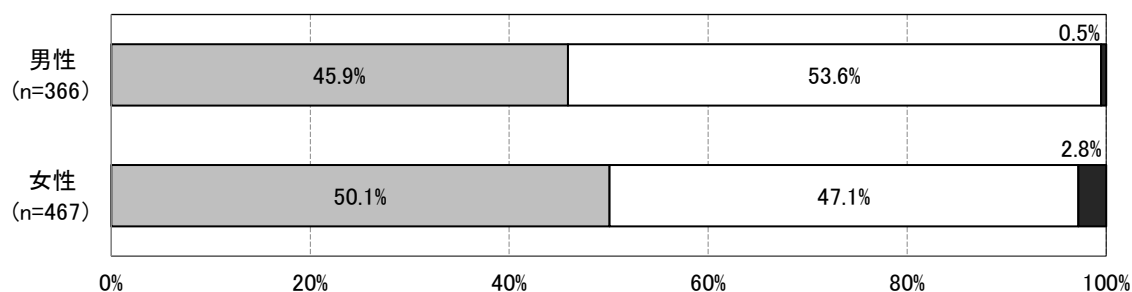
男女別で見ると、「女性」で「はい」と回答された方の割合が50.1%と、「男性」より4.2ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「70～79歳」で「はい」と回答された方の割合が57.7%と最も多く、次いで「60～69歳」（56.9%）、「80歳以上」（48.5%）となっている。

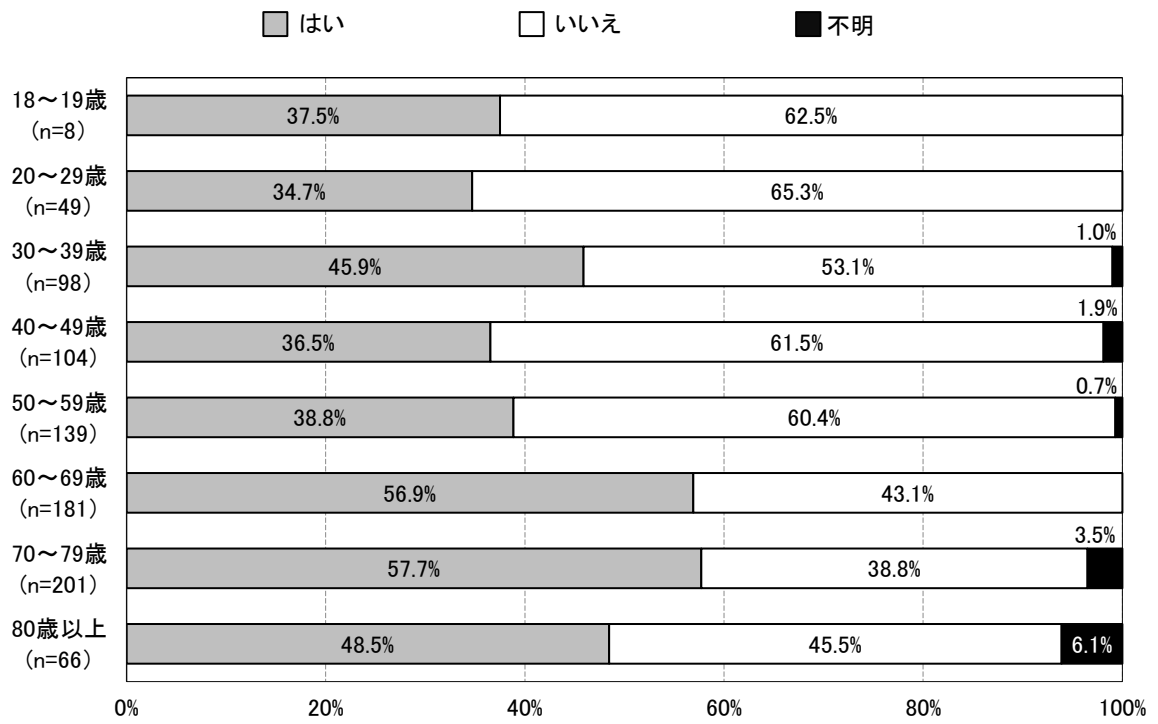
#### <全体>



#### <男女別>



<年代別>



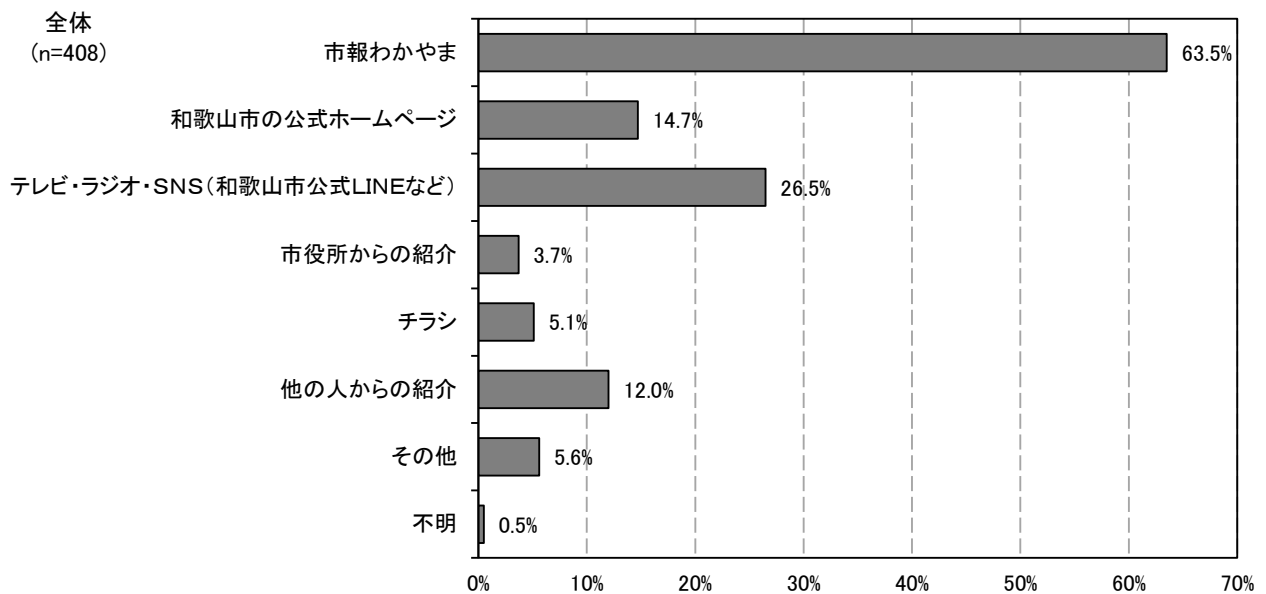
## 問 19-1 消費生活相談窓口を知った手段

問 19-1 問 19 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

あなたは、消費生活相談窓口があることをどのような手段で知りましたか？  
(あてはまるものすべてに○)

1. 市報わかやま
2. 和歌山市の公式ホームページ
3. テレビ・ラジオ・SNS（和歌山市公式LINEなど）
4. 市役所からの紹介
5. チラシ
6. 他の人からの紹介
7. その他

消費生活相談窓口を知った手段について、「市報わかやま」が 63.5%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ・SNS（和歌山市公式LINEなど）」(26.5%)、「和歌山市の公式ホームページ」(14.7%)となっている。



その他：「仕事関係」、「学校」、「自治会からの回覧板」など



## 問 20 消費生活相談窓口の利用経験

問 20 あなたは、消費生活相談窓口を利用したことがありますか？（○は1つ）

1. 利用したことがある

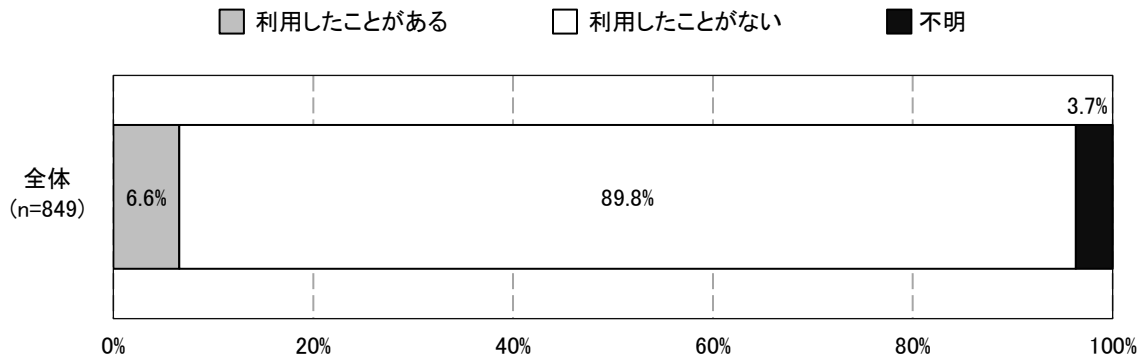
2. 利用したことがない

消費生活相談窓口の利用経験について、「利用したことがある」と回答された方の割合は 6.6%、「利用したことがない」は 89.8%となっている。

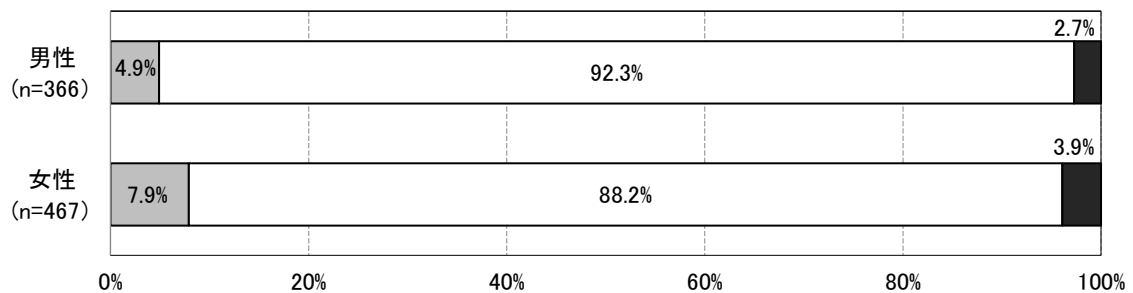
男女別で見ると、「女性」で「利用したことがある」と回答された方の割合が 7.9%と、「男性」より 3.0ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「60～69歳」で「利用したことがある」と回答された方の割合が 8.8%と最も多く、次いで「30～39歳」（8.2%）、「50～59歳」（7.9%）となっている。

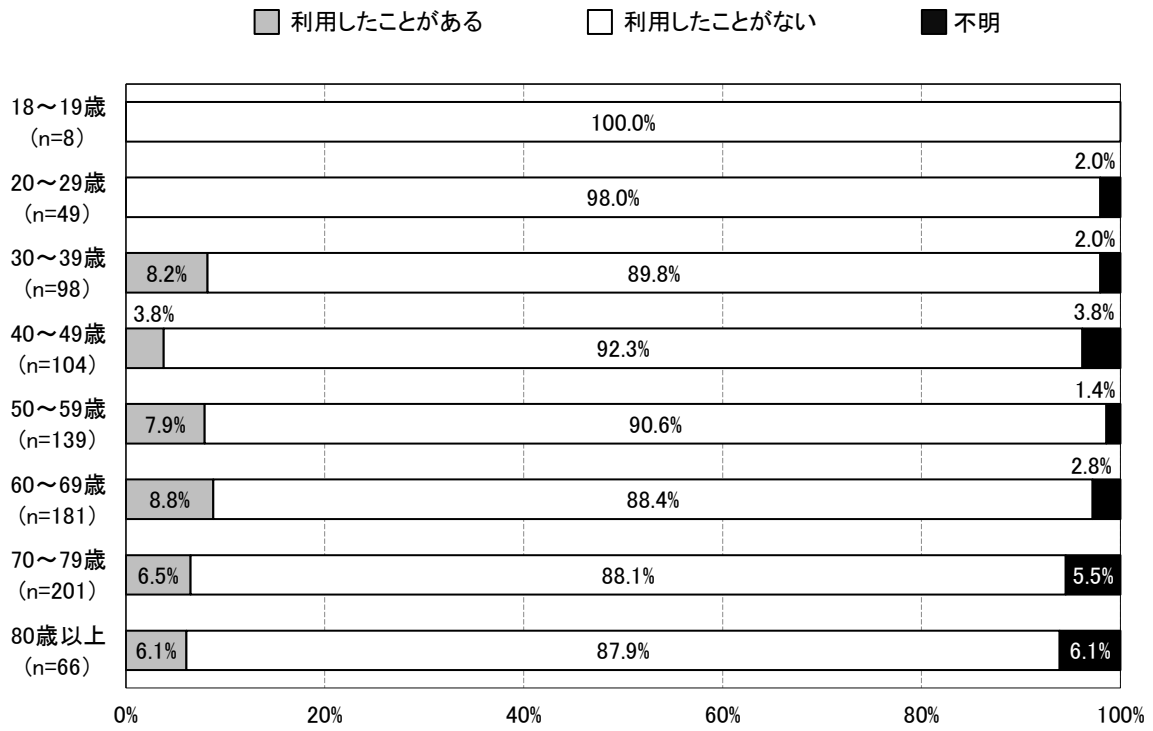
<全体>



<男女別>



<年代別>



## 6. 子育てや教育について

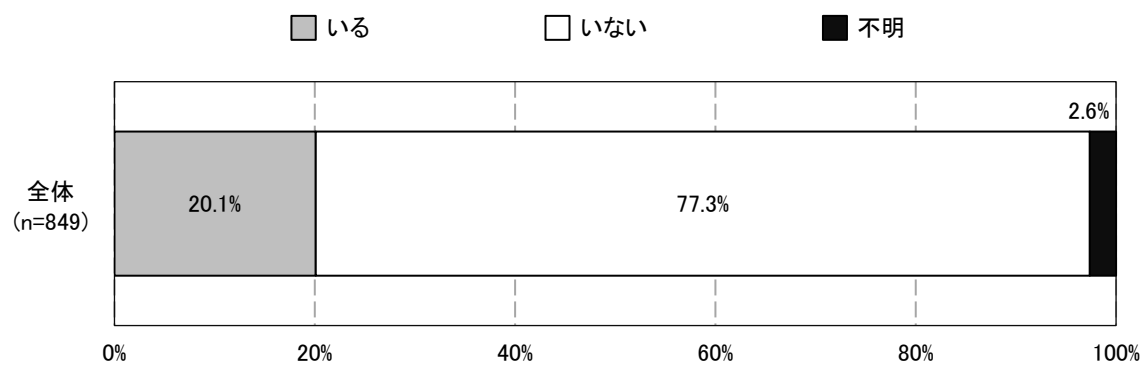
### 問 21 18 歳以下の子どもがいるか

問 21 ご家庭に 18 歳以下のお子様はいらっしゃいますか？（○は 1 つ）

1. いる

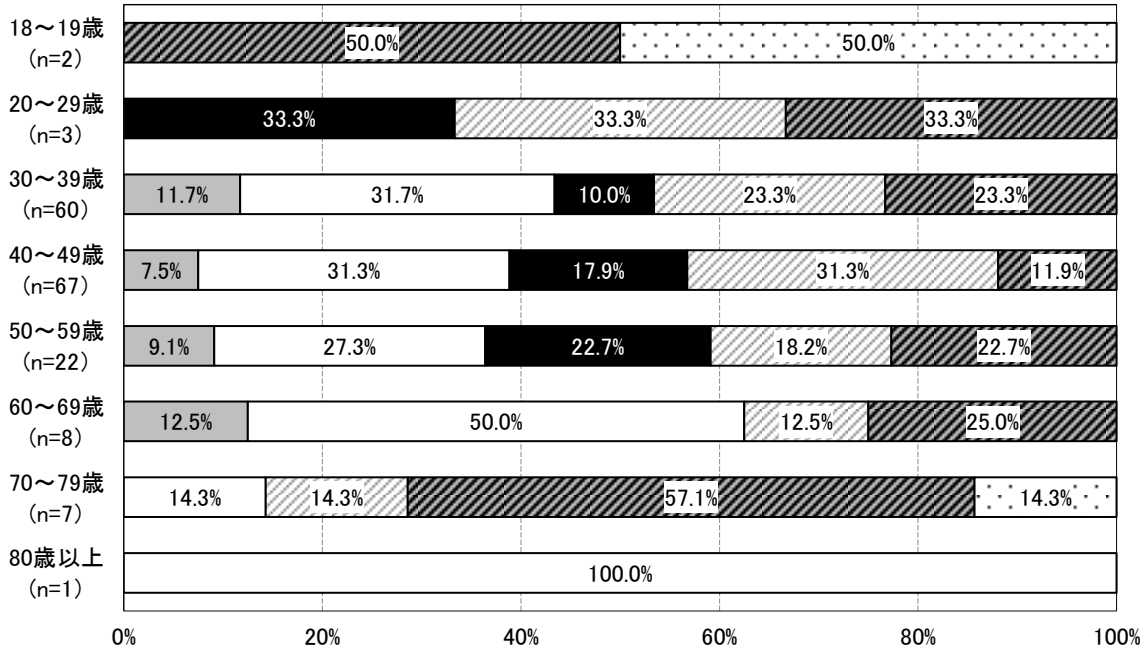
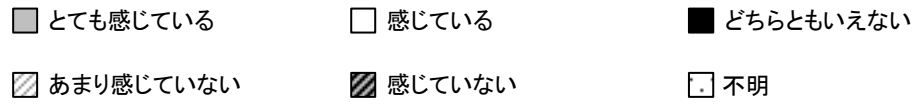
2. いない

18 歳以下の子どもがいるかについて、「いる」と回答された方の割合は 20.1%、「いない」は 77.3% となっている。





<年代別>



問 21-2 子育て・家庭教育における悩みや不安の内容

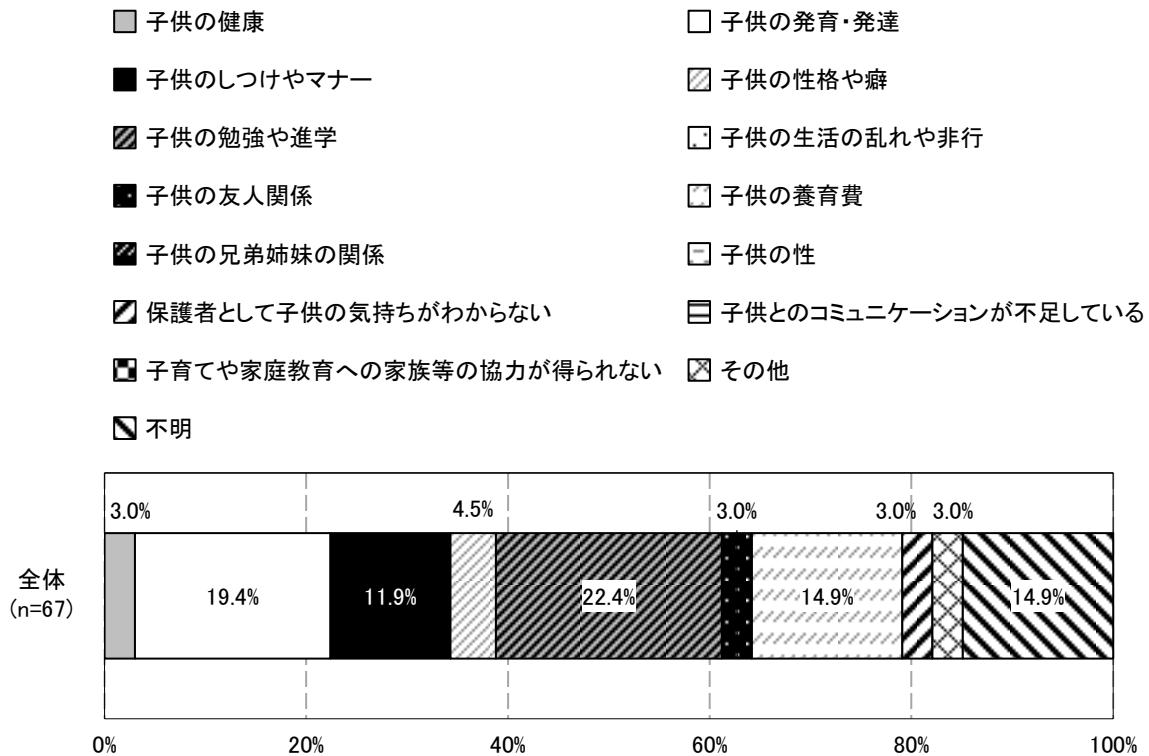
問 21-2 問 21-1で「1. とても感じている」「2. 感じている」と回答された方のみお答えください。あなたは、主にどのようなことに悩みや不安、孤立感を感じていますか？最もあてはまるものを1つお選びください。(〇は1つ)

- |                              |                |
|------------------------------|----------------|
| 1. 子供の健康                     | 2. 子供の発育・発達    |
| 3. 子供のしつけやマナー                | 4. 子供の性格や癖     |
| 5. 子供の勉強や進学                  | 6. 子供の生活の乱れや非行 |
| 7. 子供の友人関係                   | 8. 子供の養育費      |
| 9. 子供の兄弟姉妹の関係                | 10. 子供の性       |
| 11. 保護者として子供の気持ちがわからない       |                |
| 12. 子供とのコミュニケーションが不足している     |                |
| 13. 子育てや家庭での教育への家族等の協力が得られない |                |
| 14. その他                      |                |

子育て・家庭教育における悩みや不安の内容について、「不明」を除くと、「子供の勉強や進学」と回答された方の割合が22.4%と最も多く、次いで「子供の発育・発達」(19.4%)、「子供の養育費」(14.9%)となっている。

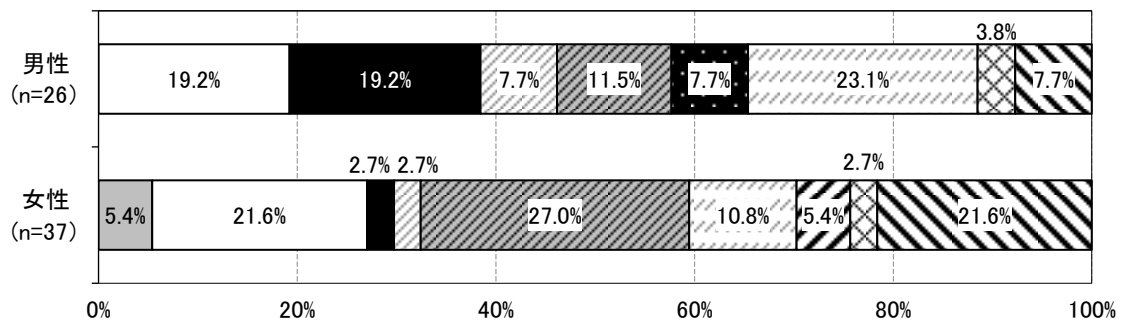
男女別でみると、「男性」では「子供の養育費」(23.1%)、「女性」では「子供の勉強や進学」(27.0%)と回答された方の割合が最も多くなっている。

<全体>



<男女別>

- 子供の健康
- 子供のしつけやマナー
- ▨ 子供の勉強や進学
- 子供の友人関係
- ▨ 子供の兄弟姉妹の関係
- ▨ 保護者として子供の気持ちがわからない
- ▨ 子育てや家庭教育への家族等の協力が得られない
- ▨ 不明
- 子供の発育・発達
- ▨ 子供の性格や癖
- 子供の生活の乱れや非行
- ▨ 子供の養育費
- 子供の性
- ▨ 子供とのコミュニケーションが不足している
- ▨ その他



その他：「子供に障害があるので将来が不安」など

問 22 子育てする親・家庭のサポートに必要なこと

問 22 あなたは、子育て中の親や家庭をサポートするために、どのようなことが必要だと考えますか？最もあてはまるものを1つお選びください。（○は1つ）

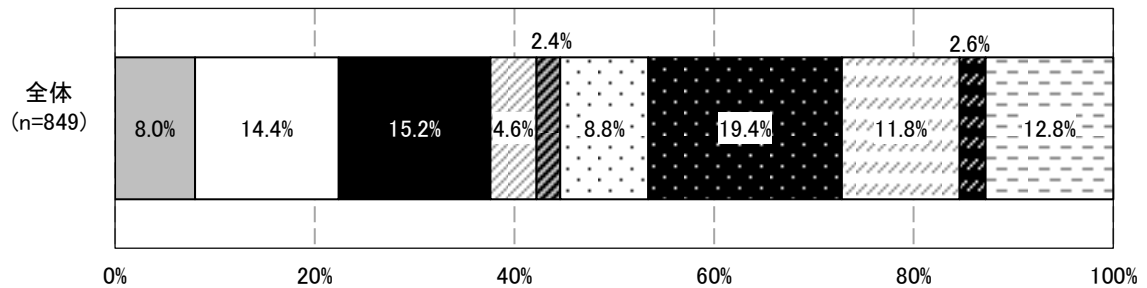
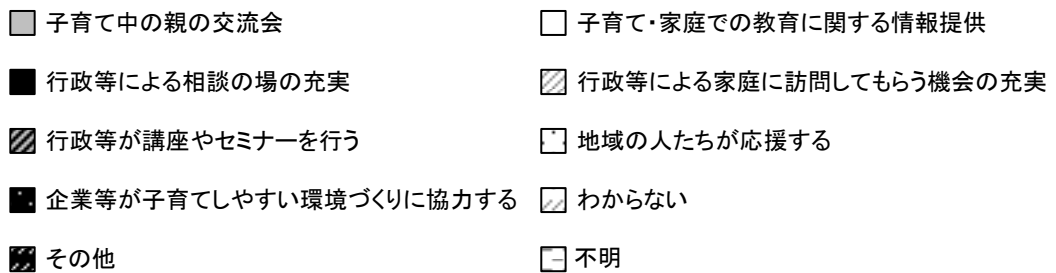
- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 子育て中の親の交流会            | 2. 子育て・家庭での教育に関する情報提供 |
| 3. 行政等による相談の場の充実         | 4. 行政等による家庭に訪問する機会の充実 |
| 5. 行政等が講座やセミナーを行う        | 6. 地域の人たちが応援する        |
| 7. 企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する | 8. わからない              |
| 9. その他                   |                       |

子育てする親・家庭のサポートに必要なことについて、「企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する」と回答された方の割合が 19.4%と最も多く、次いで「行政等による相談の場の充実」（15.2%）、「子育て・家庭での教育に関する情報提供」（14.4%）となっている。

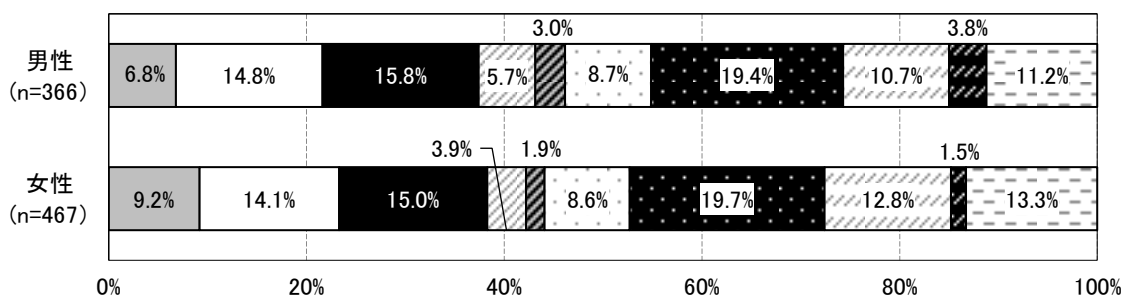
男女別でみると、「女性」で「子育て中の親の交流会」と回答された方の割合が 9.2%と、「男性」より 2.4 ポイント高くなっている。

年代別でみると、「20～29 歳」で「企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する」と回答された方の割合が 36.7%と最も多く、3 割を超えている。

<全体>



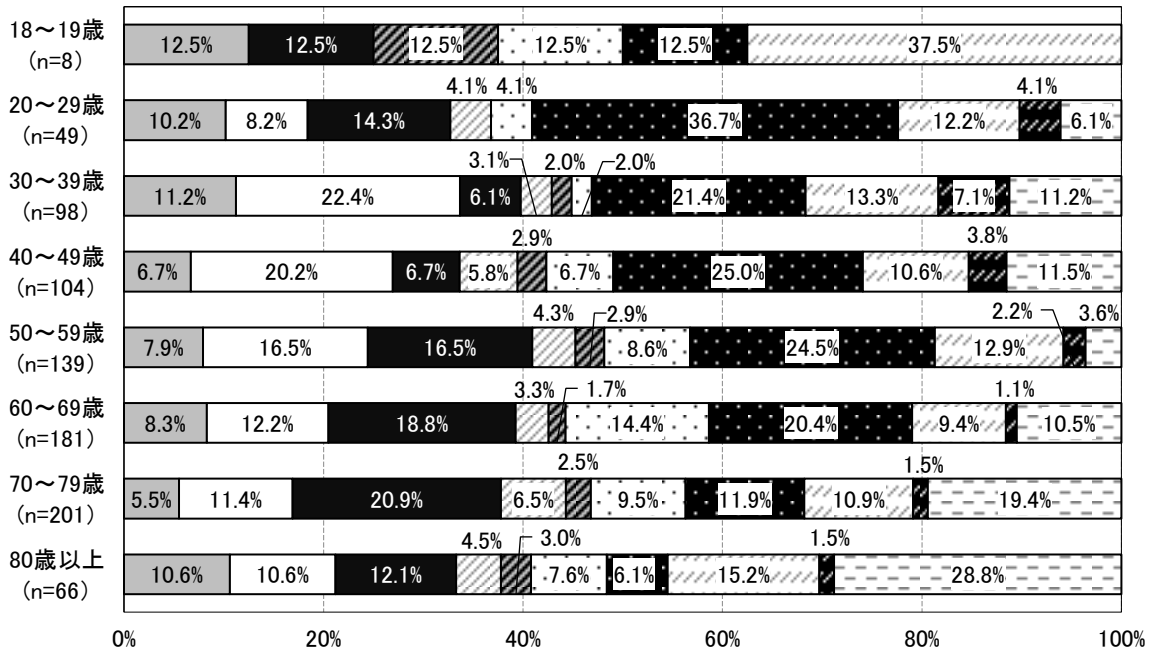
<男女別>





<年代別>

- 子育て中の親の交流会
- 行政等による相談の場の充実
- ▨ 行政等が講座やセミナーを行う
- 企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する
- その他
- 子育て・家庭での教育に関する情報提供
- ▨ 行政等による家庭に訪問してもらう機会の充実
- 地域の人たちが応援する
- わからない
- 不明



その他：「経済的支援」、「もっと政治が市民全体に届く様にする」など

## 7. 在宅医療について

### 問 23 在宅医療の認知度

問 23 あなたは、在宅医療についてご存じですか？（○は1つ）

1. はい

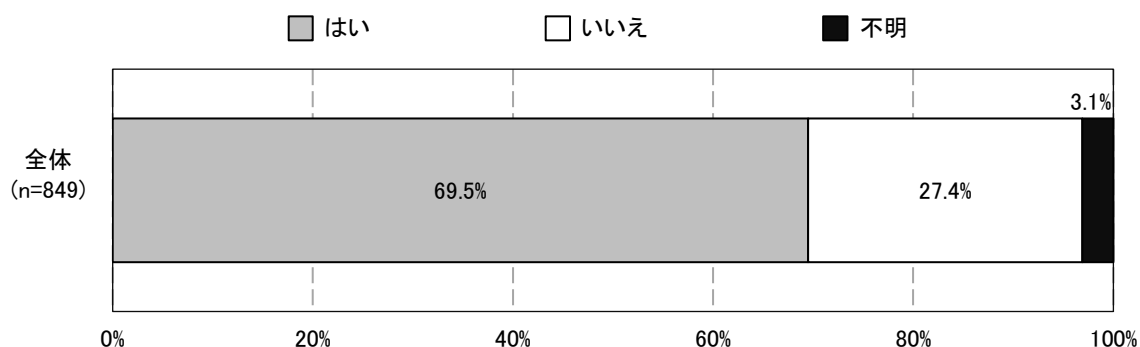
2. いいえ

在宅医療の認知度について、「はい」と回答された方の割合は69.5%、「いいえ」は27.4%となっている。

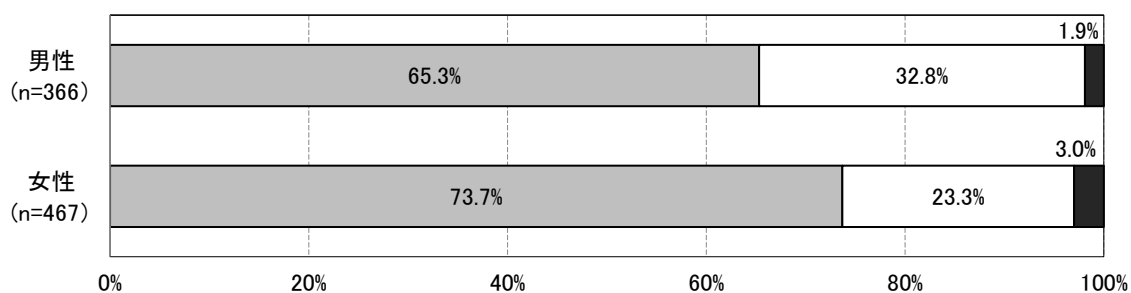
男女別で見ると、「女性」で「はい」と回答された方の割合が73.7%と、「男性」より8.4ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「50～59歳」で「はい」と回答された方の割合が74.8%と最も多く、次いで「60～69歳」（74.0%）、「20～29歳」（69.4%）となっている。（回答数が少ない「18～19歳」を除く）

<全体>

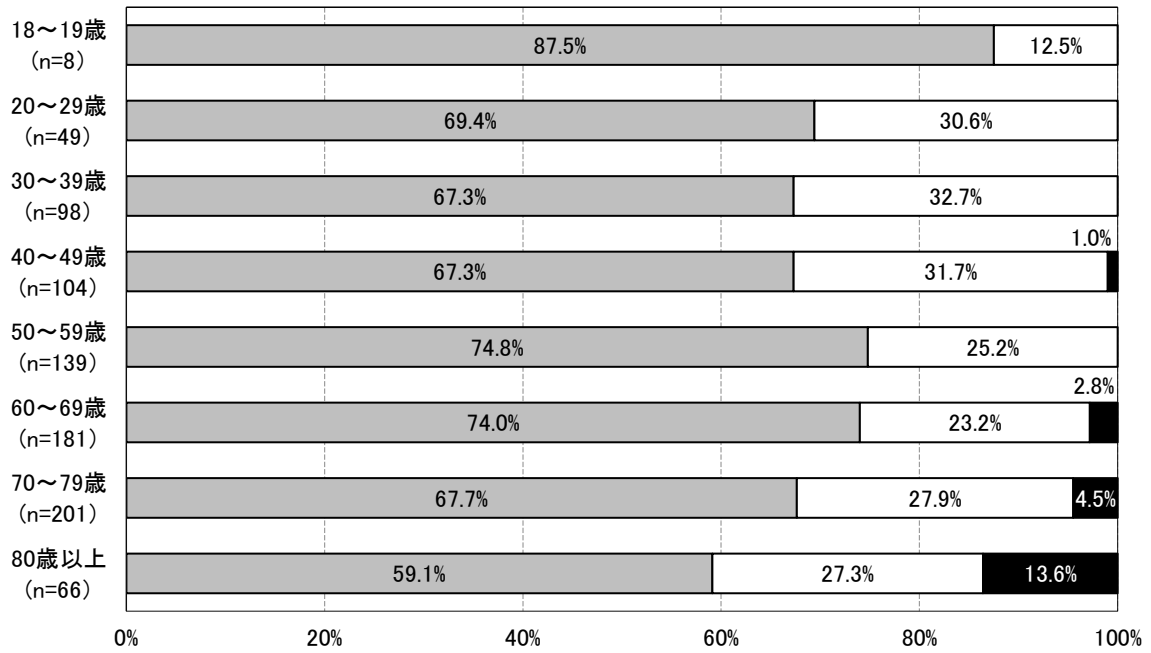


<男女別>



<年代別>

■ はい      □ いいえ      ■ 不明



問 24 介護が必要になった時に介護を受けたい場所

問 24 あなたは、介護が必要になったときに、主にどこで介護を受けたいですか？最もあてはまるものを1つお選びください。(〇は1つ)

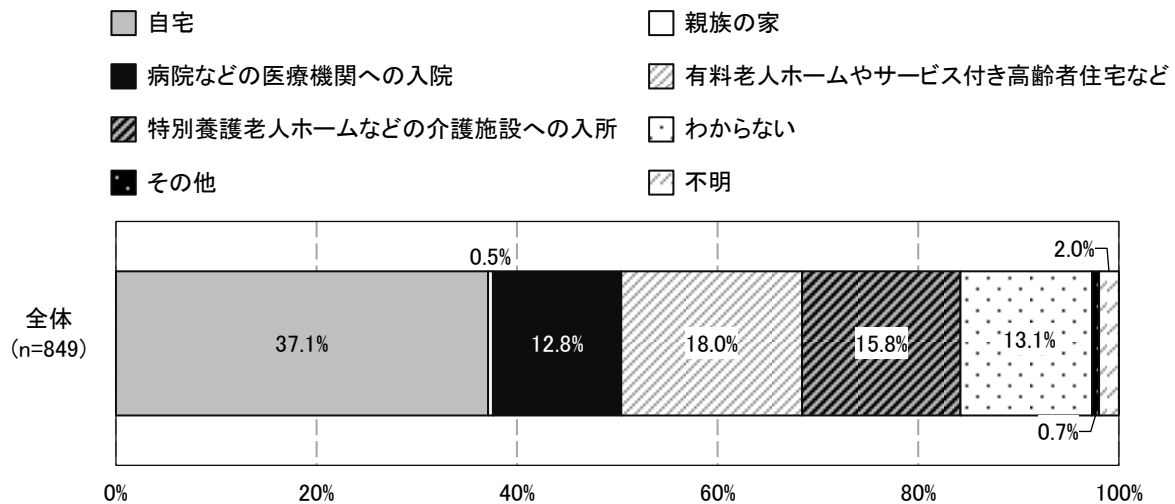
1. 自宅
2. 親族の家
3. 病院などの医療機関への入院
4. 有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅など
5. 特別養護老人ホームなどの介護施設への入所
6. わからない
7. その他

介護が必要になった時に介護を受けたい場所について、「自宅」と回答された方の割合が 37.1%と最も多く、次いで「有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅など」(18.0%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設への入所」(15.8%)となっている。

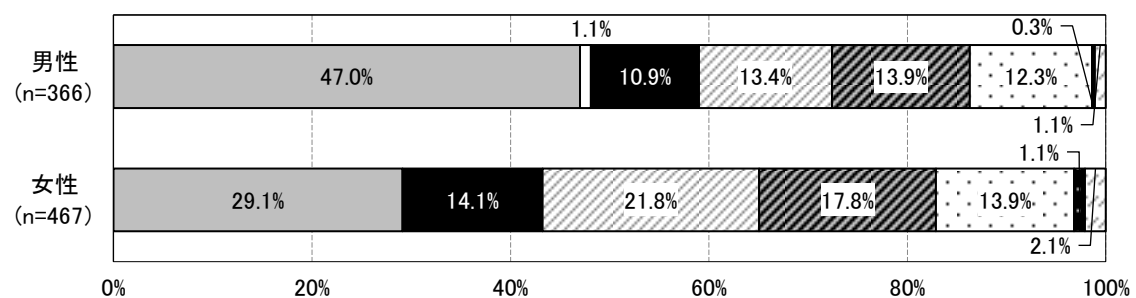
男女別で見ると、「男性」で「自宅」と回答された方の割合が 47.0%と、「女性」より 17.9 ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「70～79 歳」で「自宅」と回答された方の割合が 43.3%と最も多く、次いで「20～29 歳」(38.8%)、「40～49 歳」(37.5%)となっている。

<全体>

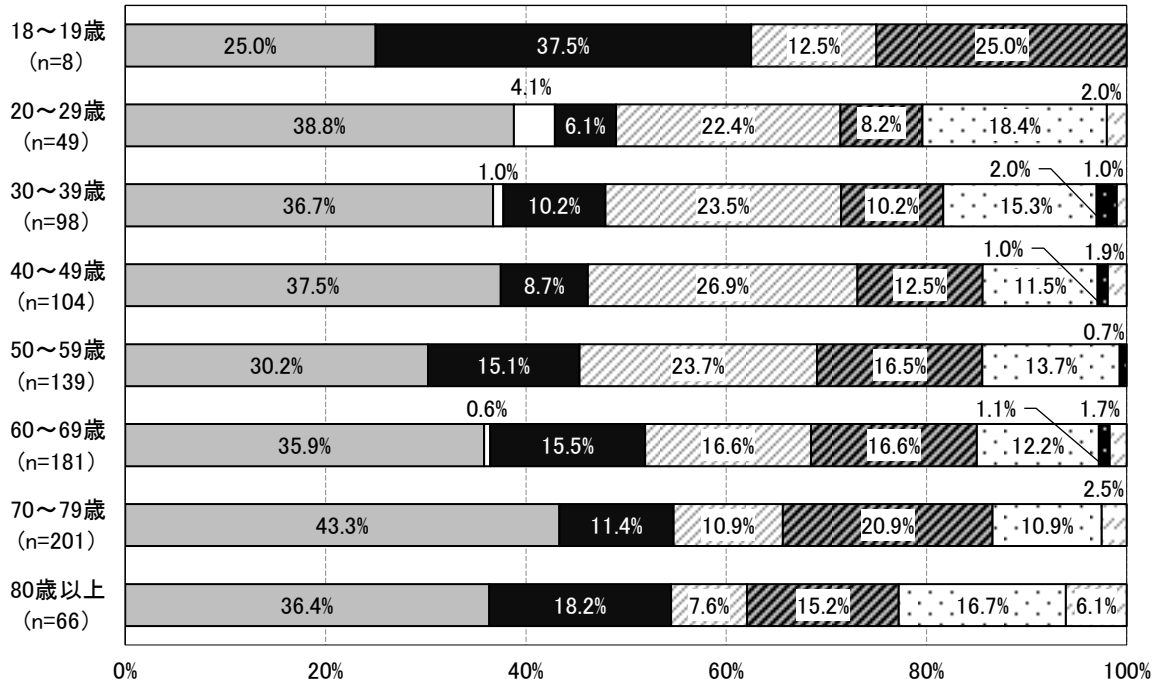


<男女別>



<年代別>

- 自宅
- 病院などの医療機関への入院
- ▨ 特別養護老人ホームなどの介護施設への入所
- その他
- 親族の家
- ▨ 有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅など
- わからない
- 不明



その他：「なるべく人の迷惑にならない方法」、「介護の内容による」など

## 問 25 希望する人生の最期を迎える場所

問 25 あなたは、人生の最期を迎える場所として、どこを希望されますか？（○は1つ）

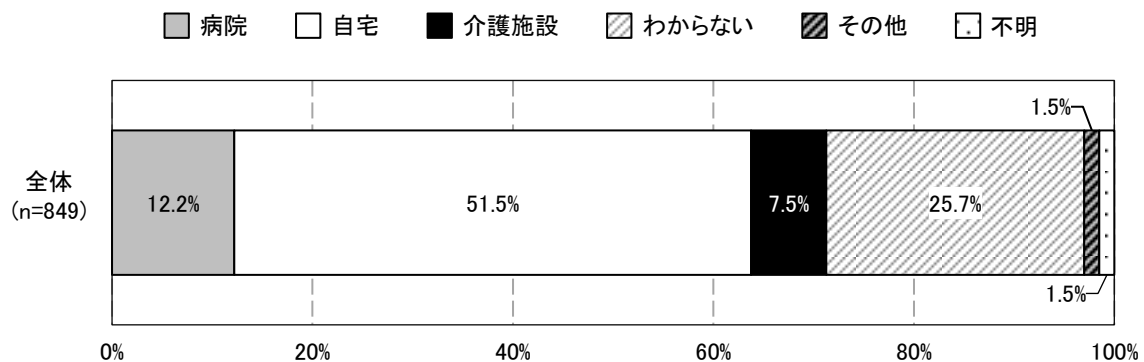
- |         |          |
|---------|----------|
| 1. 病院   | 2. 自宅    |
| 3. 介護施設 | 4. わからない |
| 5. その他  |          |

希望する人生の最期を迎える場所について、「自宅」と回答された方の割合が 51.5%と最も多く、次いで「わからない」(25.7%)、「病院」(12.2%)となっている。

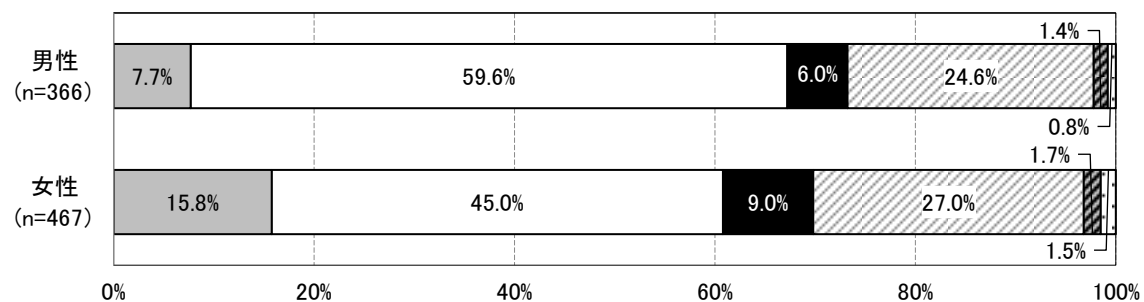
男女別で見ると、「男性」で「自宅」と回答された方の割合が 59.6%と、「女性」より 14.6 ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「30～39 歳」で「自宅」と回答された方の割合が 56.1%と最も多く、次いで「70～79 歳」(53.7%)、「60～69 歳」(52.5%)となっている。

### <全体>

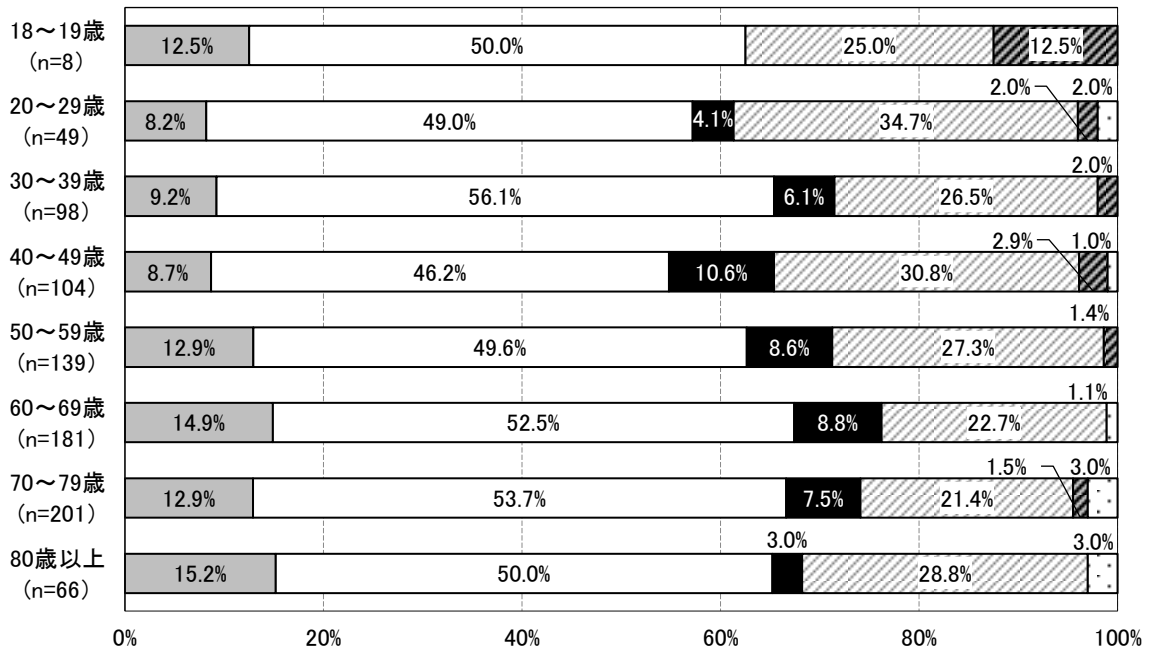


### <男女別>



<年代別>

■ 病院   □ 自宅   ■ 介護施設   ▨ わからない   ▩ その他   □ 不明



その他：「その時の状況による」、「どこでも良い」など

## 問 26 「ACP」の認知度

問 26 あなたは、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組「ACP（アドバンス・ケア・プランニング、愛称：人生会議）」についてご存じですか？（〇は1つ）

1. はい

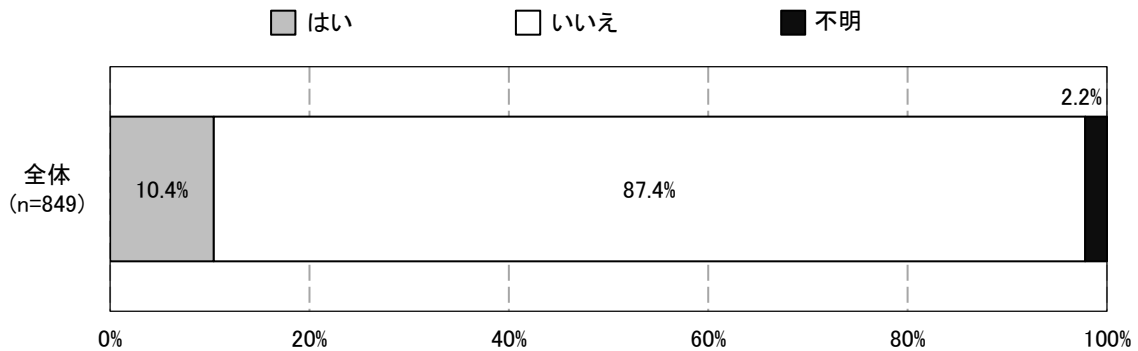
2. いいえ

「ACP」の認知度について、「はい」と回答された方の割合は10.4%、「いいえ」は87.4%となっている。

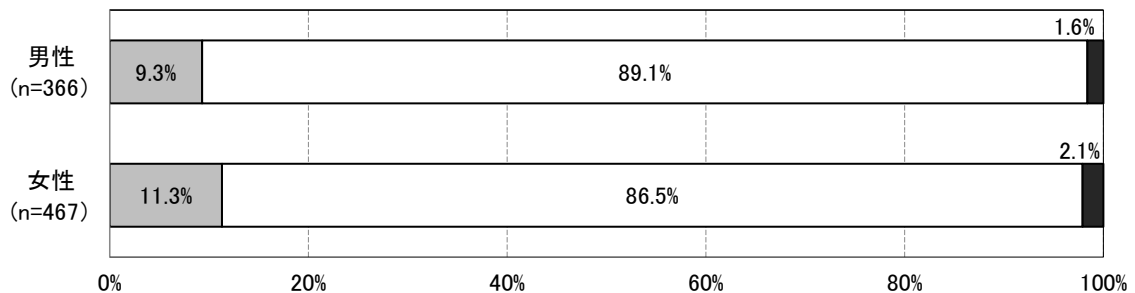
男女別で見ると、「女性」で「はい」と回答された方の割合が11.3%と、「男性」より2.0ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「30～39歳」で「はい」と回答された方の割合が18.4%と最も多く、次いで「50～59歳」（10.8%）、「60～69歳」（10.5%）となっている。（回答数が少ない「18～19歳」を除く）

### <全体>

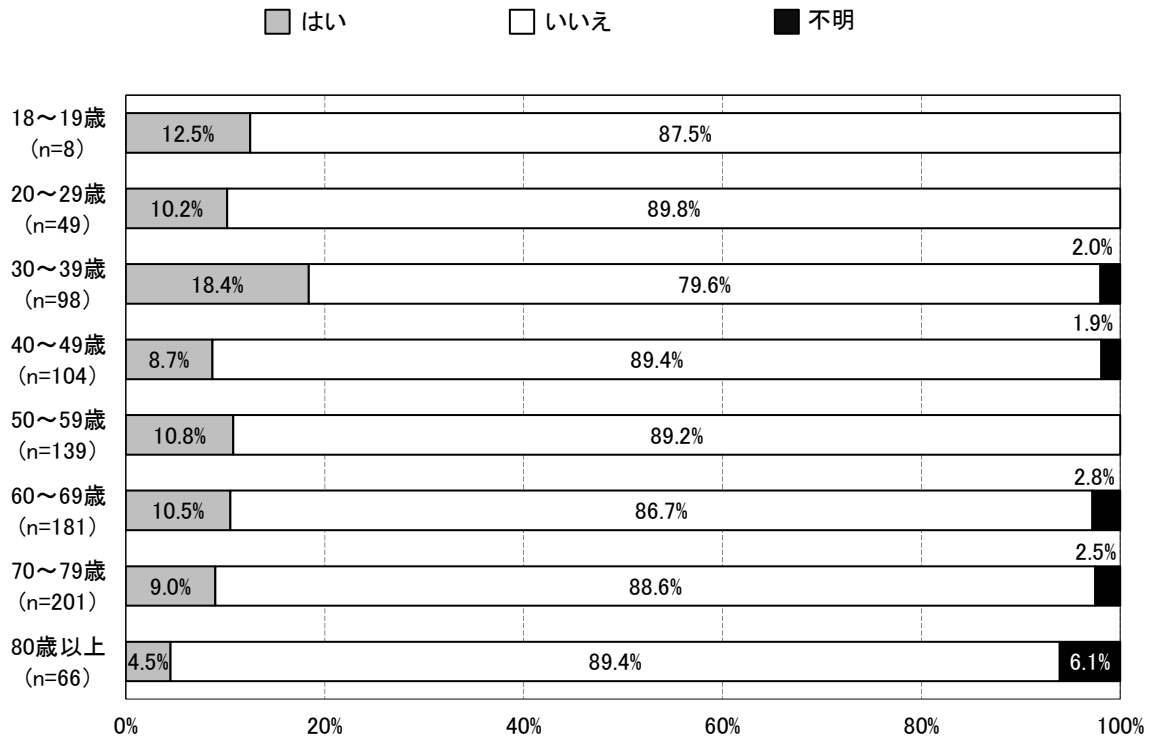


### <男女別>





<年代別>



## 8. 自殺対策について

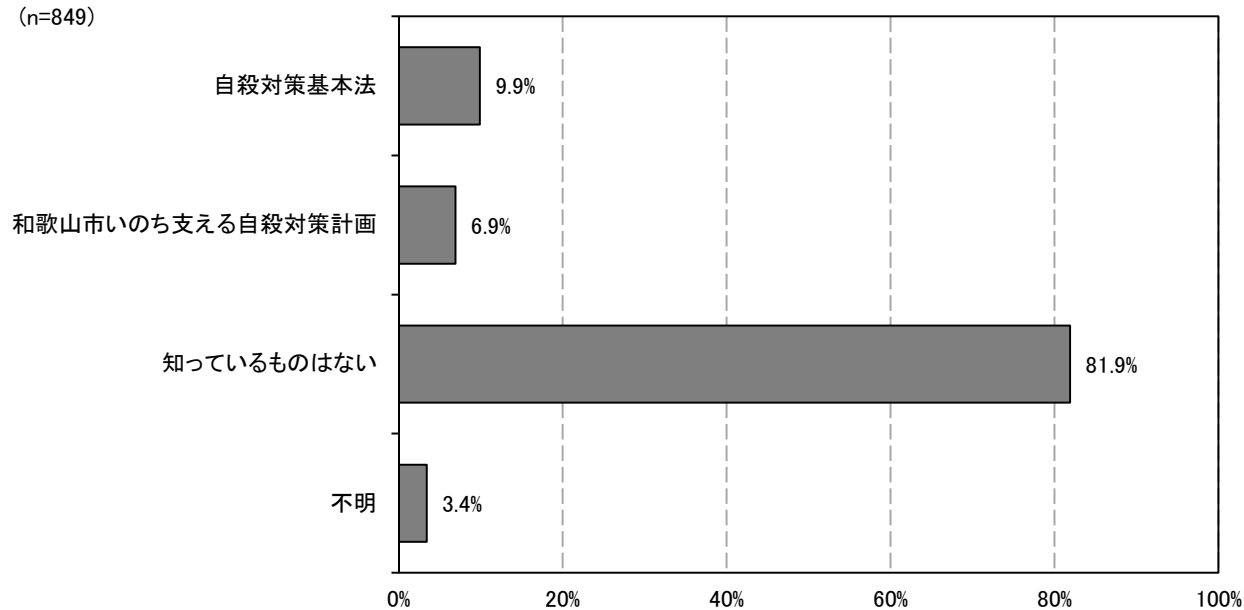
### 問 27 自殺対策の認知度

問 27 あなたは、自殺対策について、知っているものはありますか？（あてはまるものすべてに○）

1. 自殺対策基本法
2. 和歌山市いのち支える自殺対策計画
3. 知っているものはない

自殺対策の認知度について、「知っているものはない」が 81.9%と最も多く、次いで「自殺対策基本法」(9.9%)、「和歌山市いのち支える自殺対策計画」(6.9%)となっている。8割以上の方が自殺対策について知らない結果となっている。

全体  
(n=849)

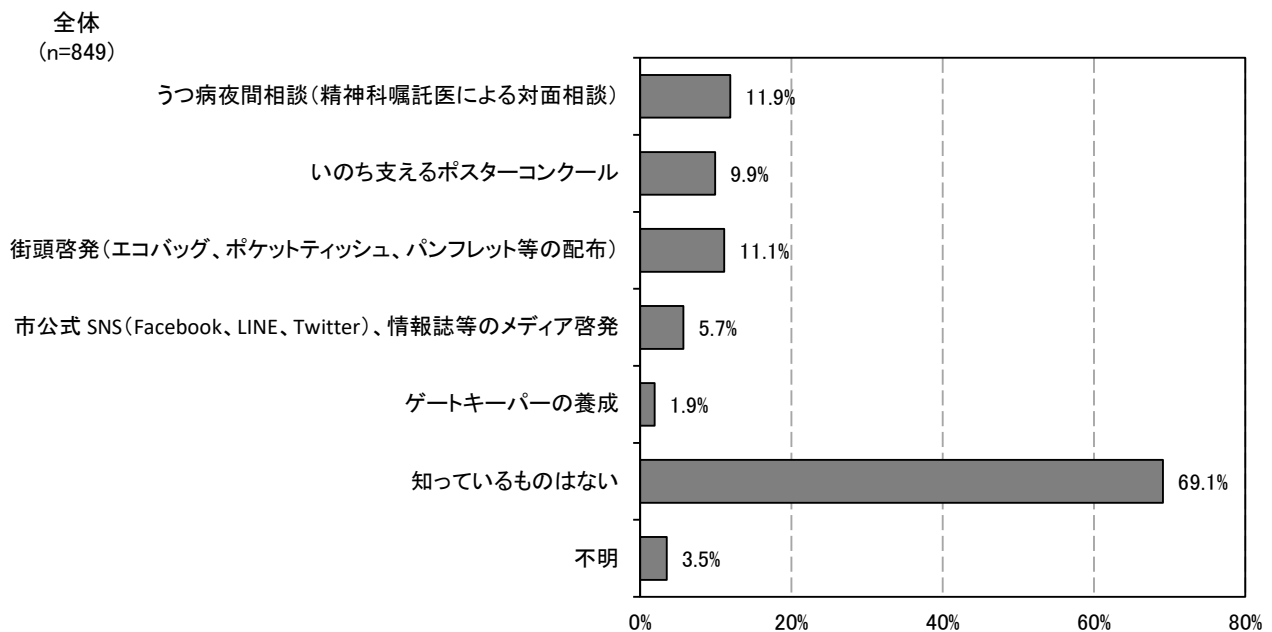


## 問 28 和歌山市における自殺対策に関する事業の認知度

問 28 あなたは、和歌山市における自殺対策に関する事業について、知っているものはありますか？  
(あてはまるものすべてに○)

1. うつ病夜間相談（精神科嘱託医による対面相談）
2. いのち支えるポスターコンクール
3. 街頭啓発（エコバッグ、ポケットティッシュ、パンフレット等の配布）
4. 市公式 SNS（Facebook、LINE、Twitter）、情報誌等のメディア啓発
5. ゲートキーパーの養成
6. 知っているものはない

和歌山市における自殺対策に関する事業の認知度について、「知っているものはない」が 69.1%と最も多く、次いで「うつ病夜間相談（精神科嘱託医による対面相談）」（11.9%）、「街頭啓発（エコバッグ、ポケットティッシュ、パンフレット等の配布）」（11.1%）となっている。約7割の方が和歌山市の自殺対策に関する事業について知らない結果となっている。



問 29 自殺したいまたはそれに近いことを相談された経験

問 29 あなたは、過去 1 年以内に自殺したいまたはそれに近いことを相談されたことがありますか？（○は 1 つ）

1. 相談されたことがある

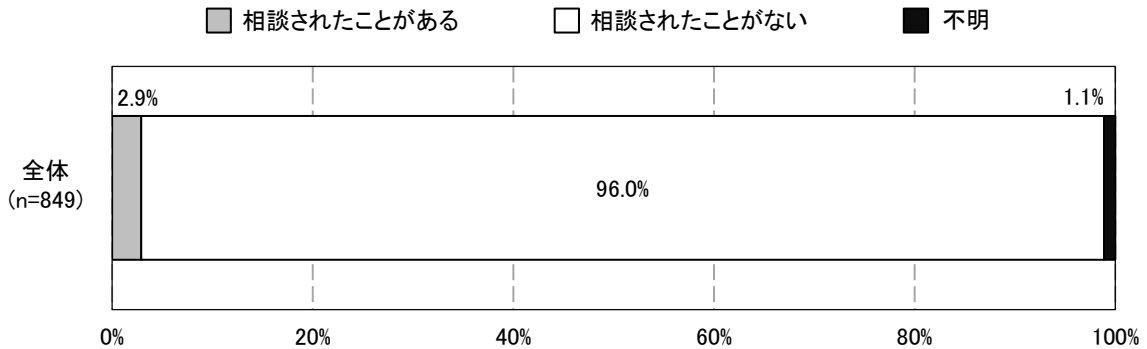
2. 相談されたことがない

自殺したいまたはそれに近いことを相談された経験について、「相談されたことがある」と回答された方の割合は 2.9%、「相談されたことがない」は 96.0%となっている。

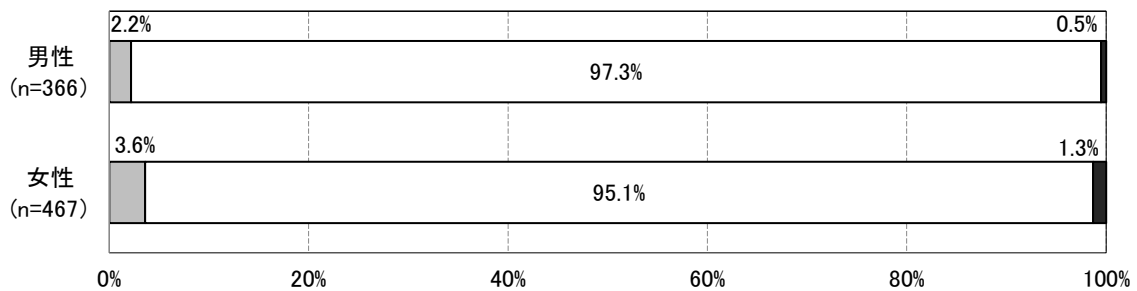
男女別でみると、「相談されたことがある」と回答された方の割合は「男性」では 2.2%、「女性」では 3.6%となっている。

年代別でみると、「30～39 歳」で「相談されたことがある」と回答された方の割合が 6.1%と最も多く、次いで「50～59 歳」（5.8%）、「20～29 歳」（4.1%）となっている。

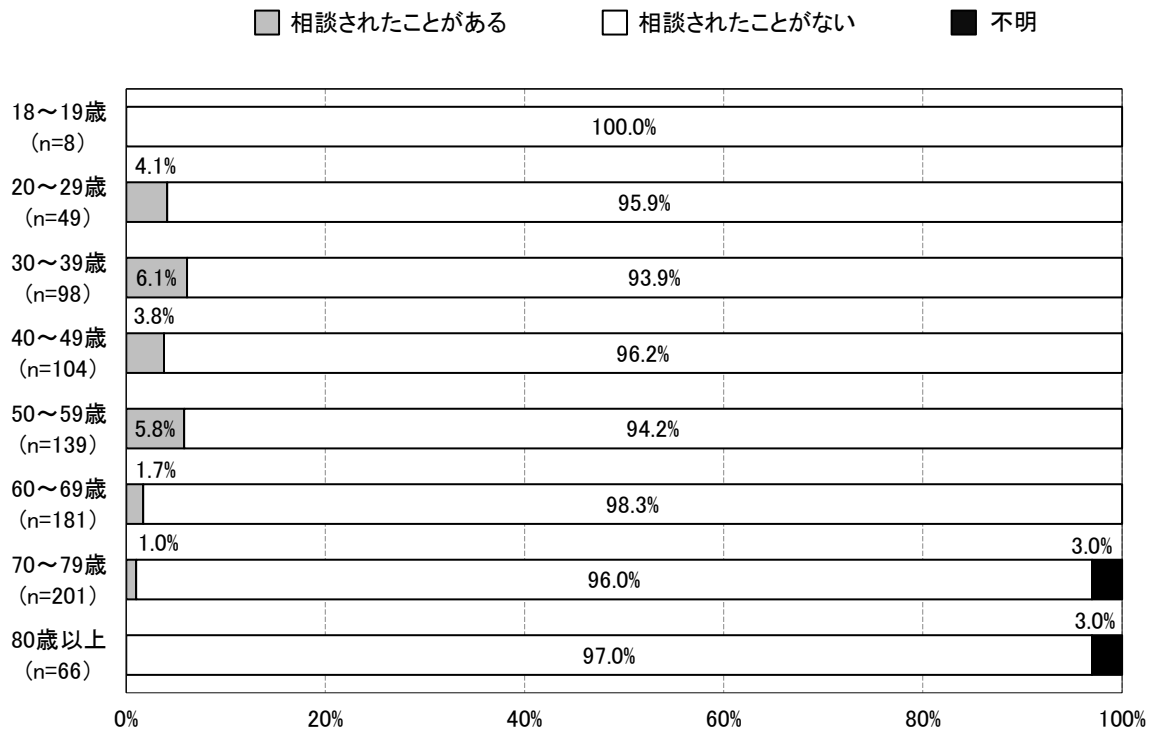
<全体>



<男女別>



<年代別>



### 問 30 自殺したいまたはそれに近いことを考えた経験

問 30 あなたは、過去 1 年以内に自殺したいまたはそれに近いことを考えたことがありますか？  
(○は 1 つ)

1. 考えたことがある

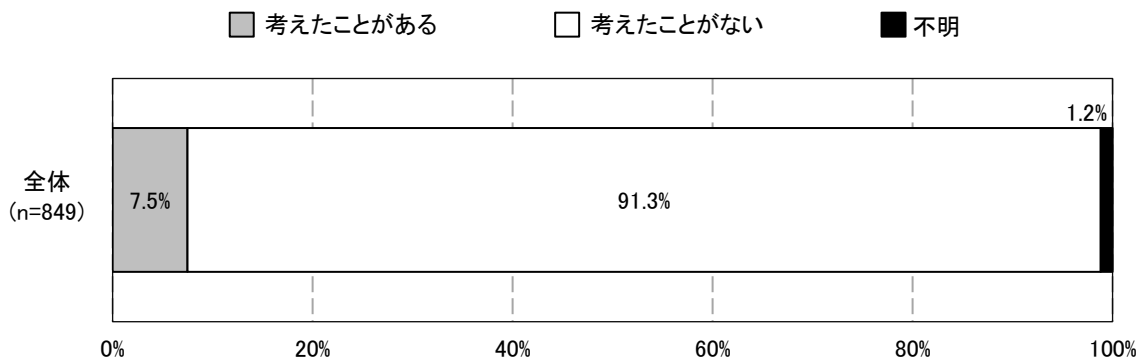
2. 考えたことがない

自殺またはそれに近いことを考えた経験について、「考えたことがある」と回答された方の割合は 7.5%、「考えたことがない」は 91.3%となっている。

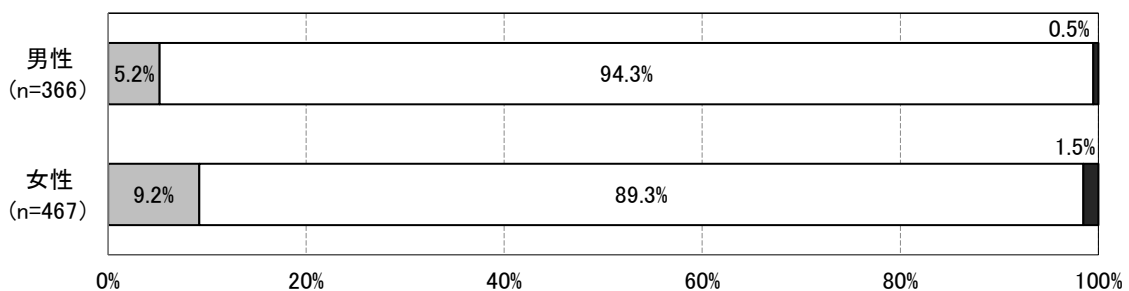
男女別でみると、「考えたことがある」と回答された方の割合は「男性」では 5.2%、「女性」では 9.2%となっている。

年代別でみると、「20～29 歳」で「考えたことがある」と回答された方の割合が 14.3%と最も多く、次いで「40～49 歳」(12.5%)、「30～39 歳」(10.2%)となっている。

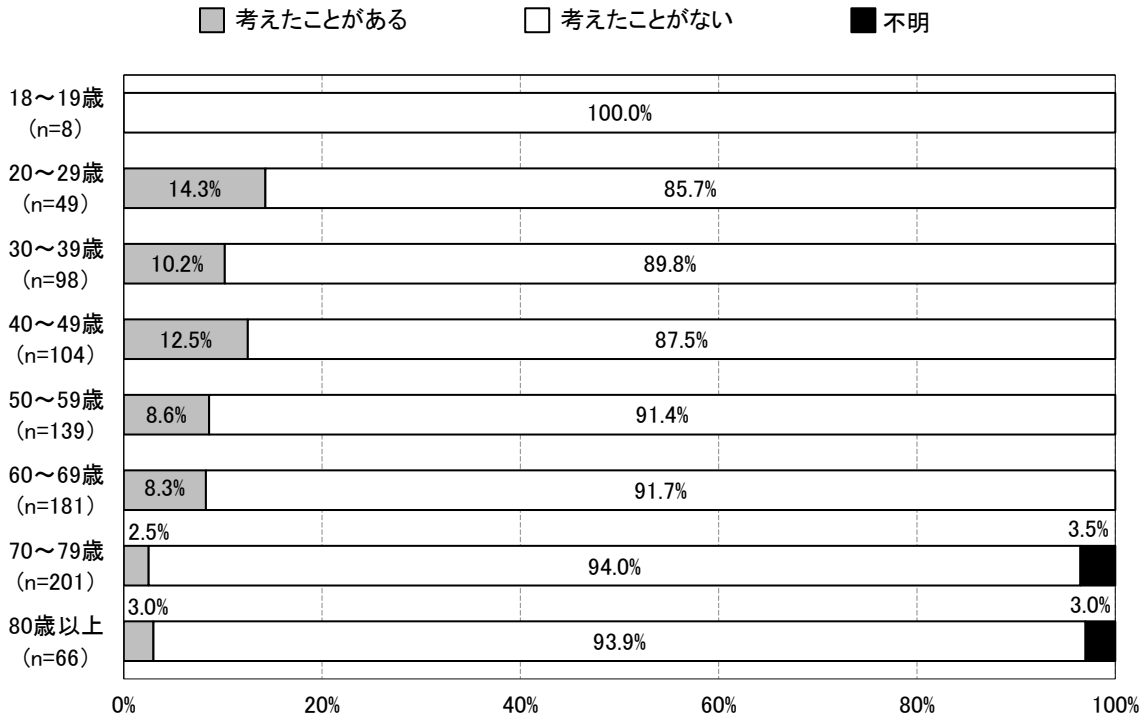
<全体>



<男女別>



<年代別>



## 9. 和歌山市の市政について（自由意見）

自由意見は273人の回答者より、343件の意見があった。

その概要については、以下のとおりである。

### 【ご意見の概要】

大項目	中項目	小項目	件数
1 環境	1 都市景観とまちの美化		4
		1 ごみの適正処理	2
		2 河川の景観改善	1
		3 自然環境の保全と再生	1
2 健康・福祉			42
	1 高齢者	1 高齢者向け施策全般	9
			9
	2 子育て		19
		1 子育て支援	9
		2 学童保育・病児保育の充実	5
		3 子どもの医療費助成制度	2
		4 保育園・幼稚園の充実	2
		5 保育料の負担軽減	1
	3 経済的支援		8
		1 全世帯の優遇	6
		2 生活保護受給	2
	4 その他		6
1 介護福祉		5	
	2 障がい者福祉	1	
3 教育・文化・スポーツ			14
	1 学校教育・青少年の育成		12
		1 教育環境の充実	6
		2 学校授業料の軽減・無償化	4
		3 学校の誘致	2
2 文化・スポーツ活動		2	
	1 スポーツ・文化芸術活動の振興	2	
4 都市基盤・交通			36
	1 道路の整備や公共交通機関		30
		1 交通網や公共交通機関の充実	16
		2 道路(車道、自転車道、歩道)の整備	11
		3 バスサービスの向上	2
		4 駐車場・駐輪場の確保、整備	1
2 公園の整備		6	
	1 公園の充実、整備	6	
5 産業・経済			44
	1 商店街・中小企業・農業		10
		1 商店街・商業施設・スーパーの活性化	7
		2 駅周辺・中心市街地の活性化	3
	2 新しい産業		1
		1 カジノ・IR	1
	3 観光・シティーセールスの推進		21
		1 観光の振興、整備	11
		2 和歌山城の活性化	9
		3 市の魅力の向上	1
	4 産業人材育成・就労支援や環境整備		9
1 雇用の充実		5	
	2 賃金の改善	4	
5 地場産業振興		3	
	1 企業誘致	3	



<b>6 交流・生活コミュニティ</b>		<b>5</b>
	1 市民活動の促進	5
	1 市民活動・自治会活動	5
<b>7 安全・生活基盤</b>		<b>19</b>
	1 防災対策	8
	1 防災対策	8
	2 上下水道・住宅・ガス等の整備	11
	1 下水道の整備	9
	2 空き家対策	2
<b>8 その他・総合</b>		<b>179</b>
	1 総合(政策・制度など)	83
	1 市長・議員	11
	2 広報・広聴・情報公開	7
	3 市報	6
	4 デジタル弱者への配慮	2
	5 都市経営・運営	57
	1 市政全般への要望	23
	2 住みよいまち	14
	3 まちの活性化	8
	4 人口減少への対策	5
	5 助成金・補助金の充実	2
	6 安心・安全なまち	2
	7 デジタル化の推進	1
	8 市民サービスの向上	1
	9 役所手続について	1
	2 総合(職員・組織など)	16
	1 市職員の対応	5
	2 窓口対応	5
	3 コミュニティーセンターについて	3
	4 市役所設備の整備	2
	5 市職員の職員数	1
	3 財政	10
	1 税等(保険料・使用料)	5
	2 財政状況・財政運営	5
	4 その他	70
	特になし、不明	15
	市政世論調査	14
	お褒め・ねぎらい・応援の言葉	11
	感謝・お礼の言葉	5
	その他	25
<b>合計</b>		<b>343</b>

\*\*\*\*\*

## 調査票

\*\*\*\*\*

### Ⅲ. 調査票

## 令和5年度 和歌山市政世論調査アンケート調査票

このアンケートは、7月26日(水)までに返信用封筒に入れて、  
無記名で切手を貼らずにお出してください。

### 1 あなたご自身のことについて

問1 あなたの居住地区はどこですか？該当する地区名を○で囲んでください。(○は1つ)

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

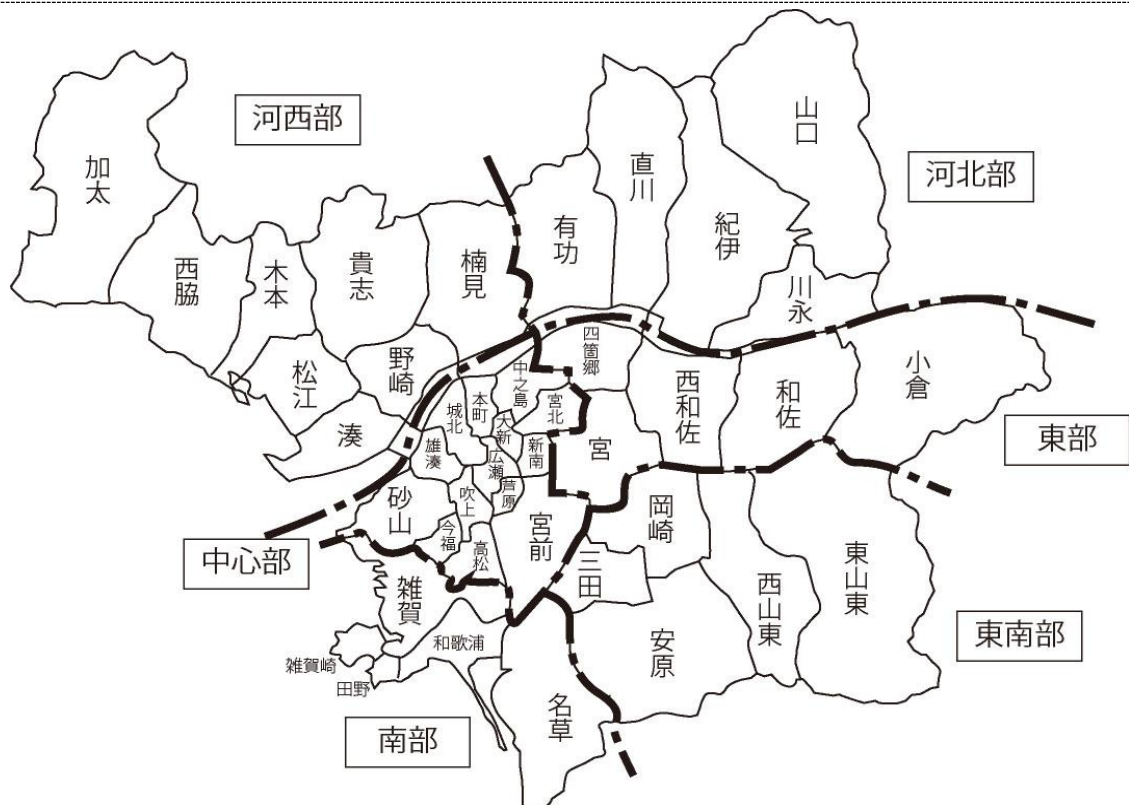
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口





## 2 あなたの身の回りの状況やお考えについて

問8 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

(1) あなたは、和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？ (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？ (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(3) あなたの、かかりつけ医はありますか？ (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(4) お子様の、かかりつけ医はありますか？ (0～14歳のお子様がいらっしゃる方のみ)  
(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(5) あなたの、かかりつけ歯科医はありますか？ (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(6) あなたの、かかりつけ薬局はありますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(7) あなたは、高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？ (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(8) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？ (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(9) あなたは、日頃から芸術・文化活動を行う、または、鑑賞する機会(映画・音楽・展覧会の鑑賞などを含む)をもっていますか？ (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(10) あなたは、公園清掃や花壇づくりなど地域の活動への参加をしている、または、したいと思いますか？ (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(11) あなたは、公園を月1回以上利用されますか？ (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(12) あなたは、現在、災害に対して何らかの備え(避難先の確認、情報収集方法の確認、防災訓練への参加など)を行っていますか？ (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(13) あなたは、地震に備えて家具などの固定をしていますか？ (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(14) あなたは、災害に備えて食料などの保管を行っていますか？ (○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(15) あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？ (○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(16) あなたは、週1回以上運動やスポーツ（通勤時の徒歩や自転車、徒歩やウォーキング、その他軽い運動・体操などを含む）をしていますか？ (○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(17) あなたは、過去1年間に何らかのスポーツに関わるボランティア活動を行ったことがありますか？ (あてはまるものすべてに○)

※ボランティア活動とは、報酬を目的としないで、自身の労力・技術・時間を提供して地域社会や個人・団体のスポーツ推進のために行う活動のことを意味します。ただし、活動に必要な交通費等、実費程度の金額の受け取りは報酬に含みません。

- |                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------|
| 1. 運動・スポーツの指導                                                     |
| 2. スポーツの審判                                                        |
| 3. 自身やご家族が所属する団体やスポーツクラブでの補助的な活動<br>(参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備、役員や会計係等) |
| 4. 団体・スポーツクラブの運営や手伝い                                              |
| 5. 大会・イベントの運営や手伝い                                                 |
| 6. ボランティア活動を行わなかった                                                |
| 7. その他 ( )                                                        |

(18) あなたは、定期的ながん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんのいずれか）を受けていますか？ (○は1つ)

※定期的な検診とは「肺がん・大腸がん」は1年に1回、「胃がん・子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

- |                |
|----------------|
| 1. 定期的を受けている   |
| 2. 定期的には受けていない |
| 3. 一度も受けたことがない |

(19) あなたは、家庭生活において男女の地位が平等になっていると思いますか？ (○は1つ)

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 男性の方が非常に優遇されている | 2. どちらかといえば男性の方が優遇されている |
| 3. 平等である           | 4. どちらかといえば女性の方が優遇されている |
| 5. 女性の方が非常に優遇されている | 6. わからない                |

(20) あなたは、夫は外で働き妻は家庭を守るべきであるという考え方について、どう思いますか？ (○は1つ)

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない       |
| 5. わからない          |                 |

### 3 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について

問9 和歌山市に住んでいて、次のことについてどのように感じていますか？  
 (1)満足度と(2)重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

回答方向 ⇒		(1) 満足度 どの程度満足していますか？					(2) 重要度 どの程度重要だと思われませんか？				
		非常に満足	満足	どちらとも 言えない	不満	非常に不満	非常に重要	重要	どちらとも 言えない	あまり重要で はない	全く重要では ない
産業が元気なまち 安定した雇用を生み出す	地域産業（商工業・農林水産業）の発展	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	観光地としての魅力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	国内や国外との交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	雇用対策や労働環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
住みたいと選ばれる魅力があふれるまち	中心市街地の活気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	まちなみの美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	海・山・川などの豊かな自然環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	ごみ減量や資源のリサイクル	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	生涯学習支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
子供たちがいきいきと育つまち	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	子供や子育てに対する支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	学校・幼稚園などの教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	青少年の健全育成活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

回答方向 ⇒		(1) 満足度 どの程度満足していますか？					(2) 重要度 どの程度重要だと思われますか？				
		非常に満足	満足	どちらとも 言えない	不満	非常に不満	非常に重要	重要	どちらとも 言えない	あまり重要で はない	全く重要では ない
誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち	通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	基幹道路や生活道路の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	快適で暮らしやすい住宅環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	公共交通の総合的なサービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	公園や下水道などの生活環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地震や風水害などの災害に対する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消防・救急救助の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	交通安全に対する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	暴力や犯罪に対する防犯体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消費生活相談の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	医療・保健サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	人権が尊重される社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	男女が共生できる社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	高齢者・障害者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	NPO やボランティアなどの市民活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域住民の助け合い活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
その他	市政に対する市民参加のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	市民サービスなどの行政窓口の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



## 4 和歌山城天守閣について

和歌山城天守閣は、昭和 33 年に鉄筋コンクリート造で再建されてから 60 年以上が経過し、今後天守閣をどのように整備していくのか、現在検討を進めているところです。本調査では、令和 4 年度に開催された市民参加型のワークショップで出された意見に関して、皆様のご意見をお伺いします。

問 10 あなたが、和歌山城天守閣にとって特に重要な要素だと感じるものはどれですか？  
(あてはまるものすべてに○)

1. 江戸時代初期に建てられ、以後もその形式を引き継ぐ守りに優れた連立式構造であること
2. 江戸時代後期に徳川御三家であることを理由に特別に建て直しを許された、紀州徳川家ならではの歴史を感じられること
3. 昭和 10 年に旧国宝に指定された江戸後期の天守閣を、忠実に外観復元していること
4. 戦災復興のなかで、市県民の浄財によって再建されたこと
5. 特に重要な要素だと感じるものはない
6. その他( )

問 11 あなたは、昭和 33 年に再建された現在の和歌山城天守閣を、「平和の象徴」と位置づけ、アピールしていくことについて、どう思いますか？ (○は1つ)

※現在の天守閣は、戦後復興のさなか住宅不足などの民政行政を優先すべきという声も出されたなか、建設費の半分近くを市県民の浄財(寄附)で賄い再建されました。

1. 賛成 ⇒ 問 12 へ
2. どちらかといえば賛成 ⇒ 問 12 へ
3. どちらともいえない ⇒ 問 12 へ
4. どちらかといえば反対 ⇒ 問 11-1 へ
5. 反対 ⇒ 問 11-1 へ

問 11-1 問 11 で「4.どちらかといえば反対」「5.反対」と回答された方のみお答えください。  
回答いただいた理由は何ですか？(あてはまるものすべてに○)

1. 紀州徳川家の歴史などにもっと焦点を当てるほうがよい
2. 戦(いくさ)のための建物である天守閣を「平和の象徴」とすることに違和感がある
3. 「平和の象徴」と位置付けるのであれば、和歌山城天守閣以外に相応しいものがある
4. 過去のいきさつよりも、体験等のエンタテイメント性を取り入れていくのがよい
5. わからない
6. その他( )

問 12 今後天守閣を整備することで、実物資料を用いないパネルやレプリカ等による展示が中心となることも考えられます。あなたは、天守閣内の歴史展示についてどう思いますか？（○は1つ）

1. 現在の天守閣以上に豊富な展示がされるのが望ましい
2. 現在の天守閣と同程度の展示を保って欲しい
3. 現在の天守閣の展示まででなくとも、何らかの展示は欲しい
4. 他に体験や楽しめる施設があれば、展示はそこまで重要ではない
5. 簡素な展示になるのであれば、展示はなくてもよい
6. 展示は他の場所（わかやま歴史館 や 市立博物館 等）に集約するのがよい
7. わからない
8. その他（ )

問 13 あなたは、和歌山城天守閣を展示以外にもっと多目的に活用することについて、どう思いますか？（○は1つ）

1. 多目的に活用していくのがよい ⇒ 問 13-1 へ
2. どちらかという多目的に活用していくのがよい ⇒ 問 13-1 へ
3. どちらともいえない ⇒ 問 14 へ
4. どちらかといえば多目的な活用はしないほうがよい ⇒ 問 13-2 へ
5. 多目的な活用はしないほうがよい ⇒ 問 13-2 へ

問 13-1 問 13 で「1.多目的に活用していくのがよい」「2.どちらかという多目的に活用していくのがよい」と回答された方のみお答えください。

あなたは、どのような活用を期待しますか？（あてはまるものすべてに○）

1. 人と人が繋がりを持つことのできるコミュニティ機能
2. 子供たちが楽しく遊ぶことのできるアトラクション等
3. 寸劇や音楽会、結婚式等の催しの開催
4. バーチャル機能等を用いた様々な体験
5. お弁当等を食べることのできる飲食スペース
6. 特にイメージするものはない
7. その他（ )

問 13-2 問 13 で「4. どちらかといえば多目的な活用はしないほうがよい」「5. 多目的な活用はしないほうがよい」と回答された方のみお答えください。  
回答いただいた理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

1. 城郭らしさが失われる
2. 和歌山城の価値（ステータス）を損なう恐れがある
3. 落ち着いて見学できなくなる
4. 歴史展示が縮小される
5. イメージができない
6. その他（ )

問 14 あなたは、和歌山城天守閣を展示や多目的な活用に利用していくとした場合、どちらの機能が中心になっているのがよいと思いますか？（○は1つ）

1. あくまで展示が中心であるのがよい
2. 多目的に活用できる空間が中心になっているのがよい
3. 展示と多目的に活用できる空間は半々程度になっているのがよい
4. どちらともいえない
5. わからない
6. その他（ )

問 15 あなたは、和歌山城天守閣内の意匠や雰囲気づくりについてどうすべきだと思いますか？  
（○は1つ）

1. 江戸時代にできるだけ近いものがよい
2. 江戸時代の面影を感じられる程度でよい
3. 江戸時代の面影を一部の空間やバーチャル技術等で体験できればよい
4. 江戸時代の面影はバーチャル技術等で体験できるだけでよい
5. 江戸時代のものでなくてよい
6. わからない
7. その他（ )

問 16 和歌山城天守閣の建つ虎伏山は、麓から天守閣までの道のりは全て階段になっていますが、文化財保護法の規制があるため、抜本的なバリアフリー整備は難しいと考えられます。あなたは、和歌山城天守閣のバリアフリー化について、どう思いますか？（あてはまるものすべてに○）

※和歌山城では「おもてなし忍者」が登城に困難を伴う方を対象に、特別な車いすを使って山の麓から天守閣前までの間をお連れする「登城サポート」を行っています。

1. 天守閣内だけであってもエレベーターを設置するのがよい
2. 天守閣には、エレベーターでなく、階段昇降機のようなもので対応するのがよい
3. 天守閣内も、おもてなし忍者の登城サポートのように、設備を設けるのではなく、人力で対応するのがよい
4. 新しい技術（パワードスーツ等）に期待するのがよい
5. 天守閣内だけであれば、バリアフリー化しても仕方がない
6. イメージができない
7. その他（ )

問 17 あなたは、和歌山城天守閣のユニバーサルデザイン化について、どう思いますか？（○は1つ）

※ユニバーサルデザインとは、障害のある人だけでなく、より多くの人容易に利用できるようデザインすることをいいます。（直感的に内容を伝えられる絵文字（ピクトグラム）や、案内サイン、多言語標記等）

1. ユニバーサルデザイン化するのがよい
2. どちらかというともユニバーサルデザイン化するのがよい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばユニバーサルデザイン化は控えるのがよい
5. ユニバーサルデザイン化は控えるのがよい

問 18 将来に渡って和歌山城天守閣がいつまでも和歌山市のシンボルとしてあり続けるために、天守閣の維持管理や運営について、あなたは、一市民としてどのような形で関わりたいと思いますか？（あてはまるものすべてに○）

1. 広報や情報発信
2. 天守閣を活用したイベントや体験等の企画
3. 天守閣を活用したイベントや体験等への参加
4. 天守閣を訪れる人同士での交流等の企画
5. 天守閣を訪れる人同士での交流等への参加
6. 天守閣の維持管理のための寄附や収益還元活動
7. 天守閣を維持管理していくための技術等の提供
8. スタッフやボランティアとして管理運営に参加
9. わからない
10. 関わりたいと思わない
11. その他（ )

## 5 消費生活相談窓口について

問 19 あなたは、和歌山市に悪質商法・契約トラブルなどの消費生活に関する相談窓口があることをご存じですか？（○は1つ）

1. はい ⇒ 問 19-1 へ

2. いいえ ⇒ 問 20 へ

問 19-1 問 19 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

あなたは、消費生活相談窓口があることをどのような手段で知りましたか？  
（あてはまるものすべてに○）

1. 市報わかやま

2. 和歌山市の公式ホームページ

3. テレビ・ラジオ・SNS（和歌山市公式LINEなど）

4. 市役所からの紹介

5. チラシ

6. 他の人からの紹介

7. その他（

）

問 20 あなたは、消費生活相談窓口を利用したことがありますか？（○は1つ）

1. 利用したことがある

2. 利用したことがない

## 6 子育てや教育について

問 21 ご家庭に18歳以下のお子様はいらっしゃいますか？（○は1つ）

1. いる ⇒ 問 21-1 へ

2. いない ⇒ 問 22 へ

問 21-1 問 21 で「1. いる」と回答された方のみお答えください。

あなたは、子育てや家庭での教育について悩みや不安、孤立感を感じていますか？（○は1つ）

1. とても感じている ⇒ 問 21-2 へ

2. 感じている ⇒ 問 21-2 へ

3. どちらでもない ⇒ 問 22 へ

4. あまり感じていない ⇒ 問 22 へ

5. 感じていない ⇒ 問 22 へ

問 21-2 問 21-1で「1.とても感じている」「2.感じている」と回答された方のみお答えください。

あなたは、主にどのようなことに悩みや不安、孤立感を感じていますか？最もあてはまるものを1つお選びください。(○は1つ)

1. 子供の健康	2. 子供の発育・発達
3. 子供のしつけやマナー	4. 子供の性格や癖
5. 子供の勉強や進学	6. 子供の生活の乱れや非行
7. 子供の友人関係	8. 子供の養育費
9. 子供の兄弟姉妹の関係	10. 子供の性
11. 保護者として子供の気持ちがわからない	
12. 子供とのコミュニケーションが不足している	
13. 子育てや家庭での教育への家族等の協力が得られない	
14. その他 ( )	

問 22 あなたは、子育て中の親や家庭をサポートするために、どのようなことが必要だと考えますか？最もあてはまるものを1つお選びください。(○は1つ)

1. 子育て中の親の交流会
2. 子育て・家庭での教育に関する情報提供
3. 行政等による相談の場の充実
4. 行政等による家庭に訪問する機会の充実
5. 行政等が講座やセミナーを行う
6. 地域の人たちが応援する
7. 企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する
8. わからない
9. その他 ( )

## 7 在宅医療について

問 23 あなたは、在宅医療についてご存じですか？（○は1つ）

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 24 あなたは、介護が必要となったときに、主にどこで介護を受けたいですか？最もあてはまるものを1つお選びください。（○は1つ）

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 自宅                    |
| 2. 親族の家                  |
| 3. 病院などの医療機関への入院         |
| 4. 有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅など |
| 5. 特別養護老人ホームなどの介護施設への入所  |
| 6. わからない                 |
| 7. その他（ )                |

問 25 あなたは、人生の最期を迎える場所として、どこを希望されますか？（○は1つ）

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1. 病院     | 2. 自宅    |
| 3. 介護施設   | 4. わからない |
| 5. その他（ ) |          |

問 26 あなたは、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組「ACP（アドバンス・ケア・プランニング、愛称：人生会議）」についてご存じですか？（○は1つ）

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

## 8 自殺対策について

問 27 あなたは、自殺対策について、知っているものはありますか？（あてはまるものすべてに○）

1. 自殺対策基本法
2. 和歌山市いのち支える自殺対策計画
3. 知っているものはない

問 28 あなたは、和歌山市における自殺対策に関する事業について、知っているものはありますか？（あてはまるものすべてに○）

1. うつ病夜間相談（精神科嘱託医による対面相談）
2. いのち支えるポスターコンクール
3. 街頭啓発（エコバッグ、ポケットティッシュ、パンフレット等の配布）
4. 市公式 SNS（Facebook、LINE、Twitter）、情報誌等のメディア啓発
5. ゲートキーパーの養成
6. 知っているものはない

問 29 あなたは、過去1年以内に自殺したいまたはそれに近いことを相談されたことがありますか？（○は1つ）

1. 相談されたことがある
2. 相談されたことがない

問 30 あなたは、過去1年以内に自殺したいまたはそれに近いことを考えたことがありますか？（○は1つ）

1. 考えたことがある
2. 考えたことがない

和歌山市の市政についてご意見をお聞かせください。

<hr/> <hr/> <hr/>
-------------------

\*\*\*\*\*ご協力ありがとうございました\*\*\*\*\*